

Ⅰ. 景気の現状に対する判断理由等

景気の現状に対する判断の理由及びそれに対する追加説明等について、その主だったもの及び特徴的と考えられるものを取りまとめると以下のとおりであった。

1. 北海道（地域別調査機関：株式会社北海道二十一世紀総合研究所）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連 (北海道)	良く なっている			
	やや良く なっている	商店街（代表者）	それ以外	・アルバイト募集をしてもなかなか応募がなく、失業率が下がっている傾向がうかがえることから景気はやや良くなっている。ただ、参議院選挙の影響で夜の客足が悪くなっているとの声も聞こえてきている。
		百貨店（販売促進担当）	お客様の様子	・客単価の上昇傾向が継続しているなかで、苦戦していた購買率が回復してきている。降雨と低温の影響により季節商材の動きは鈍いものの、客の購買にかかる機会損失が少なくなっている。
		スーパー（役員）	お客様の様子	・北海道新幹線の開業により観光客が増え、街全体が活気付いてきており、少しずつプラスの効果が広がっている。
		コンビニ（エリア担当）	来客数の動き	・気温の上昇とともに来客数が増加してきている。
		衣料品専門店（経営者）	販売量の動き	・6月は天候に恵まれない、異常気象の月だった。毎日のように雨が降るなど、北海道にも梅雨が来たような感じで、気温も低く、朝晩にはストーブが必要なほどであった。ただ、催事については来客数、客単価とも増加しており、売上は前年を上回った。
		高級レストラン（スタッフ）	来客数の動き	・4月以降、観光客の入込が良く、6月の来客数は前年を16%上回った。当地でのイベントの効果もあり、客からはホテルが取れないとの話も聞こえてくる。一方、客単価は横ばいで推移している。
		観光型ホテル（スタッフ）	単価の動き	・近隣アジアからの外国人観光客は減少傾向にあるが、減少分を国内客の個人旅行でカバーすることができている。
		旅行代理店（従業員）	来客数の動き	・3～4月の観光需要の端境期からグリーンシーズンを迎え、観光の繁忙期となってきている。ただし、前年と比較すると、景気の停滞感などによりやや前年を下回る傾向で推移している。
		旅行代理店（従業員）	お客様の様子	・消費税増税の再延期により安心感が広がっている。IS関連のテロで大きな事件が少なくなってきたこともプラスである。また、伊勢志摩サミットが無事終了し、その前後で伊勢や広島がテレビで放映されたことが国内旅行のきっかけになっている。
		旅行代理店（従業員）	販売量の動き	・来客数が若干減っているものの、売上が前年並みをキープしていることから、客の消費単価が上がってきている。
		タクシー運転手	来客数の動き	・3か月前と比べると、夏場を迎えて観光客の入込が良くなってきている。ただ、毎年、この時期は上向き傾向になるため、全体的に景気が回復しているわけではない。地元客の動きがみえないなど、地方経済は横ばいの状況にあり、業界を取り巻く厳しさは変わらない。
		通信会社（社員）	来客数の動き	・来客数の増えている店舗が多く、来客数全体が前年と比べて伸びている。
		観光名所（従業員）	来客数の動き	・6月中旬から毎日のように天候が悪く、来客動機が低くなりがちな状況であったにもかかわらず、6月26日時点の来客数は前年比102.7%となっており、まずまずの天候であった前年とほぼ同様な利用客数の伸びがみられたことから、景気はやや良くなっている。
	その他サービスの動向を把握できる者〔フェリー〕（従業員）	来客数の動き	・前年よりも若干ペースが落ちているが、旅客、車両ともに好調に推移している。	
	住宅販売会社（経営者）	お客様の様子	・北海道新幹線開業により、函館では飲食店、ホテルなどがにぎわっている。ただ、それがまだ消費や小売、建築などには結び付いていないのが現状である。	

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
	変わらない	商店街（代表者）	お客様の様子	・客の話の内容が前月と変わらない。
一般小売店〔酒〕（経営者）		販売量の動き	・今年に入ってから売上が弱含みで推移しており、前年までの勢いがみられなくなっている。外国人観光客による効果も少なくなっている。消費動向が何かおかしくなっているように感じる。	
百貨店（売場主任）		お客様の様子	・来客数は前年並みであった。外国人観光客による売上が大幅なマイナスとなるなか、地元客による定価品の売上がほぼ前年並みとなるなど、堅実な結果がみられた。一方、父の日ギフトは主力の紳士雑貨がマイナスとなったものの、中元商戦の立ち上がりはほぼ前年並みであった。洋服は客が値下げのタイミングを待っているようである。	
百貨店（担当者）		来客数の動き	・3か月前との比較ではほとんど変化がみられない。	
スーパー（役員）		販売量の動き	・6月は一般食品、菓子などの動きが良いものの、例年と比較して気温がやや低いことから、酒類や飲料などの動きが厳しい。全体的には、ここ3～4か月、客1人当たりの買上点数、来客数、客単価が前年を上回っているなど、変わりのない状況で推移している。	
コンビニ（エリア担当）		来客数の動き	・6月は天候不順により飲料水やビールの売上が減少したものの、生鮮品や米飯の売上は前年並みを維持している。	
衣料品専門店（店長）		来客数の動き	・来客数が非常に少なく、厳しい状況に変わりがみられない。	
家電量販店（店員）		来客数の動き	・来客数が前年を下回ったものの、売上は前年から微増している。	
乗用車販売店（経営者）		販売量の動き	・景気動向や販売量に大きく影響する要素は見当たらないが、消費者の購入意欲がなかなか上向いてこない。	
乗用車販売店（従業員）		販売量の動き	・一向に販売台数の上向いてこない状況が続いている。	
乗用車販売店（従業員）		お客様の様子	・賞与が前年並みの金額で支給されるなど、変化がみられないため、景況感も変わらない。	
自動車備品販売店（店長）		お客様の様子	・例年であれば、春のタイヤのはき替え時期から来客数が一時的に増えるが、今年の前年比は前年の90%台であった。最近では2か月単位で来客数をみると、横ばい減少の状態が続いている。	
その他専門店〔医薬品〕（経営者）		それ以外	・客離れの防止策が急務となるなど、小売の難しさを感じる日々だ。地味かもしれないが、個々の客を逃がさないような工夫が求められている。	
その他専門店〔ガソリンスタンド〕（経営者）		販売量の動き	・石油製品価格が安定して推移していることから、景気は変わらない。	
高級レストラン（経営者）		お客様の様子	・特別、景気が上向きになるような材料がない。英国のEU離脱問題の影響により、今後、円高が進むことが懸念されるなど、不安材料の方が多く、景気が上向きになる要素がない。	
高級レストラン（スタッフ）		販売量の動き	・6月は特定の日に予約が集中したが、月全体でみるとぎりぎり前年並みの売上となった。当店は値下げしてから来客数がやや増えているが、長いゴールデンウィークの余波で客足が遠のいており、思うように売上が伸びなかった。参議院選挙の影響もあるかもしれないが、これまでの衆議院選挙や統一地方選ほどの影響はみられない。	
旅行代理店（従業員）		単価の動き	・受注件数、取扱額ともに大きな変動がないため、景気は変わらない。	
タクシー運転手		来客数の動き	・6月は当地で大きなイベントがあったほか、例年よりも雨の日が多かったにもかかわらず、タクシーの売上は前年比で若干のマイナスとなった。	
タクシー運転手		来客数の動き	・ここ3か月、来客数は例年並みで推移している。国内旅行者による利用が減少するなか、外国人観光客による利用が増えている。	
タクシー運転手		販売量の動き	・街全体の景気がここ半年くらいほぼ横ばいで推移しているため、販売量も前年並みで推移している。ただ、当社としては宣伝を積極的に行っているため、これから夏に向かって上向きになりそうな気配がある。	

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		パチンコ店（役員）	単価の動き	・英国のEU離脱問題による円高の影響がどれほどものになるかが気掛かりである。原油価格が上昇すれば、中小の加工業や運送業に大きく影響することになる。特に運送業で値上げが行われることになれば、道内の観光業に与える影響も大きく、外国人観光客の足が遠のくことが懸念される。
		美容室（経営者）	来客数の動き	・5月の来客数がかかなり悪かったが、6月になり例年並みの来客数に復活した。今後も同じような来客数で推移するとみられる。
		美容室（経営者）	単価の動き	・天候の変化によって、客のメニューが多少なりとも変化する状況にある。
		住宅販売会社（経営者）	販売量の動き	・ここ数か月の分譲マンションの販売量の動きをみ限り、販売戸数は安定している。
	やや悪くなっている	商店街（代表者）	単価の動き	・これまで客単価が上がっていたが、ここにきて客単価が10%程度落ちてきている。
		商店街（代表者）	来客数の動き	・例年であれば、比較的消費が活発になる時期であるが、上旬から中旬にかけての天候不順の影響もあり、地元客による来街に今一つ伸びがみられなかった。また、外国人観光客の入込も期待値よりも低く、ほとんどの業種で売上アップには至らなかった。
		商店街（代表者）	販売量の動き	・今年の北海道は寒い日が続いていることで、作物の生育にも大きな影響がみられ、農産物の価格が高騰している。また、夏物商材も衣類や家電などで販売不振が起きているなど、心配な状況にある。
		一般小売店〔土産〕（経営者）	来客数の動き	・若者が札幌や東京などの大企業に流れていることで、当地においても人材の引き抜き合戦が起きている。人手不足と賃金の高騰、仕入価格の値上がりなどが続いており、倒産が発生している。また、当市の財政に対する不安も広がっている。
		百貨店（販売促進担当）	来客数の動き	・来客数の減少が続いている。一方、外国人観光客は来客数が持ち直しているものの、客単価が極端に下がっている。
		百貨店（役員）	競争相手の様子	・来客数が圧倒的に減っている。
		スーパー（店長）	販売量の動き	・売上や来客数が前年の90%台前半となっている。販売量も前年比94%と前年の95%にも届いていない。3か月前と比較しても販売量は5%ほどダウンしている。
		スーパー（店長）	お客様の様子	・改装や新しい取組などに対する客の反応はあるが、全体への効果が低い。特に重販の季節商材の動きが悪い。
		スーパー（店長）	お客様の様子	・父の日ギフトの高単価商材の動きが悪い。また、ギフトの売上が前年を下回るなど、需要が少なくなっていることもうかがえる。
		スーパー（企画担当）	来客数の動き	・足元の状況を見ると、買上客数及び買上点数ともに低下傾向が出始めており、無駄な消費を控える客の傾向がうかがえる。
		コンビニ（オーナー）	来客数の動き	・6月の売上は前年比95%であった。当店の300m先に同一チェーンの店舗があるなか、6月1日には逆方向の150m先に同一チェーンの新店舗がオープンしている。コンビニだらけという声も多い。
		衣料品専門店（店長）	お客様の様子	・今年のクールビズ商戦では客の来店はあるものの、ワイシャツ用品ばかりが売れており、サマージャケットなどの高額商材は以前に購入したものを利用する客がとても多い。
		乗用車販売店（従業員）	販売量の動き	・販売量が減少気味である。
		乗用車販売店（従業員）	来客数の動き	・来客数が減っていることもあり、販売台数が減少している。こうした傾向が業界全体的にみられている。
		高級レストラン（スタッフ）	お客様の様子	・目にみえる要因があるわけではないが、前年にみられたような来客数の伸びがみられない。
		旅行代理店（従業員）	販売量の動き	・関係各所に聞くと、当店だけではなく、地域における業界全体の売上も前年に比べて悪いようである。
	タクシー運転手	販売量の動き	・前年比での減少幅が拡大してきている。	
	タクシー運転手	販売量の動き	・ホテルなどの来客数が前年と比べて減少している。	
	通信会社（企画担当）	競争相手の様子	・通信費の低価格合戦が過熱し、札幌圏の若者や若い家族層を中心に他社の最も安い通信サービスに契約を変更する流れが加速してきている。	
	悪くなっている	商店街（代表者）	来客数の動き	・来客数が減っている。外国人観光客の動きも悪く、以前のような買物の傾向もみられなくなった。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		百貨店（売場主任）	来客数の動き	・6月に入り、曇りや雨の日が多く、気温の低い状態が続いていることで農作物の生育が遅れているなど、農家を巡る環境が良くない状況にある。また、天候の影響で半袖などの夏物の動きが顕著に落ちており、前年の90%台にとどまっている。ただ、中元商戦はほぼ前年並みの数字で推移している。
		コンビニ（エリア担当）	販売量の動き	・天候の悪化が続いていることで、沿岸部の昆布漁、内陸部の牧草作業が全く進んでおらず、売上への影響も大きい。北洋漁業の代替であるさば漁、いわし漁も不調である。
		観光型ホテル（役員）	来客数の動き	・円高傾向が続いており、団体の外国人観光客を中心に集客が落ち込んでおり、売上が減少している。
企業 動向 関連 (北海道)	良く なっている	-	-	-
	やや良く なっている	建設業（従業員）	取引先の様子	・道内の建築鉄鋼業界は域内の工事で年末までの予定が埋まっており、域外の工事まで受注する必要がなくなってきた。
		輸送業（支店長）	受注量や販売量の動き	・夏場の工事物件の輸送が動き出しているため、3か月前の春先よりも忙しくなってきた。
		通信業（営業担当）	受注量や販売量の動き	・受注量と問い合わせ件数が増加してきている。
		その他サービス業〔建設機械リース〕（営業担当）	受注量や販売量の動き	・遅れていた建設工事がようやくスタートしてきた。
		その他サービス業〔建設機械レンタル〕（総務担当）	受注量や販売量の動き	・売上が前年を若干上回っている。
		その他非製造業〔鋼材卸売〕（役員）	受注量や販売量の動き	・客先の鉄骨加工業及び機械加工業の仕事量はともに堅調なため、全体的に売上が増加している。
	変わらない	輸送業（営業担当）	取引先の様子	・大雨などの天候不順の影響のためか、飲料品の道外輸送が予想に反して思わしくない。一方、生乳は生産量、道外向け輸送とも前年を上回っている。
		金融業（従業員）	それ以外	・スーパーなどの売上は前年を上回る状況が続いており、公共工事請負金額も前年を上回る状況に転じてきている。また、増勢に衰えはみられるものの、来道外国人も引き続き前年を上回っている。こうした好材料がある一方で、設備投資の減少がみられるなどのマイナス材料もあり、全般をとおしてみれば大きく変わらない水準にある。
		司法書士	取引先の様子	・景気の停滞感と社会構造の変化に伴い、関連企業の営業成績が伸び悩んでいる。不動産取引、建物建築においても変化がみられない。
		司法書士	取引先の様子	・不動産の売買、建物の新築が低調なままである。
		コピーサービス業（従業員）	受注価格や販売価格の動き	・内容より価格を重視する客先の傾向はこれまで変わらない。最低限度の設備投資はするものの、慎重な姿勢は変わらない。
		その他サービス業〔建設機械リース〕（支店長）	受注量や販売量の動き	・公共工事の鈍化により受注量は低位のまま推移している。
	やや悪く なっている	食料品製造業（従業員）	受注量や販売量の動き	・前年と比較して売上が数%減ってきている。
		家具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・外的な経済環境の変化の影響を受けて、富裕層を中心とした需要に陰りがみえ始めた。また、当社では今年度から値上げを行っているが、値上げを前にした駆け込み需要の反動で第1四半期は低調であった。
		建設業（従業員）	受注量や販売量の動き	・公共工事が減少傾向にあることに加えて、民間建築工事については商材が引き続きあるものの、受注価格に対する削減要求が厳しくなってきた。
		司法書士	取引先の様子	・英国のEU離脱問題などの悪材料が多く、景気回復の兆しが全く感じられない。消費税増税の再延期の決定など、心理的な好材料も少しはあるが、不動産投資の件数が少ないなど、景気回復の要因が見当たらない。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		その他サービス業〔ソフトウェア開発〕（経営者）	競争相手の様子	・3月ごろまでは案件の話があっても、入手が確保できなかったが、現在は人手に空きがある会社が見られるようになってきている。
	悪くなっている	-	-	-
雇用関連 (北海道)	良くなっている	-	-	-
	やや良くなっている	人材派遣会社（社員）	求職者数の動き	・登録者は横ばいで推移している。求人数、派遣依頼数が増加しているのに対して、登録者の動きが鈍いことから、独自ルートで就職が決まっているとみられ、企業の求人意欲がまだ高いことがうかがえる。その反面、企業の採用基準も高くなっており、有効求人倍率が高いといえども、スキルの低い人材が採用されることはなく、採用のミスマッチが発生している。
		職業安定所（職員）	求人数の動き	・新規求人数は4か月ぶりに前年を4.0%下回ったが、月間有効求人数は前年を1.8%上回り、10か月連続で前年を上回った。
	変わらない	求人情報誌制作会社（編集者）	求人数の動き	・求人件数はほぼ前年並みであり、ここ3か月、肌で感じるような変化もみられない。
		新聞社〔求人広告〕（担当者）	求人数の動き	・募集広告売上は前年比93.7%であった。売上上位の派遣、運輸、医療の3業種で軒並み15～30%の減少となったことが大きく響き、他業種で若干上積みがあったものの、減少分をカバーするまでには及ばなかった。
		職業安定所（職員）	求人数の動き	・新規求人数が前年と比べて増加している傾向が続いている。
		職業安定所（職員）	雇用形態の様子	・求人倍率は上昇傾向にあるが、人手不足感が求人募集の賃金上昇に反映されていない。求人に占める非正規の割合も増加傾向にある。
	やや悪くなっている	求人情報誌制作会社（編集者）	求人数の動き	・このところ求人件数が前年、前々年の水準を下回ってきている。
		求人情報誌制作会社（編集者）	求人数の動き	・全体的に求人意欲が低下している。特に個人消費関連のスーパー、小売店、ファッション関連などの落ち込みが目立つ。飲食店や宿泊は軟調に推移している。
		求人情報誌制作会社（編集者）	求人数の動き	・景況感が良くなく、また人を募集しても集まらないなどの理由から、前年と比較すると2割ほど求人数が減っている。
職業安定所（職員）		求人数の動き	・有効求人倍率が75か月連続で前年を上回っているが、増加を続けていた新規求人数、月間有効求人数ともに前年比でマイナスに転じている。求人のうち正社員が占める割合も低下している。	
	悪くなっている	-	-	-

2. 東北（地域別調査機関：公益財団法人東北活性化研究センター）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計動向関連 (東北)	良くなっている	スーパー（店長）	販売量の動き	・今月の売上は前年比105.7%であり、若干の増加傾向にあった3か月前と比較しても、5%以上も数字を伸ばしている。
		コンビニ（店長）	来客数の動き	・例年6月は動きのない時期であるが、3～5月に比べて来客数が多く売上も増加しており、前年比も戻しつつある。競合店の影響は大きいですが、客の購買意欲が強まっているように見受けられる。
		タクシー運転手	販売量の動き	・客は切れ目無く乗車している。遠距離はあまりないが、近場の客がたくさん乗っているの、むしろ良くなっている。
	やや良くなっている	コンビニ（エリア担当）	来客数の動き	・来客数の増加傾向が続いている。
		衣料品専門店（店長）	販売量の動き	・早めにバーゲンを仕掛けている。来客数に大きな変化はないが、スーツや礼服などの比較的高単価な商品を購入する客が多く、単価が上がっている。
		乗用車販売店（経営者）	販売量の動き	・大手自動車メーカーの燃費不正問題の影響により新車販売台数が減少しているものの、中古車販売及びサービス入庫が増加しており、売上は持ち直してきている。
		高級レストラン（経営者）	来客数の動き	・4月以降、今までと違う風が吹いているのか、景気は少し良くなっている。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
変わらない		都市型ホテル（スタッフ）	来客数の動き	・宿泊部門は前年を少し下回っているものの、宴会部門においては受注量が伸びている。また、レストラン部門も前年を多少上回っている。
		観光名所（職員）	来客数の動き	・閑散期ではあるが、お得感のある企画を実施しており、前年並みの来客数を確保している。
		その他サービス〔自動車整備業〕（経営者）	販売量の動き	・単価、総額共に好調を維持している。
		住宅販売会社（経営者）	販売量の動き	・小額の資金で購入可能な小さな住宅用地の開発を行っているため、新築住宅の受注が伸びている。
	商店街（代表者）	単価の動き	・非常に静かであり、不気味なほど変わらない。周囲の様子をみても景気が良さそうでも悪そうでもない。奇妙な冷静さがある。	
	商店街（代表者）	販売量の動き	・天候にも恵まれて来街客は増えている。それに伴い、ファーストフード店や一部の飲食店では売上が増加している。しかし、同業でも苦戦している店もあるため、総じて景気が良いとはいえない。	
	商店街（代表者）	来客数の動き	・好天が続き、商店街のイベントなども増えている。しかし、通行量や来客数の動きは今までと変わらないため、景気が上向いているとまではいえない。	
	商店街（代表者）	来客数の動き	・商店街でのイベントによる来客数は例年並みである。しかし、前年のプレミアム付商品券のような起爆剤がなく、全体の売上は横ばいである。	
	一般小売店〔カメラ〕（店長）	販売量の動き	・販売量は横ばいで推移しているものの、高額商材の動きが鈍く、売上が伸び悩んでいる。	
	百貨店（総務担当）	単価の動き	・オケーションニーズである父の日、母の日において、全体的に単価が下がっている。また、来客数も減少している。	
	百貨店（営業担当）	販売量の動き	・高額商材の動きが鈍く、比較的堅調であったハイエンドの商品の売上が特に落ち込んでいるが、化粧品は相変わらず好調であり売上を伸ばしている。また、婦人服は苦戦が続いているものの、前年の大型ブランド撤退の影響は減少してきている様子である。ただし、全体的に前年の売上を下回っている傾向に変化はない。	
	百貨店（営業担当）	お客様の様子	・地方ではアベノミクスの効果が実感できないため、消費の活発な動きはみられない。	
	百貨店（経営者）	販売量の動き	・前年同時期に比べて高額商材の動きが鈍く、販売量は変わらないものの単価が下がっている。しかし、日傘、帽子などの季節商材は前年並みに回復してきている。	
	スーパー（経営者）	単価の動き	・6月は平均単価が前年比で3%ほど低下している。また、買上点数はやや伸びているものの、来客数は前年並みである。この傾向は今までとほとんど変わっていない。	
	スーパー（店長）	単価の動き	・ここ数か月、客単価の前年割れが継続している。	
	スーパー（総務担当）	来客数の動き	・来客数、客単価共に微増のため、売上も若干増加している。その一方、1品単価が少し低下しているため、今後の予断を許さない状況である。	
	スーパー（営業担当）	来客数の動き	・売上と来客数の伸びが鈍くなってきている。販促を強化しているが、ここにきて競合他社も価格戦略を強化しており、それをみながら客も動いている。そのため、販売点数を増やし、客単価で来客数の減少をカバーしている。	
	コンビニ（経営者）	来客数の動き	・決算時期である3か月前と比較しても横ばいで推移しており、景気が良くなっているという実感はない。人が少なく、客単価も横ばいである。	
	コンビニ（経営者）	販売量の動き	・客の動きに特に変化はない。	
	コンビニ（エリア担当）	来客数の動き	・競争環境が激しく、1店舗に対する来客数も減っていくばかりである。	
コンビニ（エリア担当）	単価の動き	・来客数自体にほとんど変化はないが、客単価の上昇により、前年と比較して売上が若干伸びている。		
コンビニ（店長）	お客様の様子	・気候が良く、農繁期ということもあり期待したいところではあるが、結果としてそれほどの数字にはなっていない。		

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		衣料品専門店（経営者）	お客様の様子	・例年より早めにサマーセールを実施しているが、売上への効果は全くない。客が買物に対してますます慎重になっており、来客数が増えずに単価だけが下がる結果となっている。
		衣料品専門店（経営者）	お客様の様子	・客の財布のひもが固すぎて、なかなか身の回りの商品が動かない。
		衣料品専門店（経営者）	お客様の様子	・一向に景気が良くなる気配がなく、収入も上がらない。消費税増税が再延期となったが、あまり気前よく支出ができるような状況ではないと客は話している。
		衣料品専門店（店長）	お客様の様子	・全体的にセールに対するレスポンスが高く、価格にシビアな客層が多い。そのため、客単価が下がっている。
		衣料品専門店（総務担当）	来客数の動き	・来客数が減少傾向にあるが、買上点数を増やす接客努力により、前年比90%の状態である。
		家電量販店（店長）	来客数の動き	・人口減少の影響により、来客数が年々減少している。
		家電量販店（店長）	来客数の動き	・今月はエアコンの売上が前年比115%と好調であり、その貢献を受けて全体的な売上も前年比110%と伸びている。ただし、テレビ、パソコン、洗濯機や冷蔵庫といった白物家電の売上は伸びていない。
		乗用車販売店（従業員）	販売量の動き	・今月も軽自動車の販売ができず、その分販売台数が伸びていない。
		住関連専門店（経営者）	販売量の動き	・3か月前ほどではないが、例年と比較すれば今月はまあまあの販売量となっている。
		住関連専門店（経営者）	来客数の動き	・郊外のショッピングセンターに人が集まっているが、商店街には人の流れがほとんど無い状態である。
		その他専門店〔酒〕（経営者）	来客数の動き	・4月から全体的に商品の動きが悪くなってきており、特にレギュラー商品が悪い。
		その他専門店〔酒〕（経営者）	お客様の様子	・例年よりも早く暑くなったため販売量の増加を期待したが、結局は横ばいとなっている。飲食店からも、先行きが不透明であり現状維持が精一杯であるという話を聞いている。当社も同様であり、政治、経済への不安が消費者の行動に顕著に表れている。
		その他専門店〔靴〕（従業員）	販売量の動き	・気温が上がらず天気も不安定なため、サンダルなどの夏物商材が売れていない。子供靴とスニーカーには動きがあるものの、全体をカバーするまでには至っていない。
		その他専門店〔白衣・ユニフォーム〕（営業担当）	販売量の動き	・いまだに前年の暖冬の影響が抜け切れていないのか、春先から夏にかけての商品の動きが鈍く、動き出すのにも時間がかかっている。繁忙期は6月で終了のため、これからの売上が心配である。
		その他専門店〔ガソリンスタンド〕（営業担当）	販売量の動き	・いまだに暖冬の影響を引きずっており、販売量の前年割れが続いている。さらに、仕入価格が上昇しているにもかかわらず末端価格に転嫁できないため、収益が落ち込んでいる。また、除染作業が一段落したことで、好調であった軽油の販売量も激減している。そのため、総じて景気の悪い状態で安定してきている。
		高級レストラン（支配人）	来客数の動き	・リピート層の反応に鈍さがみられるものの、客単価が上昇傾向にある。しかし、ここ数か月は来客数の減少による影響をカバーできた時期とできない時期があり、客の動きに見通しが立たない状態である。
		一般レストラン（経営者）	来客数の動き	・値上げにより減少していた来客数が戻りつつあり、前年比100%となっている。
		一般レストラン（経営者）	販売量の動き	・日によって売上のばらつきが激しく、来客数が多くても個々の売上などはかなりばらばらである。それほど悪くないと言っている客は多いが、その一方で深刻な状況であると言う客もあり、一体景気が良いのか悪いのかわからない状況である。
		観光型ホテル（スタッフ）	来客数の動き	・東北の宿泊業は依然として先行きがみえない状態が続いている。
		観光型旅館（経営者）	来客数の動き	・季節要因による動きの鈍さはあるが、良くも悪くもなく、大きな変動はない。
		観光型旅館（スタッフ）	単価の動き	・来客数は順調に推移している。ただし、消費者は相変わらず低単価志向であり、低価格で数売するという傾向が続いている。
		旅行代理店（店長）	お客様の様子	・参議院選挙、英国のEU離脱問題などマイナス的な話題が多く、出控える傾向にある。
		旅行代理店（従業員）	お客様の様子	・依然として個人客の動きが鈍化している。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
やや悪くなっている		タクシー運転手	お客様の様子	・前年12月の地下鉄新規路線開通の影響が、かなり出てきている。
		通信会社（営業担当）	お客様の様子	・年金が貰えないなどの理由から70代目前の女性と男性が面接に来たが、今後はこのような高齢者の就活が増えてくるとみている。高齢者に所得格差が生じてきているのではないが。
		通信会社（営業担当）	お客様の様子	・消費税増税が再延期となったが、売上は横ばいの状態である。客へのヒアリングからも、景気の上向き感は見られない。
		通信会社（営業担当）	お客様の様子	・顧客の設備投資意欲に変化はなく、景気も変動していない。
		通信会社（営業担当）	お客様の様子	・値下げ要求が多く、商品が売れない状態が続いている。
		観光名所（職員）	それ以外	・団体客は減少しているものの、フリー客は順調のため、全体的には横ばいで推移している。
		遊園地（経営者）	来客数の動き	・梅雨時期にしては珍しく週末の天候が崩れなかったことと、学校、団体の利用がそれなりにあったことで、来客数は堅調に推移している。一方、単価は前年より弱含んでいる。
		その他住宅[リフォーム]（従業員）	販売量の動き	・大型の工事が増えており、売上が前年を超過して予算を達成している。しかし、今後につながる受付は前年に届いていない。
		一般小売店[書籍]（経営者）	販売量の動き	・地方の景気回復が見通せないことから、消費者は一層買い控えに走っている。
		一般小売店[医薬品]（経営者）	来客数の動き	・来客数は前年比97.3%であり、今月は前年をクリアすることが難しい状況である。客の流れが悪く、いつもより落ち込んでいる印象がある。来客数が少ないと売上にも影響するため、今月は少し苦戦をしている。
	百貨店（売場主任）	単価の動き	・これまで比較的安定した買物をしてきた上位顧客層にも、低単価帯へ移行する傾向がみえ始めている。	
	百貨店（買付担当）	単価の動き	・前年より単品買いが多く、前月と比較しても一気に単価が下がっている。ハウスカードのポイントアップでも、定価品よりセール品が稼働している。	
	百貨店（売場担当）	来客数の動き	・来客数が落ち込んでいる。顧客動員策により売上の確保はできているものの、新規客を顧客へとつなげて、再来店をしてもらうことが非常に難しい。	
	スーパー（経営者）	来客数の動き	・既存店の来客数が落ち込み始めている。	
	スーパー（営業担当）	単価の動き	・来客数は前年並みで推移している。ただし、天候が不順なこともあり、夏物商材の不振が続いている。	
	コンビニ（エリア担当）	来客数の動き	・3か月連続で来客数が前年を下回っている。特に、揚げ物やコーヒーなどのカウンター商材の販売量低下が著しい状態である。	
	衣料品専門店（店長）	単価の動き	・セールを開催して集客をしても、超特価商品のみが売れて通常のセール品が売れないため、客単価が大幅に低下している。	
	乗用車販売店（従業員）	来客数の動き	・平日も土日も、来客数が明らかに減少している。	
	住関連専門店（経営者）	単価の動き	・小型で安価なものを求める客が多く、大型の高額商材が売れていない。そのため、売上、利益共に減少している。	
	その他専門店[ガソリンスタンド]（営業担当）	販売量の動き	・コスト上昇、販売価格の値上げにより、販売量は一段と減少している。また、燃料油のみならず他の商品の販売量も落ち込みがみられている。	
一般レストラン（経営者）	来客数の動き	・レストランを利用する客が年々減少している。休日に少し背伸びをしてリッチな気分になりたいということもないのか、3か月前と比べても、レストラン離れ、高級志向離れが進んでいるように見受けられる。		
一般レストラン（経営者）	お客様の様子	・温暖化によりさくらんぼの収穫時期がかなり早まったため、農家は人手の確保に苦労したと聞いている。また、収穫に携わった人達が夜に外出しなかったことと、収穫時期がずれたことにより高額な時給で人手の確保を行った農家も多かったため、収穫後の打ち上げなども激減している。		
観光型ホテル（経営者）	来客数の動き	・今月は例年に比べて宿泊人数が減少している。このことから、景気は悪くなっていると実感している。		

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		都市型ホテル（スタッフ）	販売量の動き	・今月は大きな売上が見込めるようなイベントがなく、そのことが、会合などの参加人数の減少にもつながっており、単価もそれほど伸びていない。宿泊に関する、今月はインバウンドの客をあまり見かけていない。
		都市型ホテル（スタッフ）	販売量の動き	・法人の宴会予約、利用件数共に前年を下回っている。
		都市型ホテル（スタッフ）	来客数の動き	・数か月前から景気の下降傾向が続いており、悪い状況から更に悪くなってきている。来客数の前年比も数か月前より落ち込んでおり、回復の兆しが全くみえない状況である。
		旅行代理店（経営者）	来客数の動き	・団体旅行はそれほどの変化はないが、個人旅行の販売量が落ちてきている。客が出控えており、来客数が減少していることも原因のひとつであるが、特に海外旅行の落ち込みが顕著である。
		タクシー運転手	来客数の動き	・最近はずっと乗客控えがひどくなってきている。客の景気に対する不安を実感している。
		通信会社（営業担当）	お客様の様子	・ボーナス月を目指してキャンペーンを展開しているが、今一つ反響がみられない。費用をかけて宣伝しているが、コストに見合った効果がなかなか得られていない。
		競艇場（職員）	来客数の動き	・来客数が急激に落ち込んでおり、前年と比較しても、今月の売上が一番悪い状態である。
		美容室（経営者）	単価の動き	・新たなメニューに対する反応が鈍く単価が下がっている。
	悪く なっている	商店街（代表者）	来客数の動き	・地下鉄新規路線開通によるバス路線変更により、来客数が激減している。
		一般小売店〔医薬品〕（経営者）	来客数の動き	・駅前に大型商業施設がオープンして3か月が経過したが、駅周辺に客が集中しており、繁華街及び商店街では来客数が10%減少していると聞いている。同様に当店も前年比10%マイナスの状況が続いている。
		一般小売店〔医薬品〕（経営者）	来客数の動き	・この数か月、客単価が上昇し良好な月もあったが、来客数は確実に減少傾向にある。3月後半から来客数が顕著に落ち込み始め、いまだに回復の兆しがみえていない状態が続いている。
		スーパー（経営者）	お客様の様子	・客は明らかに節約志向を強めており、買い回りをするようにになっている。ゴールデンウィーク明けからは、競合他社においてもデフレ価格が広まっており、客の財布のひもは一層固くなっている状況である。
		コンビニ（経営者）	来客数の動き	・近隣に新しい競合店が出店したわけではないのに、来客数の減少が続いており、売上也減少している。地下鉄の新規路線が開通したことで客の流れが変化したとしか考えようがない。
		一般レストラン（経営者）	来客数の動き	・来客数が大幅に減少している。前年と比べても来客数は減っており、かなり悪い状況である。
企業 動向 関連 (東北)	良く なっている	建設業（従業員）	受注量や販売量の動き	・復興関連の公共事業に加えて、一部の民間案件の発注も上向きとなってきた。
		建設業（経営者）	受注量や販売量の動き	・小口工事の受注件数が増えているため、若干ではあるが景気は上向いている。
	やや良く なっている	輸送業（経営者）	受注量や販売量の動き	・物量は安定している。
		農林水産業（従業者）	受注価格や販売価格の動き	・天候に恵まれて、さくらんぼの品質が良い。そのため、販売価格も例年並みとなっている。
	変わらない	食料品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・売上が前年を上回っているものの、売上が落ち込んでいた前年との比較のため、景気が良くなっているという実感はない。
		食料品製造業（営業担当）	受注量や販売量の動き	・販売量の前年割れに歯止めがかからない状態である。
		木材木製品製造業（経営者）	受注価格や販売価格の動き	・住宅部材の価格が安く、収益の改善が進んでいない。
		出版・印刷・同関連産業（経営者）	受注量や販売量の動き	・夏に向けて積極的に広告を出す動きがあるものの、印刷の発注権限が東京などの本社管理となっている会社が増えている。
		出版・印刷・同関連産業（経理担当）	受注量や販売量の動き	・3か月前と比較して、受注量の前年比はほぼ横ばいである。
		電気機械器具製造業（営業担当）	取引先の様子	・零細企業でも仕事量はほぼ横ばいの状況であり、あまり大きな変化はない。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
雇用 関連 (東北)	やや悪く なっている	建設業（企画担当）	受注量や販売量の動き	・手持ち工事の繁忙度の高い状態が続いている。
		通信業（営業担当）	取引先の様子	・契約の更新にあたり、顧客が他社へと切替る案件が増加傾向にある。
		通信業（営業担当）	取引先の様子	・投資をする企業が増えていない。
		金融業（営業担当）	取引先の様子	・政治問題、海外情勢、円高株安の状況から、投資意欲が低下している。
		公認会計士	取引先の様子	・建設業はおおむね好調である。小売業、サービス業は売上、利益共に前年比が減少しているものの、赤字に転落した企業は少ない。
		その他企業〔企画業〕（経営者）	取引先の様子	・取引先である折込チラシ印刷の扱いが多い印刷会社では、夏季賞与の率が前年比マイナス5%となっているようであり、数社が同じ傾向との話である。
	悪く なっている	農林水産業（従業者）	受注価格や販売価格の動き	・初夏の果樹であるさくらんぼ価格が、例年にない低価格となっている。
		食料品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・旅行者が少なく、お土産の販売量にも影響している。
		一般機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・熊本地震の影響で受注量が減少している。また、円高の影響で輸出採算が悪化している。
		電気機械器具製造業（企画担当）	受注価格や販売価格の動き	・半導体全体の市場価格は下げ止まっており、改善する気配がない。
		広告業協会（役員）	それ以外	・広告業界では選挙のある年は不況になるといわれている。今年もそのジククスは破れない様子であり、6月後半は苦戦をしている。例年この時期は上向きになるのだが、今年はマスメディア、折込広告、その他の広告業種も思わしくない状況である。
		広告代理店（経営者）	受注量や販売量の動き	・選挙関連で多少の仕事は増えたものの、全体的に受注量が減少している。また、今は来年度のカレンダーの発注時期となっているが、各社の作成部数が前年より確実に減少している。
	悪く なっている	経営コンサルタント	取引先の様子	・参議院選挙が始まったことで、消費を手控えるようなムードが漂っている。
		コピーサービス業（従業員）	受注量や販売量の動き	・売上が3か月前と比べて10%ほど減少している。受注量も前年を上回るほどの勢いはみられていない。
		繊維工業（経営者）	取引先の様子	・個人消費がますます落ち込んでいる様子である。
雇用 関連 (東北)	良く なっている	-	-	-
	やや良 くなっている	人材派遣会社（社員）	周辺企業の様子	・新規登録者が3か月前から増加に転じており、受注に対する引当率が改善したため、売上の前年比が大幅に伸び利益率も0.6%上昇している。その結果、前年の赤字が反転し大きく黒字化している。
		人材派遣会社（社員）	求人数の動き	・継続して中途採用を行っていきたいと考えている企業が増えているため、求人数が増加している。また、中途採用を行う理由は、欠員補充ばかりではなく今後を見据えた理由が散見される。
		人材派遣会社（社員）	雇用形態の様子	・紹介予定派遣を活用して、直接雇用後に正社員として採用するといった募集が増えている。
	変わらない	人材派遣会社（社員）	周辺企業の様子	・大学生の新卒採用をしている企業は、採用の予定人数を絶対に獲得するために求人活動を継続している。特にIT関連、物流関連の企業は1人でも多く獲得するための求人活動をしている。具体的には、地元大学の学内のガイダンスにおいて、予約人数が1名でも人事の人間がその1名のためだけに東京からやってくるといった状況が生まれている。
		人材派遣会社（社員）	求職者数の動き	・求職者数は微増しているものの、求人とのミスマッチが多い。
		人材派遣会社（社員）	求職者数の動き	・業種や条件などによる求職者の偏りは相変わらず顕著であり、人材確保における勝ち組と負け組の二極化がますます進んでいる。
新聞社〔求人広告〕（担当者）		それ以外	・新聞求人の特徴的な動きはなく、低水準で推移している。	

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		職業安定所（職員）	それ以外	・新規求職者数の前年比は引き続き減少傾向が続いているが、新規求人数も2か月連続で減少しているため、結果として大きな変化とはなっていない。
		職業安定所（職員）	採用者数の動き	・特定の業種からの求人はあるものの、不人気業種ばかりである。求職者数が減少していることも相まって新規雇用が進まない状況である。
		職業安定所（職員）	求人数の動き	・有効求人倍率は前月を0.07ポイント下回っている。しかし、相変わらず建設業、医療、福祉業、その他サービス業は人手不足であり、高止まり状態が続いている。求職者も在職求職者の割合が高く、登録してもなかなか紹介に結びつかないケースが増えている。
		職業安定所（職員）	求人数の動き	・新規求人数、月間有効求人数共に前年を上回っている。しかし、更新求人が多く、人手が確保できないまま、求人が更新されるといった状況が続いている。
		職業安定所（職員）	求人数の動き	・前月、11か月振りに前年比が減少に転じた新規求人数が、今月は2けたの伸びとなっている。また、月間有効求人数も1けたながらも増加するなど、求人数は緩やかな増加傾向となっている。今月は新規求職者数も微増しており、有効求人倍率は10か月連続で1.0倍台となっている。そのため、求人が多いという傾向に大きな変化はなく、求人からみた景況感に大きな動きはない。
		職業安定所（職員）	求人数の動き	・有効求人数の前年比は4か月連続で減少している。また、新規求人数も減少が続いているが、状況に大きな変化はみられない。
		職業安定所（職員）	求人数の動き	・新規求人数、有効求人数共にほぼ横ばいで推移しており、特別に大きな変化はみられていない。
やや悪くなっている		アウトソーシング企業（社員）	それ以外	・受注量が少なく、予約もあまり入っていない。
		新聞社〔求人広告〕（担当者）	求人数の動き	・選挙になると経済が止まるといわれているが、選挙の成り行きをみているのか、求人の動きも停滞している。加えて、英国のEU離脱問題なども市場に不安を与えているのではないかと。
悪くなっている		-	-	-

3. 北関東（地域別調査機関：株式会社日本経済研究所）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明	
家計動向関連 (北関東)	良くなっている	商店街（代表者）	来客数の動き	・ゴールデンウィークのようなとんでもない人の流れはないが、大河ドラマ館に向かう団体バスの数は大変多く、観光関連消費額は想定を超えている。	
		コンビニ（経営者）	来客数の動き	・近隣のコンビニが、一つは移転、一つはリニューアルオープンのため閉鎖し、その影響で来客数が増えたことが、景気が上向き販売量が増加した原因と考えている。	
		設計事務所（所長）	来客数の動き	・3か月前と比べると、着実に予算を達成できているので、良くなっている。	
	やや良くなっている	コンビニ（経営者）	コンビニ（経営者）	販売量の動き	・7～8月の暑い時期が一番ピークという恒例パターンからいくと、6月は助走期間にあたり、業績もある程度上がってくるはずだが、今年は空梅雨にもかかわらず、期待するほど伸びていない。全体としては夏に向かって上がっているが、若干期待外れという感じがしている。
			コンビニ（経営者）	販売量の動き	・気温の上昇によりソフトドリンクの販売数が伸びている。
		家電量販店（店長）	販売量の動き	・ボーナス時期であり、耐久消費財の大型商品が好調に推移している。台数でみて前年比でテレビが120%、冷蔵庫100%、暑さも影響してエアコン200%と今月の売上構成比に寄与している。今月の売上は前年比120%と良い状態で着地となる。	
		乗用車販売店（経営者）	販売量の動き	・大手自動車メーカーの燃費不正問題の影響もあるのか、ボーナス時期に向けて当社の受注は上向いている。	
		一般レストラン（経営者）	来客数の動き	・ゴールデンウィーク以降、大河ドラマの影響なのか、特に土日の県外客が増加している。	
		スナック（経営者）	来客数の動き	・客単価は低いものの、来客数が大分改善してきている。客の雰囲気も全体的に明るく、不景気な話があまり出てこないようで、良くなってきていると感じる。	

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		観光名所（職員）	販売量の動き	・入込客数以上に売上は好調である。アジア圏からの外国人観光客が多く、売店では菓子類以上に実的なものがよく売れている。
	変わらない	商店街（代表者）	お客様の様子	・イベントを開催し来街者に期待するが、毎回のごとく利益にならない品や捨て値で売る品等が少々動くのみである。従来のように夏物を買う客がめっきり減っている。
		商店街（代表者）	販売量の動き	・毎年この時期は学校指定の水着やキャンプ、登山用品の注文取りをするが、ここ最近の状況を見ていると、兄弟や親せきの間で譲り合って使っているのか、本当に注文が少なく、販売数が伸びていない。
		一般小売店〔精肉〕（経営者）	お客様の様子	・連日の暑さがこたえて、空調のきいている大型店で1日過ごす人が多い。買物は必要品のみで趣味、嗜好品には手が出ていない。
		一般小売店〔家電〕（経営者）	お客様の様子	・消費者の購買意欲は全く見えてこない。最近、量販店等で購入し、修理に困って専門店へ駆け込むケースが増えており、壊れたからといってすぐに買換えにはつながらない。修理でも何とか経営は成り立つが、売上増には結び付かない。
		一般小売店〔家電〕（経営者）	販売量の動き	・客の消費意欲がなかなか感じられない。
		スーパー（総務担当）	来客数の動き	・来客数、売上共に前月同様に前年比99%となっている。食料品は今月も数値は良いが、衣料品と住まいの品は悪く、消費者は余計なものは買わない。
		スーパー（統括）	販売量の動き	・来客数は既存店前年同期比104.7%と伸び、生鮮3品の相場も安定しているが、1人当たり買上点数、客単価が伸びず、売上高は102.7%にとどまっている。無駄な買物はしないという消費者の生活防衛意識の高まりを感じる。
		スーパー（商品部担当）	お客様の様子	・売上苦戦、競合店対策などのため低価格を打ち出すことが多くなったものの、買上点数の伸びがなく、消費者の買上金額は全体的に抑えられている。
		コンビニ（経営者）	来客数の動き	・事業所移転により昼の来客数は減少したが、道路開通3か月が過ぎ、交通量増加により夕方から夜の来客数が増加している。
		乗用車販売店（経営者）	お客様の様子	・整備入庫は、横ばい状態である。車両販売に関しては、大手自動車メーカーの燃費不正問題を含め、地方経済全体の落ち込みを客との会話等で感じている。英国のEU離脱問題に伴い、円高、株安と一段と厳しい状況に陥るのではないかと不安を抱いている。
		乗用車販売店（経営者）	お客様の様子	・客はなるべく余計な出費を控えたいという気持ちが強く、高額な出費には慎重な傾向が強くなっている。
		乗用車販売店（管理担当）	販売量の動き	・消費者の購買意欲は、円高の進行やガソリン代の上昇などにより節約志向である。
		自動車備品販売店（経営者）	お客様の様子	・客は単価に意識が向いている。思い切りが悪く、車の購入になかなか踏み切らない。将来について不安を感じているようで、お金を使うことに非常に慎重になっている。
		一般レストラン（経営者）	来客数の動き	・ドラマの影響等で昼食は動きがあるが、地元客対象の夜の動きはさっぱりである。
		スナック（経営者）	お客様の様子	・会社団体での予約、飲食等が減っている。
		都市型ホテル（スタッフ）	来客数の動き	・新規客の利用などにより前年並みの売上はあったが、販売量の動きとしてはあまり良くない。
		旅行代理店（従業員）	お客様の様子	・経済状況が良くなっているとは感じない。
		旅行代理店（営業担当）	販売量の動き	・販売量に顕著な伸びが見られない。
		タクシー運転手	販売量の動き	・昼間の動きはやや良いが、夜の動きが最近悪い。
		タクシー（役員）	お客様の様子	・一部の製造業やそれに関するところだけは良いが、先の不安から安定は望めない。
	通信会社（経営者）	お客様の様子	・保留、解約件数が増加傾向である。	
	通信会社（経営者）	販売量の動き	・販売量の増減はなく、横ばいである。	
	通信会社（営業担当）	販売量の動き	・英国のEU離脱問題による不安感と、その影響による株価の下落、円高などが発生しているため、消費マインドも抑え気味になっている。	

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		ゴルフ場（支配人）	来客数の動き	・企画と低料金で客を集中させたところ、客単価は低下したが利益増につながっている。依然として、平日はシニア層が多く来場している。
		その他サービス [立体駐車場] (従業員)	お客様の様子	・依然として、来客数、単価共に横ばいで変わらない。各テナントについても同様の動きである。
		その他サービス [イベント企画] (職員)	お客様の様子	・景気の高揚感はなく、動きは変わらない。
		設計事務所（経営者）	来客数の動き	・仕事量が少ないので、手が空いてきている。
		住宅販売会社 (経営者)	お客様の様子	・この1か月間ほとんど何も変わらず、不動産の動きもぱっとしない。貸店舗、アパート、マンション等についても、移動が少なく、あまり変化がない。
	やや悪くなっている	商店街（代表者）	来客数の動き	・物離れの雰囲気は少なからず濃くなっているように感じる。中心街の商店の品ぞろえは若年層向けになっていないので、シニア世代の買い控えは、いやでも街中の活気をそいでしまっている。
		商店街（代表者）	お客様の様子	・英国のEU離脱問題に伴う円高、株安により、客は財布のひもを更に引締めている。
		一般小売店 [衣料] (経営者)	販売量の動き	・雨はあまり降らないが、人の動きは良くなく、販売量の動きも悪い。
		一般小売店 [青果] (店長)	来客数の動き	・とにかく来客数が少なく、来ても足りないものを単品で買い、必要な物以外は買わないという状態が続いている。
		百貨店（販売促進担当）	販売量の動き	・婦人服の不調が拡大してきている。今まで比較的堅調であった服飾雑貨も低迷しており、全商品群マイナスという結果である。また、お中元商戦が始まったが、立ち上がりは前年を大きく割り込んでいる。
		百貨店（副店長）	販売量の動き	・前月も決して良くなかったが、今月に入って更に厳しさが増している。婦人服、紳士服共に非常に低調で、インセンティブ付きの手紙やプレセールの案内をしても、来店してもらおうことすら難しい状況である。言い尽くされた言葉だが、中間層が全く消費に動いていない。選挙の影響か、お中元商戦の出だしは全国的に悪いが、当店はその中ではまだ健闘しているのが唯一の救いである。
		スーパー（経営者）	来客数の動き	・消費節約傾向が出始めている。
		コンビニ（店長）	来客数の動き	・今月は前年同月に比べ若干良くなっている。行事などで客がまとまって来店することもあり、3か月前に比べて若干景気が上向いているような気はする。
		乗用車販売店 (経営者)	販売量の動き	・最近、自主的に車が欲しい、車を持つことが夢などという人はほとんどおらず、使用中の車が壊れたり、通勤通学などで買わざるを得ない人や企業などの需要が大半である。将来的な所得の安定性に留意しているようで、購買意欲が乏しい。
		乗用車販売店 (販売担当)	お客様の様子	・当社は観光地にあり、ホテルマンへの販売や修理依頼が多いが、近隣で大型の格安旅館が閉鎖するなど、観光客が減少しているという話を聞いている。客の購買意欲もそがれているし、何となく景気が悪い方向へ行っているような気がする。
		住関連専門店 (経営者)	販売量の動き	・客単価はほぼ横ばいであるが、買上点数は減少してきている。来店頻度も低下しているためか、どの店舗も売上高は減少傾向にある。消費の冷え込みはいまだ解決されていない。
		その他専門店 [燃料] (従業員)	販売量の動き	・販売量が10%近く減少している。前年比でも販売量が減少している。今後使用量が一段と減少する時期になってくる。
		一般レストラン (経営者)	来客数の動き	・ランチの客はほぼいつも通りに入っているが、ディナーの客は依然として少なく、売上がほとんど伸びない。
		一般レストラン (経営者)	お客様の様子	・隔月の年金支給日には行列ができるくらい店が混み合うが、今月に限っては天気のせいもあるのか、それほどでもない。また、客単価も徐々にではあるが下がってきており、注文もランチメニューなどお得感があるものにより集中している。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		スナック（経営者）	お客様の様子	・客の様子からすると、地方の中小企業の給料は上がっていない。また、5～6月はいろいろな税金の支払が多い時期なので、財布のひもを固くしているようである。
		観光型ホテル（経営者）	来客数の動き	・6月は客の動きが非常に悪い。原因が分からないので、分析が必要だと考えている。
		都市型ホテル（営業担当）	販売量の動き	・3棟のうち2棟については、3か月前に比べ稼働率が下がっており、リピーターや大口顧客も減少傾向である。需要は客の仕事の動向に左右されるので、一時的なものと考えられるが、全体として下がり、若干弱くなっている。
		都市型ホテル（副支配人）	販売量の動き	・4～5月と予想以上にインバウンドの利用があった反面、今月は前年を下回っている。例年6月は個人旅行予約も含めて落ち込む時期である。
		旅行代理店（所長）	来客数の動き	・ゴールデンウィーク明けは年間でも弱いシーズンである。地域内に咲く花も、少雪の影響もあってか、早めに終わってしまっている。
		旅行代理店（副支店長）	お客様の様子	・個人旅行の回数も減少し、低価格の旅行を選択している。客の様子を見ると、夏休み等での予約や相談も少なく、募集旅行の集客も以前より落ち込んでおり、消費が少し落ちてきている。
		タクシー運転手	お客様の様子	・5月の連休後、利用客の大幅な減少が続いている。この辺は流しがなく、電話により迎えに行くが、電話の件数もかなり落ち込んでいる。特に午後、夜、深夜が減少している。
		タクシー（経営者）	お客様の様子	・昼も夜も全体的に動きが悪く、前年同月比で5%減少している。
		通信会社（店長）	お客様の様子	・新製品が出て販売が増えず、集客の大きな施策もない。
		テーマパーク（職員）	来客数の動き	・天候不順などの影響により来客数が減少している。
		ゴルフ場（総務部長）	来客数の動き	・梅雨時という天候の要因もあるが、予約状況は良くない。
		競輪場（職員）	お客様の様子	・入場者数、購入単価共にやや減少傾向にある。
		美容室（経営者）	お客様の様子	・カットを希望する客が多く、複合美容施術を提案してもなかなか受け入れてもらえない。客の生活費節約傾向が強まっている。
		その他サービス [自動車整備業]（経営者）	競争相手の様子	・商工会議所会合での世間話によると、どの業種でも街の景気は、ボーナスは出たものの依然として下火感が根強いようである。自動車整備業も客単価の下落が止まらない。
		住宅販売会社（経営者）	お客様の様子	・消費税増税の再延期以来、客の動きが鈍い。買い控え、様子見の状態である。
	悪くなっている	百貨店（営業担当）	販売量の動き	・お中元商戦は前年を大きく下回っている。衣料品も不振が続いており、3か月前と比べると悪化している。
		衣料品専門店（販売担当）	来客数の動き	・年金受給者は若干動きがあったが、現役世代の来店者が極端に少ない。今月は中旬ごろにボーナスが出ているはずなのだが、天候のせいなのか全く理由がわからない。そのうえ参議院選挙があるので、客に対して逆風が吹いていて、店までたどり着かない状況であり、かなり厳しい。
		観光型旅館（経営者）	販売量の動き	・6月の予約が入る5月ごろに熊本地震報道の影響による自粛ムードがあり旅行需要が減少したこと、また、前年はふるさと旅行券の利用が多かったことから、今年の6月の状況は悪い。
		通信会社（経営者）	販売量の動き	・新規事業も取り入れているが、それでは追いつかないほど現業が落ち込み続けている。
	企業動向 関連 (北関東)	良くなっている	輸送用機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き
その他製造業 [環境機器]（経営者）			受注量や販売量の動き	・当社所有の太陽光発電事業は順調である。既存のフロン回収機の販売は、前年度決算後6か月は減少している。スプレー缶処理装置は順調に推移している。
やや良くなっている		司法書士	受注量や販売量の動き	・ほんのわずかだが、明るさが見え始めた気がしている。
変わらない		食料品製造業（製造担当）	受注量や販売量の動き	・販売点数はほぼ横ばいである。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		食料品製造業（営業統括）	受注量や販売量の動き	・県内への観光客数が前年より減少しており、工場来場者、販売量共に減少している。
		窯業・土石製品製造業（経営者）	取引先の様子	・特注の話が増えてきているが、受注につながるかは判断しづらい状況である。
		電気機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・仕事のにはかなり厳しい状況になっているが、3月からずっと毎月10%以上落ち込んでいたのが、ここへきて下げ止まった。
		電気機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・何とか仕事をかき集めて埋めている状態である。
		輸送用機械器具製造業（経営者）	取引先の様子	・得意先、取引先は十数社あるが、受注量、販売等については、良いところ、悪いところ、どちらともいえない等それぞれあり、平均すれば変わらない状況である。
		輸送業（営業担当）	取引先の様子	・6月は天候も良く気温の高い日が続き、夏物家電のエアコンや扇風機などの物量が例年より2割ほど増加しているが、燃料コストがやや上昇し、利益の伸びを抑えている。
		金融業（経営企画担当）	取引先の様子	・観光関連業種は、インバウンド旅行者が増加している影響により好調であるが、その他の業種は変わらないか、悪くなっている。
		不動産業（管理担当）	受注量や販売量の動き	・今月は管理物件の定期業務以外のスポット業務がほとんどなかったため、横ばいで変わらない。
		新聞販売店〔広告〕（総務担当）	受注量や販売量の動き	・今月のチラシ出稿量は、前年比98.8%である。食品スーパーが市中心部の空白地域に新規オープンした一方で、大手衣料品チェーン店では、チラシ出稿枚数が70%を切ってきている。
		経営コンサルタント	取引先の様子	・中小企業の売上等の業績、買物等に見る個人消費など、引き続き例年並みであり、変化は小さい。
社会保険労務士	取引先の様子	・久しぶりに人の少ない山近くの町に年金相談に行ったが、年金受給の前倒しの相談が多かった。地方は仕事が少なく厳しい状況が続いている。		
その他サービス業〔情報サービス〕（経営者）	受注量や販売量の動き	・特段の変化は見られない。		
やや悪くなっている		化学工業（経営者）	取引先の様子	・売上が落ち込む取引先や、景気が上向きか下向きがよく分からないという取引先もあるが、総じて良くない。
		窯業・土石製品製造業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・良くなることを期待している。
		一般機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・全体的な仕事量が落ち込み、目標値に対してマイナス30%の状況である。取引先から生産拠点集約等の身の丈を縮める具体的な話も始めている。
		建設業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・とにかく仕事が少なく、動きが悪い。
		金融業（調査担当）	取引先の様子	・製造業は、円高に伴う業績面への影響に加え、英国のEU離脱問題による円高、株安が、世界経済などの先行き不安を高めている。非製造業は個人消費の弱さが続いているほか、観光面でのイベントに一服感がある。
		不動産業（経営者）	競争相手の様子	・耐用年数に満たない物件の空室が増えているにもかかわらず、新築物件が増え続けている。
		広告代理店（営業担当）	取引先の様子	・飲食店を中心に選挙前の停滞感が強い。地元物販店の売上も悪く、広告宣伝に対して消極的である。
悪くなっている		電気機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・4月からの主要取引先の在庫調整に伴う生産数量ダウンが続いており、現在まで回復の兆しが見られない。
		その他製造業〔宝石・貴金属〕（経営者）	受注量や販売量の動き	・今年に入ってから売上不振が続いている。特に高額品は全くと言っていいほど売れていない。倒産、廃業の話も聞こえてきており、このままでは立ち行かなくなる会社も出てくる可能性がある。今まで以上に取引先の動向を注視している。
		建設業（開発担当）	受注量や販売量の動き	・民間工事は価格競争で受注がなかなか難しい。現政権のもと、公共事業は3年間順調に推移しているが、前政権では苦勞した。今期は前年比76%、特に市町村発注が前年比63%で特に厳しいスタートとなっている。当社は現在前期受注工事の消化中、売上高は前年比5%減程度で進行中であり、何とか前年並みに持っていきたい。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
雇用 関連 (北関東)	良く なっている	-	-	-
	やや良く なっている	職業安定所(職員)	求人数の動き	・正社員求人数の増加がみられる。
		職業安定所(職員)	求人数の動き	・新規求人数及び有効求人数が増加傾向を示している。最近3か月では、製造業や宿泊業、生活関連サービス、娯楽業の求人が前年同期比で増加している。
		学校[専門学校](副校長)	求人数の動き	・7月1日の高校生求人情報解禁を確認すると、求人数が数年前に比べ3倍近くある。
	変わらない	人材派遣会社(社員)	それ以外	・3か月ほど前から取引先への値上げ交渉を進めてきた。数件は値上げの了解を得られ、上げてもらった。ただし、仕事の継続については、人手不足も含めていると問題がある。
		人材派遣会社(管理担当)	求人数の動き	・梅雨に入り、特に麺類の製造派遣が伸び悩んでいる。求人数も横ばいである。
		人材派遣会社(営業担当)	求職者数の動き	・相変わらず正社員希望が多いが、競争率が高く就職できていないため、失業者数は変わらない。
		人材派遣会社(支社長)	周辺企業の様子	・求人への引き合いは前年同様で変わらない。求職者の動きは少なく、コンタクトが取りにくい。
		求人情報誌制作会社(経営者)	採用者数の動き	・IT関係企業が求人広告で募集したところ、応募者は多いものの、面接をしてもなかなか採用するまでの人材が少ない。精密機械のエンジニアなども募集しているが採用には至らない。全体的に専門職は難しいようである。
		民間職業紹介機関(経営者)	求人数の動き	・求人数は良くなっているが、アルバイト、パート、契約、派遣が多く、正社員採用が少ない状況に変化はない。
	やや悪く なっている	人材派遣会社(経営者)	求人数の動き	・住宅建設等は、材料費がいくらか上昇したようで、少し停滞気味である。製造関係では、農機具や自動車製造の鉄鋼関連は好調だが、電子関連は人手不足が落ち着いたのか、または生産調整のためか、鈍っている。サービス業では、介護、福祉、保育士などの募集は依然として根強く活発である。
		人材派遣会社(経営者)	求人数の動き	・このところ仕事量、売上共に減少している。これから忙しくなる見通しもない。
		職業安定所(職員)	求人数の動き	・5月の新規求人は前年同期比10.7%と増加しているものの、全体としては2月から減少傾向にある。求人数は変わらないが、1社当たりの求人数が減少している。卸、小売、飲食店、サービス関連については依然として人手不足感が強いが、他の業種については非常に不透明感が強く、先が見えない状況が続いている。
	悪く なっている			

4. 南関東(地域別調査機関:株式会社日本経済研究所)

(- : 回答が存在しない、 : 主だった回答等が存在しない)

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連 (南関東)	良く なっている	一般小売店[家電](経理担当)	来客数の動き	・季節のせいもあるが、ボーナスが支給されたため、エアコンが売れ始めている。古いエアコンを、省エネタイプに買換える人も多い。
	やや良く なっている	一般小売店[祭用品](経営者)	販売量の動き	・今年は、夏の注文を若干前倒しで受注している関係で、6月からやや良くなっている。
		一般小売店[文房具](経営者)	お客様の様子	・来客数と販売額は増加傾向にあり、上向きである。梅雨時の割には天候が良かったため、これらの増加は天候に少し影響したものと思われ、実質的には、やや良くなっている程度である。中小企業の商品購入は依然として落ちたままであるが、個人客のまとめ買いは増加傾向にある。当店では日用品や学用品などの文具を取り扱っているため、これらの必需品は買い控えが解消され、個人消費はやや回復してきている(東京都)。
		百貨店(総務担当)	販売量の動き	・お中元商戦が始まり、出足は鈍かったものの、6月中旬から前年を超える実績を残すようになっている。また、通常7月からの衣料品のセールを一部前倒ししたことにより、衣料品の売上が好調に推移している。
		百貨店(店長)	単価の動き	・週末の天候と件もあるが、各カテゴリーとも客単価が伸びている。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		コンビニ（経営者）	来客数の動き	・売上が前年と同じくらいにやや良くなってきている。
		衣料品専門店（経営者）	お客様の様子	・価格訴求のチラシに変えてから来客数、売上共に、前年を上回っている。
		衣料品専門店（統括）	単価の動き	・夏物のスーツ、フォーマルを中心に、前年より来客数が大幅に増加している。
		その他小売 [ショッピングセンター]（統括）	販売量の動き	・今年の2～4月にかけて、当ショッピングセンター全体で145店のうち、約2割にあたる29店舗が、改装あるいは新規入店の開業となった。この影響がまだあるため、当施設全体の売上は伸びているが、特有の事情であるため、当地全体のトレンドかどうかは判別しにくい。
		一般レストラン（経営者）	販売量の動き	・店頭販売は、それほど変わらないものの、ケータリングは6月に何件か大きい仕事が増えたため、3か月前の3月と比べると、多少は良くなっている。
		通信会社（管理担当）	来客数の動き	・大きな変化はないものの、計画に対する進捗は想定を上回る実績である。50代のタブレット視聴など、ITリテラシーの高い層が、時間とお金を使って消費している。
		ゴルフ場（企画担当）	来客数の動き	・今月も来場者予定数を上回り、半期トータルでも引き続き順調である。
		住宅販売会社（従業員）	販売量の動き	・今月の販売量は目標数字の約50%となり、景気は悪い。ただし、3か月前の販売量は今以上に悪かったため、それに比べれば、やや良い。消費税増税の再延期により駆け込み需要もなくなり、集客数も非常に落ち込んでいる。また、同じ住宅総合展示場に出展するメーカーで倒産する会社が出てきている。
	変わらない	商店街（代表者）	来客数の動き	・最近はかなり暑いため、高齢者が外出したてがらない。普通の状態に戻って欲しい（東京都）。
		一般小売店 [家電]（経理担当）	販売量の動き	・暑さや今夏の猛暑予想のせいから、エアコンの動きは良い。ただし、以前よりは良くなったもののテレビの動きは今一つである。安いテレビを求める客が増えるなか、たまに、より大型のテレビが欲しいという客もいる。
		一般小売店 [印章]（経営者）	来客数の動き	・とにかく来客数は少なく、非常に厳しい状況である。
		一般小売店 [茶]（営業担当）	販売量の動き	・年に何回か行う催事でも、客の購買意欲が今一つで、販売量が伸び悩んでいる。客数も以前に比べてやや少ない感じがしている。世間一般の購買意欲も控え目の状況にあるのではないかと（東京都）。
		百貨店（総務担当）	販売量の動き	・衣料品の売上が特に厳しく、買上率も低下している。目的買いの客が多く、複数購入や買い回りするような状況ではない。依然として、消費に対する客の財布のひもは固い。
		百貨店（副店長）	お客様の様子	・お中元商戦の出足が非常に良くない。天候は大きなマイナス要因にはなっていないが、客の贈り物に対する動向は様子見の感じが強く出ている。来月にずれ込むか、注視したい。
		スーパー（販売担当）	お客様の様子	・客は、広告初日の目玉商品や、ポイント何倍の日、曜日ごとの特典のある店を、上手に使い分け、買い回りをしている状況が多くみられる（東京都）。
		スーパー（経営者）	お客様の様子	・前月とさほど変わった様子はない。
		スーパー（経営者）	来客数の動き	・来客数が前年よりやや減少している。単価はそれほど下がっておらず、買上点数も前年並みである。天候もあるのかもしれないが、前年も同じような状態だったと思うので、少し客が買い控えているようである。
		スーパー（店長）	お客様の様子	・客が価格に敏感な状態は続いており、10円単位の価格差が、売上をかなり左右する。客の購入価格帯が想像以上に下がっていると感じる（東京都）。
		スーパー（営業担当）	販売量の動き	・今までは、販売量、単価等、前年と比べてそんな色のない状況で推移してきたが、英国のEU離脱問題の大きなニュースが入り、今後このことが相当大きく景気を左右すると思う（東京都）。
		スーパー（仕入担当）	来客数の動き	・今月は気温が高く、アイス、飲料、麺類、薬味つまもの等、涼味関連商材が2けたの伸びを示している。
		コンビニ（経営者）	来客数の動き	・高付加価値商品購入の客と、セール品を中心に購入する客に大きく分かれ、生活の変化が顕著に出始めている。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		コンビニ（経営者）	来客数の動き	・前月までは毎月、来客数が前年をクリアできなかったが、今月に入り、やっと前年並み、あるいは若干多くの客が来店している。しかし、曜日特性など人の動きはそれほど変わることもなく、給料日前には減っていき、給料日後にはまた増えていくというようなトレンドで動いている。そうしたなかでレジに入っているも、忙しく会計が混むと感じる時が若干ある。
		コンビニ（経営者）	来客数の動き	・経営する3店舗をみると、売上増のきっかけがないような状態が続いている。今後、当地では夏祭りがあるので、今はそれを期待しているような状態である。夏祭りになれば、かなり売上増が見込める。
		コンビニ（経営者）	来客数の動き	・天候不順のせいだと思うが、来客数は伸び悩んでいる。
		コンビニ（経営者）	来客数の動き	・来客数は前年比で102%、売上は同104%だが、相変わらずチェーン本部全体の来客数が99.7%と低迷しているため、上向いているようには思えない。
		コンビニ（商品開発担当）	来客数の動き	・来客数は減少し続けており、回復の兆しがみえない（東京都）。
		衣料品専門店（経営者）	お客様の様子	・客や取引先の担当者など4～5人に集まってもらい、今の景気について話し合った。高齢の消費者は、先行きが不安でお金をこれ以上減らしたくないと言い、中年の方は、子供の学費や生活費にお金がかかり過ぎ、特に衣料品などは思うように買えないとのことである。また、商品納入先でも、売上が年々減少し、集金も以前より相当悪くなってきているとの話を聞いており、小企業ほど厳しい現実を感じている。
		衣料品専門店（営業担当）	販売量の動き	・客の衣料品購入に対する考え方が、1～2年前とは本当に変わっている。必要な物をいかに低価格で買うかというようになり、コーディネート販売や高単価の物が売れない。衣料品にお金を使わなくなっている。前年比も90%である。
		家電量販店（店員）	それ以外	・3か月前と比べて大きく変わらない。また、全体的に見ても購入もしくは買換え需要が伸び悩んでいる（東京都）。
		家電量販店（統括）	来客数の動き	・来客数の減少は依然として続いており、既存店平均で5%下落している。
		乗用車販売店（経営者）	販売量の動き	・自動車の整備と販売をしているが、整備は順調に入っているものの、販売はあまり芳しくない。6～7月は夏季賞与が出るため、景気が良くなるはずだが、あまり芳しくない。
		乗用車販売店（経営者）	来客数の動き	・大手自動車メーカーの燃費不正問題があって以降、来客数はかなり減少したが徐々に戻りつつある。
		乗用車販売店（営業担当）	販売量の動き	・販売量は例年通り変わらないと感じる。単価の安い車を探している客が多いようである。
		乗用車販売店（総務担当）	お客様の様子	・ボーナス月、新車投入など盛り上がりはあるものの、大手自動車メーカーの燃費不正問題などが響き、厳しい状況が続いている。
		その他専門店 [ドラッグストア]（経営者）	販売量の動き	・売上の質を向上させるように努力してきたことが、少しずつ実ってきている。
		その他専門店 [ドラッグストア]（経営者）	販売量の動き	・前年と今月の販売量は、あまり変わっていない。
		その他小売 [ゲーム]（開発戦略担当）	販売量の動き	・際立つ大きな新作もなく、前年を下回る見通しである。受注も控え目となっている（東京都）。
		高級レストラン（副支配人）	来客数の動き	・法人関連の利用状況から判断すると、変わらない（東京都）。
		高級レストラン（仕入担当）	来客数の動き	・来客数、売上共に、ほぼ前年並みである（東京都）。
		一般レストラン（経営者）	販売量の動き	・3か月前の3月1～26日までの前年比は、売上92.6%、来客数91.8%である。6月1～28日までの結果は、売上95.6%、来客数98.7%である（東京都）。
		一般レストラン（経営者）	来客数の動き	・今月も、平日の来客数はあまり良くなかったものの、週末は多くの来客数を見込めて良かった。ただし、今月は消費税納付月であるため、その支払額が少しダメージである（東京都）。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		一般レストラン（経営者）	単価の動き	・仕入原価が高騰し、やむなく商品売価の値上げをした。今のところ、値上げした分、客単価が上がっている。来客数は減ると思っていたが、まだそれほど影響を受けていない。もう2～3か月すると動向がはっきりとしてくるかもしれない（東京都）。
		都市型ホテル（スタッフ）	来客数の動き	・ホテル業界は、観光需要が頭打ちで伸び悩んでいる。インバウンドの団体宿泊も低迷している。
		旅行代理店（従業員）	お客様の様子	・問い合わせは多いものの、客が多数の見積依頼をしている状況は変わらない。
		旅行代理店（営業担当）	お客様の様子	・前年に比べて、旅行申込状況が悪い（東京都）。
		旅行代理店（営業担当）	販売量の動き	・企業の出張者数は前月とほぼ変わらない。海外進出への関心も従来と変わらず、視察出張に出る企業は限られるものの、変わらない（東京都）。
		タクシー運転手	お客様の様子	・空梅雨で気温が悪い。初旬ごろから降り始めた雨も長くは続かず、雨が上がるとびたりと仕事が止まる。長梅雨も困るが、それなりに降って欲しいものである。
		タクシー（団体役員）	来客数の動き	・梅雨に入り、雨の影響かタクシー利用は若干の増加がみられる。また、各業界の総会時期であることも増加の要因と思われる。
		通信会社（営業担当）	販売量の動き	・この数か月間、契約数、単価共に横ばいである。安価なサービスを求める層と付加価値の高いサービスを求める層の二極化が進んでいる。
		通信会社（経営企画担当）	お客様の様子	・案件数における変化はない（東京都）。
		観光名所（職員）	来客数の動き	・当地は観光地のため3か月前は閑散期で、6月も梅雨時期と、来客数はそれほど多くないので、3か月前とほとんど変わらない（東京都）。
		パチンコ店（経営者）	競争相手の様子	・当店もライバル店も朝の来客数、ピーク時の来客数の変動がそれほどないため、変わらない（東京都）。
		その他サービス【電力】（経営者）	販売量の動き	・今月は暑い日が続いているため、電気の使用量は前年並みを維持するとみている（東京都）。
		設計事務所（経営者）	お客様の様子	・前年度からの仕掛物件がそのまま動いており、順調であるが、現状、物件は増えていないため、当社の周りでは、変わらない。
		設計事務所（経営者）	競争相手の様子	・業務量が少ないため、価格競争の様相を呈している。特に公共案件入札では顕著である。何もしないよりはまし、との考えからか、異常な低価格での落札がある。
		設計事務所（所長）	お客様の様子	・建築主が支払をするまでの間の立替えが多い分、入金があると多少は楽にはなるが、また、立替えの仕事が入ると、資金的には変わらない状態が続く（東京都）。
		設計事務所（職員）	それ以外	・特に変化は感じられない（東京都）。
		住宅販売会社（従業員）	販売量の動き	・戸建住宅及び賃貸住宅共に受注が減速し、特に賃貸住宅が大幅に落ちている。消費税増税が再延期となりユーザーは様子を窺っており、意思決定に時間がかかっている（東京都）。
		住宅販売会社（従業員）	販売量の動き	・販売量はここ数か月、横ばいである。
	やや悪くなっている	商店街（代表者）	販売量の動き	・最近、来客数が若干減っており、また、客が来店してもなかなか購入まで至らず、非常に慎重になっている状況が続いている。
		商店街（代表者）	それ以外	・当地の景気は、クレジットカードの取り扱いで大体把握ができる。株価が良いと不思議とクレジットカードの取扱いは増えるが、最近は今一つ株価が良くないうえに、英国のEU離脱問題もあり、芳しくない（東京都）。
		一般小売店【家具】（経営者）	単価の動き	・来客数が非常に少ないのは、以前と変わらないものの、来店した客の、購買単価が非常に低くなってきている（東京都）。
		一般小売店【傘】（店長）	お客様の様子	・季節商材の動きが鈍い。また、修理の客が増加している。今持っている物を使い、買換えを手控えている。
		一般小売店【文具】（販売企画担当）	お客様の様子	・小売はそれほどでもないが、外商営業の案件数が少し減っているため、売上も減ってきている。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		一般小売店 [茶] (営業担当)	販売量の動き	・来客数、売上共に落ち込んでいる。
		百貨店 (売場主任)	販売量の動き	・売上額では前年をやや下回る状況にとどまっているが、販売量は前年比マイナス10%近く落ち込んでいる。必要なもの以外は買わない傾向が続いている。
		百貨店 (広報担当)	単価の動き	・来客数、売上共に前年実績を割っている。両者の減少率を比較すると来客数よりも売上が1ポイント程度悪く、客単価の低下が進行している。お中元も同様である。インバウンド売上の伸び率は鈍化したものの、前年は超えている。ただし、こちらも来客数よりも売上の伸びが20ポイント程度減少しており、高額品から実用品への購買内容のシフトが行われ、売上は低下傾向にある (東京都)。
		百貨店 (広報担当)	単価の動き	・宝飾品や高級時計、ブランドのハンドバッグ等の数量が伸びず、苦戦が続いている (東京都)。
		百貨店 (営業担当)	来客数の動き	・来客数が大きく減っている。また、来店しても、じっくり選ぶが購買には至らないケースが多い (東京都)。
		百貨店 (営業担当)	単価の動き	・婦人、紳士アパレル関連及び家庭用品関連が低迷している。食料品は、お中元ギフトが苦戦し、前年比10ポイントダウンしている。参議院選の影響も考えられるが、落ち込みは大きい。客単価は若干増加しているものの、来客数の減少をカバーするまでには至らず、数字は伸び悩んでいる。その一方で、高額品の売上は堅調で、店頭の売上不振をカバーしている状況である (東京都)。
		百貨店 (営業担当)	お客様の様子	・客の購買はより慎重となっている。ゴールデンウィークの出費以降、節約ムードが一層強くなっており、お中元商戦のスタートも厳しい状況である (東京都)。
		百貨店 (販売促進担当)	来客数の動き	・来客数は、4～5月に比べると減少幅は小さくなってきているものの、マイナス傾向が続いている。それに比例して売上もマイナス傾向が続き、特に高額品の減少幅は大きくなっている (東京都)。
		百貨店 (計画管理担当)	競争相手の様子	・当店も含め、郊外店舗は軒並み前年より売上高を落としている。婦人服飾関連の売上が依然低調である (東京都)。
		百貨店 (店長)	販売量の動き	・今月は先行き不透明な経済環境に、英国のEU離脱問題が加わり、ますます混迷の度合いが深まってきている。特に、今月の売上の大きな柱の1つであるお中元商戦は、そうした影響により、月を通して不調である。
		百貨店 (営業企画担当)	販売量の動き	・中間層の売上は相変わらず低迷している。加えて売上を下支えしてきた免税売上の伸びが一巡し、今後大きく伸ばすことは難しい状況である (東京都)。
		スーパー (経営者)	お客様の様子	・客単価は上がっているものの、来店回数が減っている (東京都)。
		スーパー (総務担当)	お客様の様子	・今月は、衣料品、住居用品、食料品など全体的に、頻度性の高い日用品や季節商材などの動向が非常に不振である。6月は父の日等のイベントに関しては、前年並み、もしくは若干良かったものの、お中元商戦が始まり、前年比を1割ほど下回る状況で、全体の売上は大体3～4%前年を下回っている。
		コンビニ (経営者)	来客数の動き	・来客数は、3か月前と比べて95%を目標にやってきたが、92%である。実際客の財布のひもは固く、単価も2円ほど下がっている。売上はマイナスである (東京都)。
		コンビニ (経営者)	販売量の動き	・販売量が減っている (東京都)。
		コンビニ (エリア担当)	来客数の動き	・天候の影響に限らず客足が鈍っている。特に高価格帯の商品の売行きが鈍ってきている印象である (東京都)。
		衣料品専門店 (経営者)	お客様の様子	・夏の需要期であるが、来客数は上がらず客単価も下がっている。バーゲン待ちもあると思うが、社会不安、政治不信、老後の心配など心理的な要因が大きく作用し、無駄遣いしない風潮が強くなってきている。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		乗用車販売店 (販売担当)	来客数の動き	・東京オリンピック景気や東北復興需要などで、良くなるという期待が取引先には相当あった。ただ、最近では原油高などで、輸送量は大きく伸びていない。そのうえ、英国のEU離脱問題も株価などに影響を与えており、現状の景気はあまり良くない。ただし、期待は依然強く、数か月後の景気回復に望みを持っているというのが、取引先の声である(東京都)。
		住関連専門店 (統括)	販売量の動き	・来客数はあるものの、それに伴う販売量、金額が思うように伸びない。
		その他専門店 [雑貨](従業員)	販売量の動き	・入館者は増えているが、なかなか買上率が上がらない(東京都)。
		その他小売 [ショッピング センター](統括)	販売量の動き	・バーゲンの開催に合わせて購買意欲の高まる、高額衣料品関連商材の動きが鈍化している(東京都)。
		一般レストラン (経営者)	来客数の動き	・このところ、会社の入れ替わりが激しく、リピーター客の異動をよく耳にする(東京都)。
		一般レストラン (経営者)	来客数の動き	・3か月前と比べて、来客数が減っている。地域性の問題なのか、当地の企業労働者数が若干減っているため、そのあたりも問題な気もするが、営業努力も足りない。単に景気が悪いというだけではない。
		一般レストラン (経営者)	来客数の動き	・英国のEU離脱問題による株価の下落や円高などで、急速に消費者の心理が冷え込んでいる。これは一時的なもので、若干戻るような気もしているが、どちらにしろ良い方向には向かっていない(東京都)。
		一般レストラン (経営者)	販売量の動き	・株価が下がっていることや世間の景気が良くないので、悪くなっている。
		一般レストラン (スタッフ)	来客数の動き	・このところまあまあ良かったが、今月に入ってから少し塩梅が悪くなってきている。街中をみても、あまりお金を使う人がいない。きっと先が不安なのではないか。
		その他飲食[居酒屋] (経営者)	それ以外	・当店はいろいろな販促活動を実施しているので、売上は上昇傾向だが、他店や客の動向を見ると景気は悪化しているようである(東京都)。
		その他飲食[給食・レストラン] (役員)	お客様の様子	・営業している社員食堂の利用者数が増加傾向にある。昼食を外食ではなく社員食堂利用に切替える動きは、経験則から消費者の節約志向が高まる時に起きる現象である(東京都)。
		都市型ホテル (スタッフ)	販売量の動き	・従来より、宿泊のインバウンド比率は少なく、中国景気減速による影響は軽微である。ただし、3か月前と比較して国内の動きは確実に鈍くなっている。参議院選の影響が官公庁関連をはじめ法人の動きも少なく、前年に比べ大幅な落ち込みとなっている。プラスの要素が乏しく、景気は徐々に悪くなっている。
		旅行代理店(経営者)	販売量の動き	・大手企業ではベースアップがあり、多少賃金が上がったという話もあるが、客の財布のひもはなかなか固いようである。
		旅行代理店(従業員)	お客様の様子	・都知事の問題の影響で、予算削減による案件減のため、やや悪くなる(東京都)。
		旅行代理店(販売促進担当)	販売量の動き	・今月は旅行月であるが、団体客、個人客共に、悪い結果になっている。団体客をみると、海外への公益部分が前年の半分くらいに悪くなっている。訪日のみが良くなりプラスという状況である。個人客は、特に海外企画商品が2割ほどマイナスになっている(東京都)。
		タクシー運転手	お客様の様子	・深夜の出入が少なく、タクシー利用客はターミナル駅ばかりで、電車のあるうちに帰宅する人が多い。深夜バスは満員である一方、客待ちのタクシーは乗り場に長蛇の列で、景気は今一つである(東京都)。
		タクシー運転手	単価の動き	・客に景気の勢いを感じないが、特別悪いという感じもしない。客は都心部のサラリーマンが多い(東京都)。
		通信会社(経営者)	販売量の動き	・固定電話の新規獲得が激減しており、予算を大きく下回っている。また、テレビ契約はそのまま携帯電話を軸とした他社の乗換えによる当社のインターネット解約が増加しており、純増を押し下げている。獲得、純増ともに予算を下回る状況が続いている(東京都)。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		通信会社（営業担当）	販売量の動き	・電力小売サービスを中心とした販売施策を行っているものの、目標数値を上回るにはかなり厳しい状態が続いている。
		通信会社（管理担当）	販売量の動き	・消費者行動や心理に、円高、株安が大きくマイナスに影響し、消費の手控えは確実である。
		通信会社（営業担当）	販売量の動き	・客の反応に変化はないが、営業担当の人員減により、トータルの契約件数が目標を達成できていない。ただし、営業担当の1人当たりの契約件数は通常通りである。また、電話サービスを開始して2年が経過し、客への案内が一巡したことによる一服感がある（東京都）。
		通信会社（局長）	お客様の様子	・6月に入り営業実績が前年比、前月比共に落ちている。携帯電話市場は買替えのボリュームは増えてきている様子ではあるが、ケーブルテレビとのコラボに結び付いていない。また、4月から開始した電力小売事業についても想定より契約数が少なく、他社の営業も活発で説明自体を嫌がる客も散見される（東京都）。
		通信会社（営業担当）	お客様の様子	・新規契約、解約共に、無駄を省き必要最小限の内容に見直すことが動機になっている傾向が強い。
		通信会社（総務担当）	お客様の様子	・消費税増税も再延期されたが災害備蓄もあり、日常の消費は控え目な傾向が続いているように感じる（東京都）。
		通信会社（管理担当）	販売量の動き	・法人向けのソリューション設備投資の意欲が低下しているようである。また、携帯電話及び周辺機器の個人向け販売もやや悪く感じている（東京都）。
		ゴルフ場（従業員）	来客数の動き	・4～5月のゴルフ場総収入は、前年度を上回ることができなかった。天候だけではなく、景気も影響しているのではないかと。
		ゴルフ場（支配人）	単価の動き	・来客数増加のためには、100～500円程度の値引き要請にも臨機応変に答えざるを得ない状況がある。
		その他サービス [福祉輸送]（経営者）	お客様の様子	・当社の販売系列の自動車で、新車発表等がしばらくないこともあるとは思いますが、客の受注に関する訪問が少なくなってきたような気がする（東京都）。
		その他サービス [保険代理店]（経営者）	来客数の動き	・客数の減少が止まらない。他店への乗換えではなく、客そのものが世代交代の時期に来ている。そのため得意先が減少している。
		その他サービス [学習塾]（経営者）	来客数の動き	・問い合わせ件数などの減少により、やや悪くなっている。
		設計事務所（所長）	競争相手の様子	・今年の4月以降、仕事が激減している。当社、同業者、競争相手を含め全体的に仕事が非常に少ない。また、設計以外の施工会社も、仕事が激減している。
		その他住宅 [住宅管理・リフォーム]（経営者）	競争相手の様子	・競争相手の様子からも、民間案件の動きが完全に止まっている状態で、なかなか相談も来ていない。
		その他住宅 [住宅資材]（営業）	お客様の様子	・全体的に建築資材需要が低下している。物件単位で途切れているわけではないものの、上向く要因がない状況である（東京都）。
	悪くなっている	商店街（代表者）	販売量の動き	・住宅街の中型スーパーが相次いで開店した影響か、駅前や既存の大型スーパーへの客足が遠のいてきている。また、地元商店街への客の出足はますます鈍くなってきており、長く親しまれてきた肉屋などの生鮮食料品店が閉店し始め、従業員を抱えている商店は存亡の危機にあると嘆いている（東京都）。
		一般小売店 [食料雑貨]（経営者）	来客数の動き	・近隣の競合店がリニューアル増床オープンし、集客している。
		百貨店（総務担当）	お客様の様子	・年明け以降の株式市場の低迷で、富裕層の消費行動が鈍っている。消費に対する慎重な動きは続いている。
		百貨店（営業担当）	お客様の様子	・比較的客は来店しているが、購買意欲が低い。海外客の売上は非常に落ち込んでいる（東京都）。
		百貨店（販売促進担当）	来客数の動き	・天候要因や前年との催事の違いを考慮しても、4月以降前年割れとなっている来客数の減少幅が拡大している。お中元ギフトも立ち上がっているが、来客数は前年割れしている。7月以降ボーナス支給後の動きを注視したい。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		スーパー(店長)	お客様の様子	・店頭での特売商品やスポット、プロモーションという形で値段を安くして販売はしているが、安くしても必要なもの以外は買わないというのが、顕著になっていると改めて感じる。昔はいろいろ買って点数が伸びていたが、ここ最近は、本当に必要な物を必要な数だけしか買っていかない(東京都)。
		コンビニ(経営者)	競争相手の様子	・最近ではコンビニ出店数が多く、オーバーストア状態である。客層もまばらだが、来客数が激減しているなかで、売上を作るのは非常に難しい(東京都)。
		家電量販店(経営企画担当)	来客数の動き	・節約志向が強まっているなか、今回の英国のEU離脱問題が日本国内の景気に直接影響を及ぼすことはないと考えるが、円高、株価下落の悪影響があらわれ、国内景気、インバウンド需要に影響が及ぶ(東京都)。
		乗用車販売店(店長)	販売量の動き	・客の来店が減少し、販売促進を行っているものの、反応は鈍い。
		その他専門店[貴金属](経営企画担当)	販売量の動き	・販売量が明らかに減少している。日々の売上が3か月前と比較して1割程度減少している。また、好調だったカテゴリーの商品売上も減少してきている(東京都)。
		その他小売[生鮮魚介卸売](営業)	販売量の動き	・値段に関係なく売れない。やりようがない(東京都)。
		一般レストラン(経営者)	来客数の動き	・世間の景気というか、中小企業等で働く人の、外食自体が減っている。日本全体で、景気が良くなっているという首相の言っている意味が分からない。
		都市型ホテル(スタッフ)	来客数の動き	・中国人宿泊客が激減して、都内の客室不足が一気に解消している(東京都)。
		都市型ホテル(総務担当)	お客様の様子	・今後の宿泊、宴会の予約状況は厳しい。
		タクシー運転手	来客数の動き	・客が街なかから引き上げる時間がさらに早くなっており、終電時間あたりからすぐにいなくなる(東京都)。
		美容室(経営者)	来客数の動き	・来店頻度が、徐々に鈍っている。
		住宅販売会社(経営者)	販売量の動き	・当社は主に住宅を扱う不動産ディベロッパー業と総合建設業で、私がこの業界に入って44年になるが、住宅がこれほど売れないことは今までになかった。オイルショック、バブル崩壊、リーマンショックでも住宅は売れていた。おそらく、一般サラリーマンの所得が実質的に増えていないためと思われる。総合建設業では、前政権時代に公共工事は悪だと判断され、建設業に携わっていた人が離職したところへ、現政権に変わり耐震補強工事などの必要な公共工事が大量に発生したため、人手不足が原因による工事原価の上昇で、公共工事の発注額では対応できない工事がかなり発生している。
企業動向関連 (南関東)	良く なっている	-	-	-
	やや良く なっている	出版・印刷・同 関連産業(営業 担当)	受注量や販売量 の動き	・印鑑、名刺印刷の仕事をしている。6月は特需があり、古くからの得意先で家具を扱う会社の新社屋完成で単価2千円くらいの高級な朱肉が、60個出た。こうしたことはめったにないが、そのようなところに景気の良さを少し感じている(東京都)。
		通信業(広報担 当)	受注量や販売量 の動き	・前月に続き、今月も受注は2けた増と好調を維持している(東京都)。
		広告代理店(営 業担当)	受注量や販売量 の動き	・相談案件数が多くなっている(東京都)。
		その他サービ ス業[情報サー ビス](従業員)	受注量や販売量 の動き	・6月に入り、若干ではあるが通信関連設備の受注が増加傾向にある。
	変わらない	食料品製造業 (営業統括)	受注量や販売量 の動き	・東日本大震災以降は販促施策等実施しても、一時的な伸びはあるものの、継続的な進捗につながっていない。
		出版・印刷・同 関連産業(営 業)	それ以外	・業界全体の不振もあり、取引先の廃業等が目立っている。
		プラスチック製 品製造業(営 業)	受注量や販売量 の動き	・受注量や販売量に特別大きな変化はない。本来なら動く月だが、特に目立った動きはない。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		金属製品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・景気の減速感があり、取引先の状況も良くはないものの、なんとか下げ止まっているようである。受注量も落ち着いてはいるが、これ以上減ることもないように思う。
		一般機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・現在の状態では、今まで同様に悪い。
		その他製造業〔鞆〕（経営者）	取引先の様子	・大きな変化は見受けられないが、当社の得意先のさらにその先の取引先からの検品や返品が、ここへ来て増えてきており、売場ではかなり落ちているのかなと思っている。
		建設業（経営者）	受注価格や販売価格の動き	・想定している価格では商品が売れない。
		建設業（経営者）	取引先の様子	・計画物件が客側の原因で遅れ気味になっている。他の取引先も大分低迷しているところもあるようである。
		建設業（営業担当）	取引先の様子	・英国のEU離脱問題で、海外と取引をしている販売メーカーは設備投資などに慎重となっている。
		建設業（経理担当）	受注量や販売量の動き	・民間工事の非住宅案件がめっきり少なくなってきている。事業拡大を検討するには、当地の景気ではまだ無理があるようである。
		輸送業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・受注量に大きな変化は見られず、依然として厳しい状況は続いている。
		金融業（支店長）	取引先の様子	・為替、株価が一進一退で、投資家も慎重なスタンスを継続している。
		不動産業（経営者）	競争相手の様子	・前月報告の市役所前の21室の物件は、やっと残り1室になったようである。駅前の101室はまだ40%残っている。駅から13分の27年11月完成鉄筋コンクリート造12階建て33室の1DKの物件は19室が残っている。5月に完成した、駅から7分の鉄筋コンクリート造り15階建て42室の1Kの物件は、敷金礼金ゼロだが、申込は1件だけである（東京都）。
		不動産業（総務担当）	取引先の様子	・所有する賃貸ビルは満室稼働が続き、3か月前と変わらない。商業テナントも外国人客が増えているようで、売上が伸びているとのことである（東京都）。
		税理士	それ以外	・近隣のJR駅から私鉄駅の辺りを歩きながら窓越し、外越しから飲食店等を見て回っているが、本当に人が入っていない。店の経営者が代わって違う店になったりしている。私鉄駅の周辺などは、古くから自己所有の店だと思うが、そういう店の業態は変わらないものの、テナントとして家賃を払っている店は、よく入れ代わっている（東京都）。
		社会保険労務士	取引先の様子	・資金繰りの厳しい会社が見受けられる（東京都）。
		経営コンサルタント	取引先の様子	・購入決定に時間を掛ける客が増えているという話を聞く。
		経営コンサルタント	取引先の様子	・商店街のある飲食店店主の話では、「チェーン店の値下げの影響を受け、来客数が減少したため、一部メニューの値下げを行ったが、効果は長続きせず、また元に戻ってしまった。結局、一時的に伸びたのは、値下げメニューだけで、波及効果はなかった」とのことである。
		経営コンサルタント	取引先の様子	・機械、金属加工の中小企業では、大変厳しい状況が続いている。昇給はほんの少して、賞与無しというところもある（東京都）。
		その他サービス業〔警備〕（経営者）	取引先の様子	・順調に公共事業の工事現場の受注があり、このまま推移するとみている。
		その他サービス業〔映像制作〕（経営者）	取引先の様子	・大手企業の不正問題で、下請企業として打撃を受けている取引先もあり、とても広告や映像などに仕事が回ってくる状態ではない（東京都）。
	やや悪くなっている	食料品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・先行きに対する警戒感が出てきているようである（東京都）。
		食料品製造業（経営者）	取引先の様子	・取引先の原料問屋が、ここ数年で一番売上が悪いと言っている。どの業種も小売が悪いようである。
		出版・印刷・関連産業（経営者）	受注量や販売量の動き	・年度末から新年度の期間が終わり、毎年のことだが、受注量が減少する（東京都）。
		出版・印刷・関連産業（営業担当）	競争相手の様子	・同業他社の新規開拓のための営業訪問が数件あり、3月以降の受注は前年よりさらに厳しいと言っている（東京都）。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明	
		建設業（経営者）	競争相手の様子	・人件費単価の上昇に加え、当地では設備投資をする中小企業が少ない。	
		輸送業（経営者）	受注量や販売量の動き	・取引先からの注文も、まとまった仕事ではなく、非常に小さな単位での発注となっている。全体的に経済の動きが少なくなっているのかと推察している。	
		輸送業（経営者）	取引先の様子	・荷主は取扱量減少への対応策を実施しているものの、減少スピードが速く、対応策の効果が期待するほど出ていないため、状況は厳しさを増している（東京都）。	
		金融業（統括）	取引先の様子	・英国のEU離脱問題も含めて、取引先の懸念材料が増えたからである。	
		金融業（営業担当）	受注量や販売量の動き	・取引先の様子をみると、小売業は売上が下がっており、来客数も減少している。製造業の設備投資も少なくなってきており、不動産賃貸業は企業向けのテナントが空き始めている。建設業は、相変わらず人手不足が続いているため、人件費の高騰が利益を圧迫している（東京都）。	
		金融業（役員）	取引先の様子	・英国のEU離脱問題で、リーマンショックの再来となるのではとの懸念から、投資、消費行動は慎重傾向にある。	
		税理士	取引先の様子	・消費税増税の再延期は良かったが、その後の英国のEU離脱問題は景気の面で痛手である。今後の見通しが立たず、賞与が出て購入にはつながりそうもない。	
		その他サービス業〔廃棄物処理〕（経営者）	取引先の様子	・取引先の工場稼働率なども上がらず、受注量が回復していない。	
		悪く なっている	出版・印刷・同 関連産業（所 長）	取引先の様子	・毎月のレギュラー案件の中止、価格や仕様の見直し が急に増えてきている。現状での広告宣伝効果が期待 できない表れと考える。
			プラスチック製 品製造業（経営 者）	受注量や販売量 の動き	・これまで順調だった化粧品容器の受注が、円高の影 響か、取引先が様子見状態になり、半減している。他 部門も軒並み減少傾向にある。
電気機械器具製 造業（経営者）	受注量や販売量 の動き		・政府の省電力、省エネルギー方針が進み、高品質だ が電気を消費する商品が売れなくなったため、全体的 に販売のボリュームが縮小している。早く原子力発電 を再開してもらわないと、売れるのは電気は消費しな いが低品質の商品ばかりで困っている（東京都）。		
電気機械器具製 造業（経営者）	受注量や販売量 の動き		・アベノミクスの第3の矢の効果が何も無い。この参 議院選が終わって、安定するまでは全然期待できな い。それ以降どうなるのか待たれる（東京都）。		
精密機械器具製 造業（経営者）	受注量や販売量 の動き		・前年比で売上がマイナス10%と、大幅に受注が減少 している。今年に入ってから不透明感が強く、4月ご ろからはさらに不安感も強い。		
輸送業（総務担 当）	取引先の様子		・鉄鋼関係の荷主の出荷量は、新年度に入ってから3か 月が経過しても、国内、輸出共に低迷状態にある。		
広告代理店（経 営者）	受注量や販売量 の動き		・今月になり、継続していた販促物の契約が打ち切れ 、その理由は、今期に入ってから反響が急激に落ち たためとのことである。今年度は継続で受注でき ると見込んでいた商材だったが、取引先が求めるレス ポンスに届かないと諦めざるを得ない。		
その他サービス 業〔ビルメンテ ナンス〕（経営 者）	取引先の様子		・取引先元請の契約解除に伴い、当社も自動的に解約 となる物件が複数出ている（東京都）。		
その他サービス 業〔ソフト開 発〕（経営者）	取引先の様子		・案件が消滅したり、客からの受注もかなり減ってい る（東京都）。		
雇用 関連 (南関東)	良く なっている		人材派遣会社 （営業担当）	求人数の動き	・労働契約法の5年ルールによる無期契約を受けて、 正社員採用志向が継続的になっている（東京都）。
	やや良く なっている	人材派遣会社 （支店長）	求人数の動き	・派遣求人は上向きなもの、求職者数が苦戦中であ る。正規雇用案件に求職者が流れているようである。	
		求人情報誌製作 会社（営業担 当）	求人数の動き	・求人への問い合わせが多い（東京都）。	
	変わらない	職業安定所（職 員）	求人数の動き	・求人数は、前年同期に比べて2か月連続で増加して おり、引き続き企業の採用意欲は強い（東京都）。	
		人材派遣会社 （社員）	求人数の動き	・求職者数は増えているが、全般的にどの業種も求人 数が増える動きはない（東京都）。	

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		人材派遣会社（社員）	採用者数の動き	・人材不足が続き、時給を上げて採用に結び付かない。
		人材派遣会社（社員）	それ以外	・自分を含め、周囲の消費生活の状況に変化がみられない（東京都）。
		人材派遣会社（支店長）	それ以外	・人材不足が顕著となっている、企業からの依頼は増えているものの、条件にマッチした人材を派遣できないケースが増えている（東京都）。
		求人情報誌製作会社（広報担当）	採用者数の動き	・景気が良くなる、悪くなる、どちらの要素も身の回りではあまり感じない（東京都）。
		職業安定所（職員）	それ以外	・政府の発表などで景気の上向き報道などが流れるものの、身の回りで景気が上向いているとは感じられない。
		職業安定所（職員）	求人数の動き	・5月の有効求人倍率は前年比0.15ポイント上昇しているものの、前月比では0.06ポイント低下している。新規求人数は、全産業は前年比5.7%の増加であるが、業種別にみると、宿泊、飲食サービス業がマイナス38.0%、卸売、小売業がマイナス31.3%、建設業15.0%であり、業種間により状況が異なる。
		民間職業紹介機関（経営者）	採用者数の動き	・消費者需要の向上が見られず、企業の製造、販売分野での積極的な人員増には至っていないが、新製品開発分野は積極的な投資を行っており、常に求人要望はある（東京都）。
	民間職業紹介機関（職員）	採用者数の動き	・現状大きな変化は感じない。新卒採用も活発で、就職内定率も高い（東京都）。	
	やや悪くなっている	人材派遣会社（営業担当）	求人数の動き	・前月に比べ企業からの求人数が減少しており、前年比でも95%程度の推移で4～6月と減少傾向にある。求職者は若干増加しているものの、企業が求めているスキルレベルではなく、ミスマッチのため、派遣労働者の総数としては、若干減少傾向である。
		人材派遣会社（営業担当）	周辺企業の様子	・エンジニア派遣の引き合いは継続的に多く、まだ景気の良さを感じるものの、一部企業では若干の減速感を感じる（東京都）。
学校〔大学〕（就職担当）		それ以外	・英国のEU離脱問題による影響で、やや悪くなっている（東京都）。	
悪くなっている	-	-	-	-

5. 東海（地域別調査機関：三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計動向関連 (東海)	良くなっている	商店街（代表者）	販売量の動き	・6月は数年ぶりに非常に忙しくなっている。受注件数は微増だが、受注金額では大幅に増えている。
		一般小売店〔土産〕（経営者）	来客数の動き	・伊勢志摩サミットの間は、宿泊施設が警備に提供され、観光客の宿泊が半減し、修学旅行も6月に延期された。6月はサミット効果で5月の減少分以上に観光客が増え、にぎわっている。
	やや良くなっている	商店街（代表者）	お客様の様子	・英国のEU離脱問題があるがそれほど影響はない。
		スーパー（店員）	来客数の動き	・熊本地震の自粛ムードも落ち着き、運動会等の行事で飲物等の販売量が増え、初夏を代表する果物のスイカが出始め、売上を押し上げている。
		コンビニ（エリア担当）	単価の動き	・キャンペーン等により購入点数が増加し、客単価が伸びている。
		乗用車販売店（経営者）	お客様の様子	・客には新車購入の動きがみられる。
		その他専門店〔雑貨〕（店長）	来客数の動き	・大規模ターミナル駅近隣では、新規ビルでの商業施設の開業等、活性化しており、集客増加の要素がみられる。
		観光型ホテル（経営者）	来客数の動き	・宿泊客は前年同月比で25%ほど増加している。これまでの大口団体客へのアプローチが成功した結果であり、景気が回復しているためとは言い難いが、業績は良くなっている。
		タクシー運転手	お客様の様子	・外出が増える時期になってきた。
		通信会社（営業担当）	販売量の動き	・新しいサービスが商品に追加された影響で、良くなっている。
その他サービス〔介護サービス〕（職員）	お客様の様子	・障害者向けグループホームの利用者が増加傾向にある。施設の拡充も検討している。		

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
	変わらない	商店街（代表者）	単価の動き	・ここ数か月の傾向として、客には購買意欲はあるが、客単価が依然として低い。
		商店街（代表者）	販売量の動き	・客単価が低く、販売量や売上高の回復につながらない状況が続いている。
		一般小売店〔土産〕（経営者）	販売量の動き	・販売量は、依然として高止まりである。
		一般小売店〔薬局〕（経営者）	来客数の動き	・4～5月は、ゴールデンウィークや天候不順で非常に悪かったが、6月に入って年金支給日のころからは、やや持ち直している。しかし、まだ景気が回復しているというほどではない。大都市には人出が多いが、当地は不景気のまま、一部に景気の良い会社や店もあるが、全体的には悪い。
		一般小売店〔生花〕（経営者）	お客様の様子	・神棚用の榊、供花や仏花等、必要な物は買うが、家に飾る花までは買えないという客が段々と増えている。安価なギフト商品でも、もう一度考えてからとか、相談してからと言われることがある。
		一般小売店〔贈答品〕（経営者）	お客様の様子	・伊勢志摩サミットは、多少の効果はあったが一部に限られ、マイナス要素もあった。プラスマイナスが打ち消し合い、良いところと悪いところが混在している。
		百貨店（経理担当）	販売量の動き	・衣料品を中心に、全体的に不調が続いている。
		百貨店（販売担当）	単価の動き	・定番商品の売行きは悪いが、月末からのセール品の出だしは好調である。特に低単価のタオルが売れている。
		百貨店（販売担当）	単価の動き	・近隣の商業施設のオープンで来客数は伸びている。ボーナス支給の見込みが立った前月には自家需要が増え、6月初めは横ばいであったが、給料日後は再度伸びがみられ、購入意識は高い。低中価格帯は安定しているが、高額商品の動きが鈍い。
		スーパー（経営者）	お客様の様子	・地元の景気はあまり良くない。大手量販店では、品質の良い商品でも価格を下げて販売するため、販売量は確保できて売上金額が伸びず利益が下がっている。昼食では、女性は頻繁に外食をしているが、男性は小遣いが増えずにコンビニで買って済ませる人が多い。大学生や高校生がいる家庭では、毎月の支払額が多いため、年金生活の両親から援助を受けるところもある。給与が増えず毎月の生活も一杯いっぱい様子では、景気は良くない。
		スーパー（店長）	単価の動き	・単品単価が上がっても、来客数は変わらない。しかし、購入点数があまり伸びず、客単価も伸びていない。若干の伸びはあっても、大きく伸びるような勢いの良さは感じない。
		スーパー（店員）	販売量の動き	・販売量が全体的に伸びない。購入点数が少し減っており、客は必要最低限しか買物をしない。
		スーパー（販売促進担当）	販売量の動き	・今月も販売額は前年の98%で推移している。来客数も前年割れである。客単価は102%で微増となっている。
		スーパー（営業企画）	お客様の様子	・4月以降はアップグレード業態の店舗での業績停滞や、客単価の低下がみられたが、消費税増税の再延期により、数字的には少し持ち直しの傾向がある。
		スーパー（企画・経営担当）	来客数の動き	・梅雨入り後の来客数は、前月に続き前年と比べて減っている。夏野菜に関しては、家庭菜園が増えたことにより、販売量が減少している。
		スーパー（販売担当）	お客様の様子	・引き続き平日の客は少なく、店内は閑古鳥が鳴いている。日曜日の客は、玉子を安売りする開店時と16時にのみ、大幅に増える。
		スーパー（人事担当）	来客数の動き	・来客数には、増減の動きはみられない。
		コンビニ（企画担当）	来客数の動き	・来客数は前年からの減少を見込んでいたが、実際には、低水準だが横ばいが続いている。
コンビニ（エリア担当）	販売量の動き	・来客数は相変わらず前年を下回っているが、マイナス幅は少しずつ小さくなってきている。しかし、好調だった客単価に陰りが見え始めており、合わせて考えるとあまり変わらない。		
衣料品専門店（経営者）	お客様の様子	・仕入れる商品がなじみ客向けに偏ってきているので、来客数によって売上が大きく変わる。ボーナス支給の時期で、一見客の購買を期待したが全くなく、景気の悪さを実感している。		

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		家電量販店（店員）	販売量の動き	・冷蔵庫やテレビでは、サイズアップでの買換え客が多いものの、前年並みの売上が続いている。
		家電量販店（店員）	お客様の様子	・家電製品の販売はあまり良くない。景気は3か月前に比べて変わらない状況が続いている。
		乗用車販売店（従業員）	販売量の動き	・前月から大きな変化はみられない。
		乗用車販売店（従業員）	お客様の様子	・今月の景気は、悪くはないが、3か月前と比べて良い悪いという判断がつきにくい。問い合わせや来店はそこそこあり、客の動きとしては悪くないが、販売量が増えているかといえば、すぐには決めかねたり、値段の折り合いがつかない等、実際には難しい面もある。
		乗用車販売店（従業員）	販売量の動き	・県内の新車販売台数は前年並みで推移しており、地道な販売活動の成果も感じられるが、現状の販売台数は、前月と比較して良くも悪くもない。
		住関連専門店（営業担当）	お客様の様子	・住宅や商業施設ではリフォーム工事や大規模改修工事が増えている。しかし、新築住宅や新築分譲マンション等の動きは横ばいである。公共工事も減少気味で、今のままでは落ち込みも予想される。企業の設備投資も一巡した感じで、やや減少気味である。
		その他専門店【雑貨】（店員）	お客様の様子	・ここ3か月は、可もなく不可もない状況である。
		その他小売【ショッピングセンター】（経理担当）	販売量の動き	・売上高は前年比で8.0%の増加、来客数は前年比12.1%のマイナスとなっている。
		高級レストラン（役員）	単価の動き	・来客数は前年同期比で変わらない。客単価が下がっており、財布のひもが固くなっている様子である。
		一般レストラン【パン・カフェ】（経営者）	販売量の動き	・百貨店や地元大手スーパーでのイベント販売があり、引き続き前年に比べて売上は増加している。
		観光型ホテル（販売担当）	来客数の動き	・食堂部門は来客数の減少で苦戦が続いていたが、徐々にランチ商品がヒットしたため、昼の来客数が大幅に伸びている。しかし、全社的には一般宴会が前年割れとなっており、目標の達成には至らない。
		都市型ホテル（営業担当）	お客様の様子	・来客数も売上もほぼ横ばいである。客が多少経費を削減するという情報はあがるが、具体的に変わった様子はない。
		旅行代理店（経営者）	お客様の様子	・夏の旅行も引き続き順調に予約が入っており、客の様子も少し明るい。
		旅行代理店（経営者）	お客様の様子	・夏のボーナス支給額が決まって、夏休みにどこかへ行きたいという問い合わせはあるが、夏休みの予約数はまばらな一方で、9月から年末にかけての問い合わせも、既に入り始めている。
		タクシー運転手	お客様の様子	・6月は天気に左右されているが、市内で医学関連の学会等大きなイベントもあり、ボーナス支給後の週末は結構忙しかったので、売上はそれほど悪くない。
		通信会社（企画担当）	販売量の動き	・新規契約数は前月より減少し、解約数はほぼ横ばいの状況である。決して悪くなっているというほどではないが、停滞感がある。
		通信会社（サービス担当）	販売量の動き	・携帯電話とのコラボにより、光回線の契約は増加しているが、スマートフォンやネットの普及により、固定電話の解約も増加している。
		通信会社（営業担当）	お客様の様子	・客の様子は、品質よりも、少しでも安い商品に流れる傾向に変わっていない。
		テーマパーク（職員）	来客数の動き	・やや低調な水準での推移が続いており、なかなか好転しない状況である。
		テーマパーク職員（総務担当）	来客数の動き	・天候の影響が大きいいため単月での判断は難しいが、今月の来客数は、目標を下回っている。
		ゴルフ場（企画担当）	来客数の動き	・6月の来客数は予算には達しないものの、前年並みで推移している。売上は、前年実績は上回っている。景気としては、3か月前のやや悪い状況から変化はない。
		その他レジャー【スポーツレジャー紙】（広告担当）	来客数の動き	・平均でみると広告出稿量は安定している。公営競技は良いが、パチンコホールは自主規制等で良くない。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
やや悪くなっている		美顔美容室（経営者）	来客数の動き	・なじみ客は、曜日と時間を決めて定期的に通ってくる。
		美容室（経営者）	お客様の様子	・客の話では、あまりボーナスやレジャー・買物等の話題も聞かないので、景気に変わりはない。
		住宅販売会社（従業員）	販売量の動き	・英国のEU離脱問題がどう影響するかが気になる。
		住宅販売会社（従業員）	それ以外	・取引先からは、他の工務店も暇になっているという話である。
		その他住宅〔不動産賃貸及び売買〕（経営者）	単価の動き	・購入希望客の指し値の幅は、例年と変わらない。
		商店街（代表者）	お客様の様子	・メーカーや知り合いの会社の話でも、良くないとの声を聞く。
		商店街（代表者）	販売量の動き	・平日は横ばいだが、週末の売上が減少傾向にある。土日の個人客の消費が、単価・数量共に下降している。
		一般小売店〔高級精肉〕（企画担当）	販売量の動き	・お中元商戦は、株価低下や為替の不安定等が消費者心理に大きく影響している。選挙の時期は、ギフト商品の売上が減少する。
		一般小売店〔書店〕（営業担当）	販売量の動き	・例年に比べ、客からの注文量が今一つ伸びない。
		百貨店（売場主任）	お客様の様子	・来客数は変わらない。平日昼間でも来店はあるが、見るだけで購入せずに帰る客がほとんどである。6月の売上は、父の日の前の日曜日だけが良かった。他の日は、ほとんど買物をする様子ではなくただ見るだけの客が多く、売上が全く伸びなかった。
		百貨店（販売促進担当）	来客数の動き	・インバウンドの売上減少と株価低迷により、景況感の悪化がみられる。
		百貨店（販売担当）	販売量の動き	・来客数、売上共に前年割れである。以前からの衣料品の不振に加え、好調であった富裕層による高額商品の売上も、株安等の影響で減速している。
		百貨店（計画担当）	販売量の動き	・店頭での購入単価、購入点数共に減少している。
		スーパー（経営者）	販売量の動き	・伊勢志摩サミットが終わっても、全く景気は良くなっていない。
		スーパー（店長）	販売量の動き	・販売額は前年同期を上回っているが、伸びが徐々に鈍化している。国内産豚肉の相場が上昇し、販売価格の見直しを迫られている。
		スーパー（総務担当）	来客数の動き	・販売企画が外れ、予想より来客数が少なかった。
		スーパー（商品開発担当）	来客数の動き	・来客数が回復しない。4～6月はすべて前年を下回り、厳しい状況である。
		スーパー（プロック長）	お客様の様子	・平日の買物には安い食品を探して店を回る客が多い。ポイント2倍、5倍デーの売上構成比が上がってきている。
		コンビニ（企画担当）	販売量の動き	・前年同月比で販売量がマイナスになる店舗が増えてきており、成長が若干鈍化している。
		コンビニ（エリア担当）	それ以外	・店舗での売上高は前年を下回っており、業況は悪化している。
		コンビニ（店長）	販売量の動き	・例年に比べ、梅雨になっても蒸し暑い日が少ないようで、アイスクリームや飲料の売上が、あまり良くない。
		衣料品専門店（販売企画担当）	お客様の様子	・積極的な購買意欲がなくなっている。消費税増税の再延期もあり、高額品もあまり売れない。
		乗用車販売店（従業員）	お客様の様子	・熊本地震の報道は落ち着いてきたが、東京都知事の問題や参議院選挙等、かなり不安な要因が多く、今はあまり良い状態ではないと感じている。
		乗用車販売店（従業員）	販売量の動き	・6月の販売実績は前年同期比90%に終わり、店頭の様子もあまり活気を感じられない。ボーナスの時期ではあるが、財布のひもは固いままである。
		乗用車販売店（従業員）	来客数の動き	・ボーナスシーズンであるが、来客数は全く低調で非常に厳しい。大手自動車メーカーの燃費不正問題だけでなく、市場全体が盛り上がり欠けている。ガソリンの値上がりが続いていることもあり、車種選びにも慎重な様子が見える。
		その他専門店〔書籍〕（店員）	来客数の動き	・例年どおりゴールデンウィーク後は売上が落ち込んでいる。来客数も減少しており、ボーナス時期まで売上の回復はあまり見込めない。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明	
		一般レストラン（経営者）	競争相手の様子	・当店だけでなく他の飲食店の話を聞いても、来客数が全く伸びていない。来客数がゼロの日も多いという話も、よく耳にする。	
		一般レストラン（従業員）	お客様の様子	・参議院選挙や英国のEU離脱問題等で、客の様子は全体に様子見な感じである。	
		その他飲食〔仕出し〕（経営者）	販売量の動き	・英国のEU離脱問題への不安感、回復の流れに乗り切れない景況感等で、ポジティブな心理にはなれない。	
		その他飲食〔ワイン輸入〕（経営企画担当）	販売量の動き	・市場に関する悪いニュースが、消費者の購買意欲を下げている。	
		都市型ホテル（従業員）	来客数の動き	・週末の来客数が減少している。	
		都市型ホテル（経営者）	販売量の動き	・予約客のリードタイムが極端に短くなってきている。	
		都市型ホテル（支配人）	来客数の動き	・宿泊部門では、客室の稼働率が低下している。	
		旅行代理店（経営者）	販売量の動き	・伊勢志摩サミットが終了し、停滞していた客の動きが活発になると見込んでいたが、なかなか活発化しない。英国のEU離脱問題もあり、経済の動きには不安要素が多すぎる。	
		旅行代理店（経営者）	お客様の様子	・日本人の海外渡航が減り外国人観光客が増えているが、爆買いと称される動きは終わりつつある。日本人の消費は確実に減り、外国人観光客の消費が増えるなかで、物の購入から時間消費型への消費の変化に対応できない企業は、業績が悪化していく。	
		旅行代理店（従業員）	お客様の様子	・海外でIS関連のテロが続き、渡航を考え直す人や控える人が増えている。国内でも地震や豪雨による災害が各地で発生し、心理的にも旅行を控える人が増えてきている。	
		タクシー運転手	お客様の様子	・自動車関連の下請けの人等、乗車客からは愚痴を聞くことが多い。	
		テーマパーク（職員）	お客様の様子	・英国のEU離脱問題や円高等の影響で、外国人客は減っている。	
		観光名所（案内係）	お客様の様子	・富士山5合目に毎週行っているが、天候のためか、観光客が前年と比べて少ない。夏場に向けても、あまり期待ができないように感じる。	
		パチンコ店（経営者）	販売量の動き	・客単価や来客数の動きが悪くなっている。	
		その他レジャー〔プロスポーツ〕（経営管理担当）	それ以外	・英国のEU離脱問題の影響で円高が進行している。	
		理美容室（経営者）	来客数の動き	・客との話ではあまり良い話もなく、このまま段々と景気は悪くなっていく。	
		美容室（経営者）	お客様の様子	・都会に比べると地方は仕方がないのかもしれないが、当地は街自体が不景気であり、景気は回復していない。	
		設計事務所（職員）	お客様の様子	・客との話では、これから景気が良くなるような話題は聞かない。	
		住宅販売会社（従業員）	お客様の様子	・消費税増税が再延期となり、期待していた客の来場がなかった。今後の影響はわからないが、今月は影響がみられる。	
		その他住宅〔住宅管理〕（経営者）	単価の動き	・大きな新規計画も少なく、依頼内容は細くなるばかりで、現状はあまり客からは購買意欲を感じられない。	
		悪くなっている	一般小売店〔結納品〕（経営者）	販売量の動き	・売上の落ち込みが非常に激しい。
			一般小売店〔酒類〕（経営者）	来客数の動き	・飲食店では、来客数がゼロの店が引き続きみられる。
			百貨店（経理担当）	お客様の様子	・インバウンドの落ち込みが顕著なほか、高所得者層においても、一部に買い控えや外出を控える様子がうかがえる。
			衣料品専門店〔紳士服洋品〕（売場担当）	お客様の様子	・原因はわからないが、最近客の購買意欲が全く失われている。
			乗用車販売店（経営者）	販売量の動き	・6月は、既存客、新規客共に例年よりも動きが悪い。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		その他専門店 〔貴金属〕（営業担当）	販売量の動き	・店頭での売上高が、前年同期より3割ほど減少している。宝石の販売量も減少している。展示会の来客数も減少しており、業況は悪くなっている。
		一般レストラン（経営者）	来客数の動き	・世界の経済状況の低迷が、個人レベルの消費マインドにも影響している。
		美容室（経営者）	来客数の動き	・開業して50年以上になるが、客層も高齢化し、体が不自由になって施設に入所したり、入院する等で来客数が減少している。
		理容室（経営者）	お客様の様子	・相変わらず、景気の良い話はない。客は安い店に流れ、余分な金は出さない。
		住宅販売会社（経営者）	お客様の様子	・消費税増税の再延期のため、客は新築住宅の購入においては、焦りが感じられず、契約交渉は長引いている。
企業動向関連 (東海)	良く なっている	-	-	-
	やや良く なっている	化学工業（営業）	受注価格や販売価格の動き	・原料であるポリエチレンの仕入れ価格が値下がりしており、利益面では上向きである。
		電気機械器具製造業（経営者）	取引先の様子	・取引先では店舗のリニューアルが定期的にあるため、当社製品の出荷が続いている。
		輸送用機械器具製造業（デザイン担当）	受注量や販売量の動き	・仕事の受注が増えている。
		輸送業（エリア担当）	受注量や販売量の動き	・貨物の荷動きが前年同期比で104.4%と良くなっている。
	変わらない	食料品製造業（営業担当）	取引先の様子	・取引先では、受注数は現状維持が精一杯で景気は悪いままだが、これ以上の落ち込みはないとのことである。
		食料品製造業（経営企画担当）	受注量や販売量の動き	・天候要因も考えられるが、夏物商材の出荷量は前年同期を下回っている。最盛期に向けて不安な部分もある。
		パルプ・紙・紙加工品製造業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・受注量、販売量及び利益も、横ばいが続いており、あまり良くなっていない。
		化学工業（総務秘書）	それ以外	・英国のEU離脱問題で円高・株安となり、新聞やニュースからは景気が悪くなっているように見えるが、身の回りの景気には変化を感じない。市場はすぐに反応するが、市民は反応のしようがない。企業業績に影響が出て、個人の収入や消費マインドに影響が出始めないと、景気の良し悪しはあまり感じられない。
		輸送用機械器具製造業（品質管理担当）	取引先の様子	・客先の操業水準は上がってはいるが、3か月前とあまり変わらない。
		建設業（経営者）	受注量や販売量の動き	・消費税増税の再延期で、一定の売上は確保できている。ただし、英国のEU離脱問題等により、依然として受注の動きには不透明感がある。
		建設業（営業担当）	取引先の様子	・公共工事や企業向け等、工事費が多くかかる案件では、発注までに時間がかかっている。
		輸送業（経営者）	受注量や販売量の動き	・国内の消費財は外国人訪日客の購入量が減少しているといわれているが、実際の荷量には変化は感じられない。輸出入の物量も大きな変化はない。
		輸送業（エリア担当）	受注量や販売量の動き	・景気の先行きが不透明で、貨物量も見通しが立ちにくい。
		通信会社（法人営業担当）	取引先の様子	・伊勢志摩サミットも一段落し、地方自治体は次年度予算の作業に入っているが、システム改修費用は例年どおり圧縮傾向にある。予算を必要最小限にする方向にある。
		通信会社（法人営業担当）	それ以外	・英国のEU離脱問題の影響がわからない。株価や為替相場はリーマンショック以上の変動があり、先行きも不透明である。世界の指導者には、過去の経験を活かして同じ過ちは起きないことを願う。
		金融業（従業員）	取引先の様子	・自動車産業の中小企業では際立った動きもなく、そのまま横ばいでの生産量や忙しさである。
		金融業（法人営業担当）	取引先の様子	・取引先の自動車部品メーカーでは、今のところ稼働状況は順調である。
		金融業（企画担当）	取引先の様子	・株安や円高で相場は不安定ではあるが、車購入のための預金の取崩しもある程度あり、現時点では、個人の購買意欲は衰えてはいないと感じる。
		不動産業（用地仕入）	受注価格や販売価格の動き	・販売価格には大きな変動がない。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		広告代理店(制作担当)	取引先の様子	・受注量はほとんど変わっていないが、予算面で厳しく、利益率等は相変わらず低い。
		行政書士	受注量や販売量の動き	・出荷量が変わらない。
		会計事務所(社会保険労務士)	取引先の様子	・多くの客先では、売上、利益共に好調だが、飲食店等、一般消費者が客の業種では苦戦が続いている。先行きが不透明で、消費を控えている様子がうかがえる。
		その他サービス業[ソフト開発](社員)	取引先の様子	・入札案件は見込みどおり発生しているが、参加する会社が増えてきている。
	やや悪くなっている	化学工業(人事担当)	受注価格や販売価格の動き	・今年に入って物価の上昇が感じられない。スーパーや電化製品店等では、以前と比べ販売価格が下がっている。国内外の不透明感から、消費者が購買をできるだけ控えるようになっている。
		窯業・土石製品製造業(社員)	取引先の様子	・取引先は、以前は対応を依頼してから2週間以上待ったが、最近はずいぶん対応するようになっており、仕事の受注件数が減っているようである。
		鉄鋼業(経営者)	受注量や販売量の動き	・受注量や販売量の低調さは変わっていない。英国のEU離脱問題等、国内製造業全体に影響を与えそうな要因が増え、先行きの不透明感が、足元でも心理的に影響している。
		金属製品製造業(従業員)	受注量や販売量の動き	・見積等の引き合い状況は悪くないが、決定案件が少ない。また、先の物件が多いので、当面の仕事量には不安がある。
		一般機械器具製造業(営業担当)	受注量や販売量の動き	・北米の自動車産業向けの引き合いが増えず、大型案件も延期となっている。
		電気機械器具製造業(営業担当)	受注価格や販売価格の動き	・円高の影響が少しずつ表れている。
		輸送用機械器具製造業(研修担当)	それ以外	・英国のEU離脱問題に伴い円高の進行が見込まれ、製造業の状況は厳しいと言わざるを得ない。
		輸送用機械器具製造業(総務経理担当)	受注量や販売量の動き	・全体的に需要が少ない。やや円高基調にあるが、これといって大きな動きはない。
		輸送用機械器具製造業(経理担当)	それ以外	・円高の影響や熊本地震からの生産体制の復旧に伴って固定費が一時的に発生するため、減益を見込んでいる。
		輸送業(従業員)	受注量や販売量の動き	・前年同月に比べ輸送物量が落ちている。英国のEU離脱問題も心配である。個人消費の停滞から減退へと、景気の冷え込みが懸念される。
		輸送業(エリア担当)	受注価格や販売価格の動き	・3か月前と比べると、景気は下降気味である。取扱い荷物は全国的にも落ちていないが、4月以降は1トン当たりの運賃単価が徐々に落ちてきており、6月は一段と下落している。
		輸送業(エリア担当)	受注価格や販売価格の動き	・受注単価が下落しており、豊作貧乏から回復しない。
		不動産業(経営者)	受注量や販売量の動き	・売買案件数が減少している。
		企業広告制作業(経営者)	それ以外	・英国のEU離脱問題により欧州経済の不安定要因が増えたことで、輸出に頼っている日本経済は失速する。
		新聞販売店[広告](店主)	受注量や販売量の動き	・折込広告の受注量がかなり減っている。
		公認会計士	それ以外	・客先では、業績がやや悪化傾向にあり、従業員の給与は横ばいで賞与はやや減少となっている。原材料価格の高騰や人件費増加等による原価の上昇で、収益性の低下が見受けられる。
		会計事務所(職員)	取引先の様子	・多くの建設業者や建設関連事業者で受注の減少がみられる。前年度の工事が年度末に終了してから、本年度の工事が足踏み状態となっている。
	悪くなっている	出版・印刷・同関連産業(代表)	受注量や販売量の動き	・前年同期に比べ、広告出稿量が格段に落ち込んでいる。広告主の媒体選択が、ますますシビアになってきている。
		金属製品製造業(経営者)	受注量や販売量の動き	・受注量が減少し、販売も減少している。製品価格も低下している。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
雇用 関連 (東海)	良く なっている	-	-	-
	やや良く なっている	人材派遣会社 (社員)	求人数の動き	・ピヤガーデンが始まり、天気にも恵まれて派遣スタッフの利用が好調である。法人関係の大口利用も好調である。
		人材派遣会社 (支店長)	求人数の動き	・求人数は右肩上がりが続いており、年間の動きでも6月としては直近5年間での最高を記録している。3か月前と比べると9割程度となっているものの、前年同月比では2割以上の伸びを示している。
		アウトソーシング企業(エリア担当)	求職者数の動き	・前年は求人募集をしても応募者が少なかったが、今年に入って応募者数が少しずつ増加し、4月以降も引き続き、求職者には動きがみられる。
	変わらない	職業安定所(所長)	求職者数の動き	・足元の求職者は減少しているが、月間有効求職者数としては増加している。求人はあるが就職が思うほど進んでおらず、求職者の滞留がみられる。
		職業安定所(職員)	求人数の動き	・有効求職者数が前年同月比0.8%の微増、有効求人数は4.5%の増加で、有効求人倍率は、前年同月比で0.09ポイントの上昇となっている。
		職業安定所(職員)	求人数の動き	・医療・介護分野の人手不足は慢性化しており、小売業ではパート層を中心に募集は多い。求人募集時の採用意欲も、引き続き全産業において見受けられるが、製造業では、若干鈍化傾向にある。
		職業安定所(職員)	求人数の動き	・新規求人の増加傾向には変わりはなく、足元はしっかりしているが、非正社員での求人がやや多い。
		民間職業紹介機関(営業担当)	採用者数の動き	・求人数は引き続き高止まりの状況で、採用決定数には変化がみられない。
	やや悪く なっている	その他雇用[広告代理店](求人広告担当)	周辺企業の様子	・1か月前とは特に変化はない。
		人材派遣会社(社員)	求職者数の動き	・求職者の不足で求人案件に対応する人材をマッチングできず、採用が滞っている企業が多い。
		人材派遣会社(営業担当)	周辺企業の様子	・3か月前と比べると、全社で引き合い件数が若干減っており、やや悪くなっている。明確な原因は不明だが、円高傾向が強まった時期から件数の減少が顕著となっており、為替相場が少なからず影響している。
		新聞社[求人広告](営業担当)	周辺企業の様子	・新規ビル等の開業等で非正規従業員が不足している。時給を上げて募集をしても集まらない。オープンにはとにかくスタッフを集める必要があるため負担が大きく、無理をして集めたスタッフの質は低く、客足にも影響するため売上が伸びないといった、負のスパイラルがみられる。
新聞社[求人広告](営業担当)		求人数の動き	・求人件数は5月中旬以降は減少傾向にある。一部の職種では広告を掲載しても反応がなく、あきらめムードになっている。	
民間職業紹介機関(支社長)		それ以外	・円高が製造業の業績に影響する。	
悪く なっている		人材派遣会社(営業担当)	それ以外	・英国のEU離脱問題により、世界的に景気が悪化している。

6. 北陸(地域別調査機関:一般財団法人北陸経済研究所)

(-:回答が存在しない、_:主だった回答等が存在しない)

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連 (北陸)	良く なっている	-	-	-
	やや良く なっている	一般小売店[精肉](店長)	販売量の動き	・日用品は売上の伸びは変わらないがギフト用品がかなりの勢いで売れている。全体的にみるとギフトの勢いに引っ張られて売上が伸びている。
		コンビニ(経営者)	単価の動き	・生活支援強化として品揃えの充実を図っているが、品ぞろえを大幅に増やしたことで買上点数が増えた。買上単価も増えており売上が2ポイント程度上昇している状況である。
		衣料品専門店(経営者)	販売量の動き	・売上の1割ほどがワイシャツのオーダーだが注文の仕方に变化がある。面倒だからなのか丁度良い機会との考えなのか、まとめ買いが増えてきている。ここしばらくなかった傾向である。
	住関連専門店(役員)	来客数の動き	・週により変動はあるが、平均的に前年比の約120%の来客数増加で推移している。	

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
変わらない		高級レストラン（スタッフ）	販売量の動き	・昼の営業は、県外からの団体旅行が例年並みにあり、夜の営業は法人や組合、協会の総会後の会食が例年通り受注できたことで安定した集客があった。
		スナック（経営者）	来客数の動き	・期末に団体客が入り、前年同月比で若干良かった。ただ、外的要因による株の値下がりなどで客の顔はさえない。
		通信会社（役員）	販売量の動き	・通信技術の進歩もあってインターネット通信を取り巻く環境は大きく変化している。新商品、新サービスの利用に際して高速通信に対するニーズは確実に高まっており、光通信サービスの新規契約数は着実に伸びている。
		商店街（代表者）	来客数の動き	・あまり変化がみられない。昨年と変わらぬ動きである。
		商店街（代表者）	それ以外	・6月の中心市街地再開発による商業施設のオープンにより、近隣商店街の通行量は増加しているようである。ただ、商店街店舗の売上増加に結び付くまで行かず、ほとんど変化がなく従来通りである。
		一般小売店〔鮮魚〕（役員）	単価の動き	・北陸新幹線開業から1年超が経過し、落ち着きを取り戻したようでやや静かになった。相変わらず観光客は多いが、去年と比較して飲食や土産品に使われる金額がかなり落ちた。このことは、消費単価が低く生魚などが苦手なインバウンド客が増えたことが一因と思われる。土産店やホテル、飲食店などどこに聞いても同じ答えになっている。
		スーパー（店長）	お客様の様子	・客の様子をみても特に変わったという感じはみえない。
		スーパー（店長）	単価の動き	・客の買上単価は下がっているようである。買上点数的にも、さほど先月と変わっていないのが現状である。1品当たりの単価も下がっているようである。
		スーパー（総務担当）	販売量の動き	・気温の上昇で夏物関連の動きは上がったが、全体としては昨年並みで推移していることから変わっていない。
		コンビニ（経営者）	販売量の動き	・特にウィークデーにおいて、ここ数か月間は前年比で同じような数字が並んでいる。競合チェーン店が揃い踏みとなってからの落ち込んだ数字は回復していない。
		コンビニ（店長）	それ以外	・別業種の方から最近では景気が良くなっていると聞いた。身の回りからはそうは感じられないが、客からそういった話を聞いたので実感とは別に景気が良くなっているのではないかと。英国のEU離脱問題で今後の事は現段階では読めないが、身の回りの客はそういった感想を持っている。自店舗の売上は横ばいが続いている。良くも悪くもないのが現状である。
		家電量販店（店長）	販売量の動き	・6月の前半は真夏日がありエアコンなどの夏物商品が好調であったが、期待値を大幅に超えるほどではなかった。
		乗用車販売店（経営者）	販売量の動き	・今月も軽自動車販売の落ち込みが続いている状況は変わらない。回復の兆しがなかなか見えない。
		乗用車販売店（役員）	来客数の動き	・政府のマイナス金利政策、熊本地震の影響、最近では英国のEU離脱問題など景気への逆風が強くなっている。
		自動車備品販売店（役員）	来客数の動き	・新車販売台数の低下も影響して来客数が減少しており、ガソリンスタンドの給油客が更に減少した。買上点数や給油量も下がり厳しい状況は変わらない。
		その他専門店〔酒〕（経営者）	来客数の動き	・来月はお中元が始まるので期待しているが、今月は可もなし不可もなしという状態である。
		その他小売〔ショッピングセンター〕	販売量の動き	・食料品、衣料、住まいの品において、いずれも季節物が動き出して買上単価は前年を維持できたが、競争が激しい地域の店舗では引き続き買上客数の前年割れが続いている。より安さを求める購買行動が目立ってきている。
		観光型旅館（経営者）	来客数の動き	・北陸新幹線開業の前年並みの来客数、売上を維持している。
		観光型旅館（スタッフ）	来客数の動き	・前年比で総売上91%、宿泊人数91%、消費単価100%と新幹線効果が少し薄れてきている。予算対比でも総売上は98%だが、15名以下の個人客は前年数字を確保している。団体客が減少したのが低下の要因である。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		都市型ホテル (スタッフ)	販売量の動き	・宿泊客数、客単価ともに前年をやや下回っているが、想定していたほどは下がっていない。宴会部門は前年並みに推移している。レストラン部門は高単価のメニューは売れず、地元客の利用も引き続き回復していない。
		通信会社(営業担当)	来客数の動き	・来客数は増えているが実際の購入につながるケースは少なく、プランの見直しで月々の利用料を安くしたい客が増えている。
		通信会社(店舗統括)	来客数の動き	・T V C Mなどの影響が一旦来客数が回復したものの持続せず、再度下降気味である。
		その他レジャー施設(総支配人)	来客数の動き	・年間で一番会員が増やせる第1四半期だが一進一退である。
		美容室(経営者)	それ以外	・高価格のドライヤーや新しく取り入れた化粧品の売上が好調である。
		住宅販売会社(従業員)	販売量の動き	・販売金額、販売数量ともに3か月前と変化がない状況であるが、新規客の動きが少なく今後は少し厳しくなりそうである。
		住宅販売会社(従業員)	お客様の様子	・消費税増税の再延期で客の動きが落ち着いた。
	やや悪くなっている	商店街(代表者)	お客様の様子	・イベントには人が集まるが、総じてお金を使うことに関してはシビアであると感じる。通院する老人の数でさえ、節約のため減っているように見える。地方ではこれまでにないほどの不景気感が漂っているようである。
		一般小売店[事務用品](店員)	販売量の動き	・商談中の案件や客からの引き合いが減り、売上全体が減少している。
		一般小売店[書籍](従業員)	お客様の様子	・客の購買の様子が非常に慎重で、じっくり中身や内容などを検討している。
		百貨店(売場主任)	販売量の動き	・価格志向が依然強く、衝動買いやまとめ買いの需要が減っている。必要最低限のものしか買わない客が多い。カード会員向けの優待会を開催し、電話作戦やハガキを郵送し来店を促しているが客の反応は鈍い。
		百貨店(営業担当)	来客数の動き	・お中元ギフトセンターを開設しているが、半年に1度だけ来店するような客の数が減っている。インターネットによる注文が多くなってきていることから、そのような客の来店が減ってきている。
		百貨店(営業担当)	来客数の動き	・来客数が少なく、セール待ちの声も早くから出始め、売上に結びつかず苦戦している。長く使えるものを求める人が多く、季節商材の動きが悪い。
		スーパー(総務担当)	競争相手の様子	・食品スーパーの改装が増加している。売上が減少しているため店舗改装することで集客効果を高めようとしている。実際に改装後は商品の種類を増やすなどして来客数が伸びているようである。
		スーパー(店舗管理)	競争相手の様子	・新規競合店の出店に伴い、影響がないと思われる企業までも販促強化を実施してきておりエリア内での販促が激化している。また、新規出店企業も苦戦している状況である。
		コンビニ(店舗管理)	競争相手の様子	・人件費の高騰、人手不足は歯止めがかからない状況である。近隣のファーストフード店は営業時間短縮に踏み切っている。
		衣料品専門店(経営者)	販売量の動き	・前年より来客数は減っていないが客単価は下がっている。
		衣料品専門店(経営者)	お客様の様子	・客の購買動向は必要なものを必要なだけと慎重に買っている。同業者の大半は売上を落としており現状はたいへん厳しい。
		乗用車販売店(従業員)	販売量の動き	・新車、中古車ともに売上が大きく計画を下回っている。新規の来客数も少ない。
		乗用車販売店(経理担当)	販売量の動き	・6月の販売量は前年同月比で103%の見込みである。3月の販売量は前年同月比で107%であったので3ヶ月前と比較してやや下向きである。
その他小売[ショッピングセンター](統括)	来客数の動き	・客単価をみると客の購買意欲自体は大きく変わっていないが、周辺競合環境の影響により来客数の減少が見られる。また、昨年度に実施したリニューアルの反動により、ホビー、シネマ以外の業種、特に衣料品、服飾品、食料品、飲食業種は苦戦が続いている。		

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		一般レストラン（統括）	来客数の動き	・町全体が少し静かになった感じがする。主に地元客が利用する飲食店の来客数は現状維持以上だが、新幹線開業効果によって潤った客単価がやや高めの飲食店の来客数は特に落ち込みが目立つ。
		旅行代理店（所長）	販売量の動き	・新幹線効果の特需旅行で上がった前年の取扱件数に追いついていない。
		タクシー運転手	来客数の動き	・6月に入って観光客が少なくなってきた。週末だけのタクシー利用で平日の利用が減った。国政選挙がある時は繁華街の人出が減る傾向にある。
		タクシー運転手	販売量の動き	・今は梅雨時で雨が降っていても乗車の回数がそれほど伸びない。
		通信会社（役員）	販売量の動き	・3か月前の商戦期後から、客からの問合せ数や契約数が減少したまま伸び悩んでいる。
		競輪場（職員）	来客数の動き	・前年の同じG1開催に比べ来客数が減少している。
		住宅販売会社（従業員）	販売量の動き	・受注額は月を追って減少してきており、次年度の決算数字に影響が出てくる状況になってきた。消費税増税が再延期になったことから客の動きが鈍くなってきているのが要因である。
		住宅販売会社（従業員）	単価の動き	・販売数だけでなく、販売物件1戸あたりの単価が小さくなってきている。
		悪くなっている	百貨店（営業担当）	お客様の様子
テーマパーク（役員）	来客数の動き		・昨年は北陸新幹線開業をはじめ様々な話題により国内の団体、個人ともに来客数が増加したが、1年が経過し前年同月と比べると落ち着きを見せている。また、これまで増加傾向にあったインバウンド客が円高などの影響もあり2けたの減少になっている。トータルで見るとマイナス幅が大きい。	
企業動向関連 (北陸)	良くなっている	-	-	-
	やや良くなっている	化学工業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・受注量が増えている。
	変わらない	不動産業（経営者）	受注量や販売量の動き	・同業者の話によると、景気がよいという話が半分ほど聞こえてきており、残りの半分は動きが鈍いとするものの全体的によい方向に判断している。
		食料品製造業（役員）	受注価格や販売価格の動き	・為替が円高傾向に振れてきたため輸入原材料価格が下がっているが、影響が出てくるのは3か月後からである。現状では販売価格はそのままに原材料価格は高止まりして厳しい状況が続いている。
	やや悪くなっている	繊維工業（経営者）	取引先の様子	・衣料全体の動きは非常に悪い。非衣料関係は安定している。
		繊維工業（経営者）	受注量や販売量の動き	・主力のスポーツ用品、アウトドア関係商品の動きが悪く受注で苦戦している。特に、付加価値商品は為替の影響により受注が止まっている。
		一般機械器具製造業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・欧州市場からの受注が昨年に比べて半数に落ちている。
		一般機械器具製造業（経理担当）	受注価格や販売価格の動き	・為替相場の円高基調がジワジワと業績に影響を与えつつある。外貨建ての輸出については直接利益に影響を与えるが、円建ての輸出については現地における当社製品の価格上昇を招き、競争力が低下し受注量の減少を引き起こすことになるが、実際にそれらの影響が始めているかは計れないところである。
		精密機械器具製造業（役員）	取引先の様子	・当社への影響は最小限に留まっているものの、ここ数か月は今まで好調だった国内高価格帯マーケットが金額的、数量的にも縮小している。営業からの情報では全体的には2桁以上の縮小とのことである。それに従っていくつかの大手顧客は引き続き仕入れ制限をしているようである。
		建設業（経営者）	受注量や販売量の動き	・例年のこの時期は公共工事の発注が少ないが、今年は昨年よりも発注が遅れているようである。社員の手が空いてきているので民間工事を安値で受注している。
建設業（役員）		受注価格や販売価格の動き	・当地域において受注価格競争の激化が続いており、採算を確保した受注は一段と厳しさを増している。	

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		輸送業（配車担当）	取引先の様子	<ul style="list-style-type: none"> ・英国のEU離脱問題の影響で円高となり輸出関連の繊維や機械などの出荷が減っている。夏の参議院選挙の動向が見えず一般消費の物量も鈍くなっている。 ・金融政策の影響と資金需要の拡大が見られず、新規の長期貸出金利が一部の優良企業においては極端に低下してきている。収益環境は極めて厳しい。 ・公共工事が少なく、建設業者の売上が低迷している。一部で低入札の工事受注の動きが出ている。 ・事業承継者が不在のための会社解散が多い。 ・以前から景気は下向きだと思っているが、中小企業では円高の関係で、今後3～4か月先の輸出案件向けの受注案件が延期になる、あるいは中止になるという予定が聞かれて先行きへの不安が出ている。また、円高ということで経営者の心理も冷えており、夏のボーナスがあまり上がらないということで個人消費の方にも影響が出る心配がある。
		金融業（融資担当）	競争相手の様子	
	悪くなっている	金融業（融資担当）	取引先の様子	
		司法書士 税理士（所長）	取引先の様子	
雇用 関連 (北陸)	良くなっている	-	-	-
	やや良くなっている	職業安定所（職員）	求人数の動き	・新規求人数が増加傾向にあることに加え、新規求職者は前年同月を下回っている状態で就業状況は良い。
	変わらない	人材派遣会社（役員）	求職者数の動き	・以前と変わらず派遣システムへの登録数が少なく、受注案件のマッチング率が伸びない。
		人材派遣会社（社員）	求職者数の動き	・短時間勤務の求人広告を掲載したところ、家事や育児と両立できる要件で応募する女性求職者が多かった。
		新聞社〔求人広告〕（役員）	求人数の動き	・6月の求人広告売上は前年同月比で8割である。
		新聞社〔求人広告〕（担当者）	それ以外	・求人広告は6月は前年比50%強と苦戦した。広告主にヒアリングをしたが、人手不足感は一昨年からあり昨年は出稿を増やしたが効果が表れず、今年になって予算を削減するという動きが目立った。働き手の不足感の大きさに加え、求人広告に対する成果の無さから投資疲れが起きている。報道でも出ている有効求人倍率の高さを考えても大きく就業状況が変化しているとは考えにくい。
		職業安定所（職員）	周辺企業の様子	・一部の事業所は良くなっているとの声も聞かれるが、原材料費が高くなっている中で加工費などの価格は落ちており利益がないとの声も多く、全体として変わらないと感じる。
		職業安定所（職員）	求人数の動き	・5月の新規求人数は3,629人と、依然と高い数値にある。
	やや悪くなっている	学校〔大学〕（就職担当）	求人数の動き	・求人件数は3～4月よりは勢いが無いものの総数では昨年並みの件数となっている。
		求人情報誌制作会社（編集者） 民間職業紹介機関（経営者）	求人数の動き	・1回の求人発行で100件ほど掲載件数が下がっている。 ・求人数が減少している。前年に比べ40～50%の推移。派遣も長期は少なく短期や臨時的な求人が主流となっている。
悪くなっている	-	-	-	

7. 近畿（地域別調査機関：りそな総合研究所株式会社）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連 (近畿)	良くなっている	-	-	-
	やや良くなっている	スーパー（店長）	販売量の動き	・衣料品の夏物の動きが少し良い。
		スーパー（企画担当）	お客様の様子	・今期は3～5月の売上が低迷していたが、6月は前年比99%で推移。梅雨に入って、来客数は若干減少傾向にあるものの、売上は回復傾向にある。ただし、チラシの強化もあり、粗利率は低くなっている。
		コンビニ（経営者）	お客様の様子	・イトインコーナーの利用客が増加傾向にあり、コンビニで食事をするスタイルが定着しつつある。
コンビニ（店員）		来客数の動き	・梅雨に入り少し客足が悪くなっている。	

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		衣料品専門店（経営者）	お客様の様子	・少しではあるが、財布のひもが緩くなっているような気がする。
		乗用車販売店（営業担当）	来客数の動き	・夏のレジャー需要を見据えたボーナス商戦が始まっており、修理やメンテナンスの動きと合わせて、買換えを検討している客も増加しつつある。
		乗用車販売店（販売担当）	単価の動き	・6月に入り、高収益車の受注が戻ってきている。
		住関連専門店（店長）	お客様の様子	・建築現場の業者からの問い合わせや、受注案件が増えている。今後もまとまった金額の受注が期待できる。
		一般レストラン（経営者）	来客数の動き	・ボーナスの使い道の話をよく耳にするが、堅実に貯金するよりも、円高の影響が、海外旅行や近場のぜいたく旅行や、家電や家具の買換えなどの声が聞かれる。まとまったお金を使える、ゆとりのある生活の様子が感じられる。
		都市型ホテル（スタッフ）	単価の動き	・宿泊は、稼働率の上限が迫るなかで、単価アップによる収入増加策が功を奏している。伸び率は鈍化しているが、着実に増収が進んでいる。インバウンドは、団体客数に変化はないが、個人グループの利用が伸びてきている。一方、宴会は前年並みを維持するのが精一杯で、法人客からの景気の良い話が減少している。
		旅行代理店（経営者）	販売量の動き	・海外旅行の販売額が前年比で110%と、国内旅行の90%に比べて伸びている。一方、伊勢志摩サミットの成功により、伊勢方面の旅行需要が拡大傾向にあるほか、熊本地震の観光復興商品も間もなく出てくる。
		タクシー運転手	来客数の動き	・タクシーの需要は、雨などの天候要因や電車の遅れなどにも影響される。今月はホテル関係の利用客の増加もあり、客足が増えている。
	変わらない	商店街（代表者）	お客様の様子	・近郊に大型のショッピングモールがオープンして3か月となる。客足も落ち着き、商店街も通常の動きに戻ったため、これからの展開が楽しみである。
		一般小売店〔鮮魚〕（営業担当）	それ以外	・売上は前月とほぼ変わらない。
		一般小売店〔花〕（店長）	来客数の動き	・暑さで日中の来客が少ない。花の持ちも悪く、売行きは良くない。
		百貨店（販促担当）	販売量の動き	・不振が続く衣料品に加え、雑貨関連も苦戦している。消費者はなんとなく購買意欲に欠け、夏に向けた盛り上がりを感じられない。高額品の動きも悪くはないものの、目立った動きはない。インバウンドは売上に占める比率が低いため、最近の変化による大きな影響はない。
		百貨店（商品担当）	来客数の動き	・梅雨の中ごろから雨量が増え、外国人観光客も前年比で横ばいか、日によってはマイナスとなるなど、全体の来客数が伸び悩んでいる。好調に推移していた特選雑貨や化粧品、婦人洋品雑貨も、以前に比べて低調な推移となっている。
		百貨店（マネージャー）	来客数の動き	・基本的な国内消費の傾向に変化はなく、来客数の減少傾向が続いている。また、インバウンド消費の単価ダウンや夏物消費の販売量の減少も続いている。父の日商戦は前年比でマイナス15%と悪く、お中元ギフトもマイナス5%の予想に対して2けた減となるなど、予想以上に厳しい状況である。
		スーパー（店員）	来客数の動き	・近隣に競合店が多く、土日の客がかなり減っている。
		スーパー（企画担当）	販売量の動き	・野菜の相場安もここ3か月は低位で安定しており、3か月前からは横ばいとなっている。
		スーパー（開発担当）	お客様の様子	・梅雨の時期に入ったが、昨年空梅雨と違って雨が多いので、1日当たりの客足が鈍い。
		スーパー（社員）	競争相手の様子	・昨年から今年にかけて、当社の店舗のなかでも、食品を中心とする店舗の多くは堅調な売上を確保できた。ただし、業界全体の堅調な業績を背景に、最近では多くの店舗で競合店の出店の影響を受けることが多く、やや伸び悩む店舗が多くなっている。
		スーパー（管理担当）	販売量の動き	・何とか前年並みを維持しているが、今後は増加が期待できない。
		コンビニ（店長）	来客数の動き	・おにぎりや調理麺の割引セールが続き、来客数は増えているが、特に景気が良いといえるほどの変化はなく、キャンペーンに支えられている印象である。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		コンビニ(店員)	単価の動き	・来客数の減少が続いているが、客単価は若干上がっている。
		衣料品専門店(販売担当)	お客様の様子	・シーズンを問わず、単価の低い商品が購入される。
		家電量販店(経営者)	お客様の様子	・家計の出費を抑えようとする消費者の意識が依然として強い。その結果、夏物商品であるエアコンや冷蔵庫の買換えが進まない。
		乗用車販売店(営業企画)	単価の動き	・様子見の動きが出ている。
		その他専門店[医薬品](経営者)	お客様の様子	・特売日やポイント2倍といった特典がある日は、客の集中する傾向が高い。一方、メーカーによる新商品の開発ペースが早く、特に生活雑貨は変化が早いいため、客は戸惑っている。
		その他専門店[宝飾品](販売担当)	販売量の動き	・売れ筋商品の傾向は多少変わったが、売上や利益の増加はなく、横ばいである。
		その他専門店[スポーツ用品](経理担当)	単価の動き	・とにかく、個人の所得が増えている感がなく、消費の拡大は全く感じられない。
		その他小売[インターネット通販](オペレーター)	販売量の動き	・受注や問い合わせの電話が増えている。オペレーターの人数は増えたが、追い付かない状況である。
		高級レストラン(スタッフ)	来客数の動き	・天候が不順な日が多く、来客数に非常に波がある。
		高級レストラン(企画)	来客数の動き	・料飲関係の客数は引き続き増えているが、宴会に関しては、製菓関連の受注が伸び悩んでいる。
		一般レストラン(企画)	来客数の動き	・ここ3か月、来客数の前年比はほぼ横ばいが続いている。直近の6月は少し回復の傾向もみられるが、先行きが不透明であり、どのように動いていくかはまだみえてこない。
		その他飲食[コーヒーショップ](店長)	販売量の動き	・消費税増税は延期されたものの、利用者の消費マインドは一向に高まらず、来客数、単価共に回復しない。還元ポイントのあるカードの利用率は増えているので、生活防衛の姿勢が強まっていると感じる。
		その他飲食[自動販売機(飲料)](管理担当)	お客様の様子	・ほとんど変化がなく、商品や気温要因にもプラス材料がない。
		観光型ホテル(経営者)	来客数の動き	・英国のEU離脱問題などの、大きな経済変動による影響が出てくるため、これから先のことは予測できない。
		観光型旅館(管理担当)	お客様の様子	・施設の使用や物品の購入について、できるだけ安価に済ませようとする傾向がある。
		都市型ホテル(客室担当)	販売量の動き	・英国のEU離脱問題による円高、株安などにより、好調に推移していたインバウンド需要に陰りがみられ、右肩上がりであった売上が横ばいになっている。
		都市型ホテル(管理担当)	来客数の動き	・昨年以來、海外からの宿泊者は好調であったが、ここへきて伸び悩んでいる。単価は上がっているものの、稼働室数の伸びが大幅に鈍化している。
		タクシー運転手	販売量の動き	・修学旅行に伴う利用が増えているため、単価は上がっている。
		タクシー運転手	お客様の様子	・梅雨などの天候不順による営業収入の増加を期待していたが、これまでと大きな差はない。
		通信会社(経営者)	お客様の様子	・客の受注状況に大きな変化はない。
		通信会社(経営者)	販売量の動き	・ゼロ円販売の規制による、完全な官制不況である。
		その他レジャー施設[飲食・物販系滞在型施設](企画担当)	販売量の動き	・インバウンドの来客数の動きに大きな変化はなく、観光に関する消費性向も大きく変わっていない。
		美容室(店員)	販売量の動き	・パーマとカラーは、気温が上がってきたため、いつもどおりにオーダーがあることを考えると、景気自体は3か月前と比べると悪くない。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		その他サービス [ビデオ・CD レンタル] (エ リア担当)	販売量の動き	・タイトル不足もあるのか、5月の反動で全アイテムの売上前年比が悪い。
		住宅販売会社 (経営者)	お客様の様子	・長らく購入が検討されていた案件が、それぞれこの時期に決まり、当社にはプラスとなっている。ただし、全体的な流れが上向いているとは判断しがたい。
		その他住宅投資 の動向を把握で きる者[不動産 仲介](経営 者)	お客様の様子	・不動産取引について、あまり変化はみられない。
		その他住宅[展 示場](従業 員)	来客数の動き	・住宅展示場への来場数は、ほぼ昨年並みで変わらない。
	やや悪く なっている	一般小売店[珈 琲](経営者)	それ以外	・求人は売り手市場であり、販売に必要なスタッフが採用できない。高額な時給では、喫茶、飲食店の採算に合わなくなっている。
		一般小売店[精 肉](管理担 当)	お客様の様子	・景気の動きといえるかどうか分からないが、消費者のお金の使い道が変化していると感じる。食以上に価値のある物を選んでおり、食材よりも携帯電話やレジャー、モノよりもコトということで、食肉の販売からは景気がみえにくくなっている。
		一般小売店[衣 服](経営者)	販売量の動き	・夏物衣料の動きが鈍い。来月からのセールを待っている消費者がいることを考慮しても、動きが鈍すぎる。
		一般小売店[家 具](経営者)	お客様の様子	・今年の6月は雨が多くて、客の出足が悪く、販売が芳しくない。
		一般小売店[菓 子](営業担 当)	販売量の動き	・贈答品の動きが悪く、前年と比べて売上が伸び悩んでいる。
		百貨店(売場主 任)	来客数の動き	・食料品とリビング関連は、売上全体が前年比で3%減であり、ファッションを含めて厳しい状況である。食料品、リビング関連は1%減程度で推移しているため、著しく悪いわけではないが、まだまだ前年の水準を確保できない。今後は英国のEU離脱問題や株価の下落を考えると、マイナスになる。
		百貨店(売場主 任)	お客様の様子	・今月は売上が目標を下回る見込みである。従来は好調であったインバウンドや、高額品の動きが鈍くなってきている。さらに、百貨店の中心顧客であり、資産を比較的持っている60代の消費が弱い。客は以前よりも購買単価を意識しており、消費に対して積極的とは言い難い状況にある。
		百貨店(企画担 当)	販売量の動き	・前月と同じく、前年にインバウンド売上が急増した反動が大きく響いている。富裕層の外商顧客に大きな変化はないものの、株価の下落傾向が続くようであれば、購買への影響も出てくるため、注視している。
		百貨店(営業担 当)	販売量の動き	・婦人・紳士服や、婦人・紳士雑貨の販売不振が続いているほか、6月から受注をスタートしたお中元ギフトの購買客数も伸び悩んでいる。
		百貨店(営業担 当)	来客数の動き	・菓子やお中元ギフトの動きが悪い。ファッション関連も盛夏物が動いていない。
		百貨店(営業担 当)	来客数の動き	・月末には、優良顧客を対象とした週末のクリアランスや優待などで、店頭に来客数や売上が増えたが、これまでの1か月弱は前年比で30%以上の落ち込みとなったほか、高額品の引き合いもかなり減ってきている。
		百貨店(サービ ス担当)	お客様の様子	・今月は全体的に前年の売上確保に苦戦しており、来客数も前年比で約5%減となっている。物産の催事だけが集客と売上確保に貢献している。
		百貨店(販売推 進担当)	お客様の様子	・明らかに、高額品の売場では客の数が減少している。外商の取扱額が増加せず、特に海外ブランドの特選ショップでは売上、来客数が減っている。好調な売場は食料品、化粧品などの消耗品である。
		百貨店(外商担 当)	販売量の動き	・今まで売上がけん引してきたインバウンド売上が、昨年を下回り始めている。来客数は増加しているものの、需要が時計や宝飾品の高額品から、日用品や化粧品などに変化してきている。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		百貨店（マネージャー）	販売量の動き	・売上や買上客数は前年比で約2%減であるが、販売点数は5.5%減と大きく減っている。余分な物は購入しないという慎重な購買行動がうかがえるほか、紳士服や婦人服などの中間層向けの衣料品や、雑貨がかなり苦戦している。インバウンド売上についても、化粧品は約40%増と伸びを保っているものの、特選衣料などの高額品は40%減と大きく減少している。
		百貨店（売場マネージャー）	単価の動き	・プレセールの強化などで、バーゲン商材の衣料品は堅調に動いている。ただし、ラグジュアリーブランドなどの高額商品の動きが予想以上に厳しく、全体としては下降気味である。
		百貨店（マネージャー）	単価の動き	・夏らしい天候により、紳士や子ども向けの夏物衣料には回復の兆しがみられる。ただし、富裕層を中心とした特選品や宝飾品といった高額品の動きが、前月よりも更に悪化している。特に、高級時計はインバウンド需要のプレーキも重なり、バブル崩壊並みの状況である。
		スーパー（経営者）	単価の動き	・週末や売出日の降雨の影響で、昨年よりも客足が鈍っている。また、円高傾向の定着で、加工食品類や日用消耗品の店頭価格やチラシ価格が値下がりし、畜産品も昨年の高値相場の反動などで単価が全体的に低下している。4月以降、この傾向が続いており、売上が昨年を上回ることが難しくなっている。
		スーパー（店長）	単価の動き	・食品、雑貨などの必需品を中心に、販売点数、単価が下落傾向にある。節約意識による消費への影響が顕著となっている。
		スーパー（店長）	来客数の動き	・食品は、来客数の減少で生鮮品の売上が減少している。一方、衣料品は横ばいであるが、住関連品は化粧品、寝具が低調で、客単価が低下している。
		スーパー（経理担当）	販売量の動き	・比較的売上は堅調に推移していたが、天候要因の影響もあり、鈍化傾向にある。
		スーパー（企画）	お客様の様子	・昨年までは団塊の世代などのシニア層が中心となり、消費をけん引してきたが、春以降は、いよいよその世代も消費を抑制するような気配がある。
		コンビニ（経営者）	来客数の動き	・平均単価や来客数の悪化は下げ止まっているが、おにぎりやサンドイッチ、弁当などの昼食の主力商品では、高価格の商材が売れず、低価格品が中心となっている。
		コンビニ（店員）	来客数の動き	・雨の日が続いており、来客数が少ない。
		コンビニ（広告担当）	お客様の様子	・3か月前に比べると大きな違いはないが、いろいろな意味で国内、海外共に不安定であり、消費者の購買意欲があまり感じられない。また、海外旅行者の爆買いも少し落ち着いた感がある。
		家電量販店（企画担当）	来客数の動き	・やはり英国のEU離脱問題は大きく、円高や株安による影響は避けられないと感じる。
		乗用車販売店（経営者）	販売量の動き	・大手自動車メーカーの燃費不正問題の発覚から、業界全体のムードが悪く、自動車関連企業の売上が落ち込んでいる。
		その他専門店【宝石】（経営者）	お客様の様子	・英国のEU離脱問題が経済的に大きなマイナスにつながっている。それに伴って株安と円高が進み、消費意欲が後退している。
		その他専門店【食品】（経営者）	販売量の動き	・5月以降、売上が下降しているが、具体的な要因はつかめていない。
		その他小売【インターネット通販】（企画担当）	お客様の様子	・英国のEU離脱問題の報道による、株価下落などの影響か、カタログ受注の動きが悪化してきている。
		一般レストラン（経理担当）	お客様の様子	・円高の進行や海外経済の減速など、流れが変わってきている。
		観光型ホテル（経営者）	販売量の動き	・5月は個人客、団体客共に極端に少なかったが、6月は大型の団体客の入込などもあり、ほぼ前年並みの販売量になった。しかし、景気を反映した動きかどうかは分からない。
		観光型旅館（経営者）	お客様の様子	・今月の入込状況は、本当に途中で止まってしまったような感覚である。
		観光型旅館（団体役員）	来客数の動き	・ゴールデンウィーク以来、やや来客の動きが低調である。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		都市型ホテル（支配人）	来客数の動き	・ゴールデンウィークのころから売上は減少傾向となっている。株価下落や円高による影響が出ている。
		旅行代理店（店長）	お客様の様子	・客の来店が激減するなど、インターネットなどの低料金プランを選ぶケースが増えているほか、海外への旅行も減っている。
		旅行代理店（支店長）	お客様の様子	・熊本地震の影響がまだ続いているところに、参議院選挙が告知され、英国のEU離脱問題のニュースが出てきたことで、旅行の申込をためらう動きが客の間に見られる。毎年旅行に行っている客でも、情勢が混雑しているときは避けて、落ち着いてから申し込むという声が聞かれる。
		旅行代理店（営業担当）	販売量の動き	・夏商戦も7月の動きが鈍く、全体的に前年を下回る状況が続いている。
		タクシー運転手	お客様の様子	・英国のEU離脱問題、参議院選挙、消費税増税の先送りなど、景気に明るいニュースがなく、客のタクシー利用が減少している。
		テーマパーク（職員）	来客数の動き	・英国のEU離脱問題に伴う円高の動きはしばらく続きそうだが、国内企業の輸出は大きな打撃を受ける。その影響の深刻さにもよるが、最終的には家計にも影響が出ることは間違いなさそうである。
		競輪場（職員）	単価の動き	・今月の客単価は9,472円で、3か月前の客単価は9,701円であった。特に、先月に比べるとかなり落ちている。
		美容室（店長）	来客数の動き	・売上が前年比で1割減という状況が続いている。
		住宅販売会社（経営者）	お客様の様子	・来客数、反響共にかなり減少している。
		住宅販売会社（従業員）	それ以外	・英国のEU離脱問題による影響を感じる。
		住宅販売会社（従業員）	お客様の様子	・大阪市内のタワーマンションの販売価格高騰により、購入層の中心が実需から投資用に変ってきている。
		住宅販売会社（総務担当）	お客様の様子	・マイナス金利の影響で住宅ローンの借り換えは増えているが、消費税増税の延期で新規契約が伸び悩んでいる。
その他住宅[情報誌]（編集者）	それ以外	・英国のEU離脱を阻止できなかったことで、世界経済の不安定さが増すと感じる。		
悪くなっている		商店街（代表者）	販売量の動き	・売上が昨年を大きく下回っている。セールの前倒しが進み、買い控えが目立つほか、インバウンド客による購入も減っている。
		一般小売店[時計]（経営者）	来客数の動き	・朝から天気が良くなければ、その日は全く人の気配がしない。そういった日が続いた結果、今月は来客数が激減した。近隣の商業施設はこぞってビッグセールを行っており、傘がいらす、キャッシュバックの楽しみもあるため、人の流れはそちらに向かっている。とにかく今月は暇である。
		一般小売店[衣服]（経営者）	お客様の様子	・久しぶりに同業者をはじめ、ショッピングモール、百貨店、商店街共に、確実に悪化している。
		一般小売店[貴金属製品]（従業員）	来客数の動き	・マイナス金利の導入以来、最悪の状況である。
		一般小売店[野菜]（店長）	お客様の様子	・今の状況では良くなるわけがない。とりあえず世の中がもう少し落ち着く必要がある。
		百貨店（売場主任）	販売量の動き	・外国人観光客向けの売上が減っているだけでなく、食品、身の回り品の売上がかなり落ち込んでいる。売上や利益が減少するなか、宣伝費などの経費削減が進み、更に来客数が伸び悩むという負のスパイラルが進んでいる。
		百貨店（営業企画）	単価の動き	・販売客数はほぼ前年並みを維持できているが、客単価の低下が顕著である。婦人服の不振が継続し、売上の食料品への依存度が更に高まっている。
		スーパー（店長）	お客様の様子	・近隣にスーパーが新店し、予想以上に影響を受けている。当店のパート従業員によると、価格は特に安くないが、余分な物を買わずに済み、結果的に買物金額が少なくなるため、時々買物に行くとのことである。消費者の間では節約志向が強く、価格へのこだわりを持ち、買物金額を減らそうという意図が感じられる。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		衣料品専門店 (経営者)	来客数の動き	・ショッピングセンターや百貨店に限らず、来客数が減っている。熊本地震や参議院選挙など、様々な不安要素が広がっているために、ショッピングセンターでは食料品以外は売れない。
		一般レストラン (経営者)	来客数の動き	・近隣にスーパーがオープンしたが、少し高めの店なので人があまり入らず、商店街の人通りも少ない。近くのすし店も閉店になり、当店もお昼の低価格の定食だけが人気となっている。
		都市型ホテル (総務担当)	来客数の動き	・客室稼働率が悪化してきた。訪日外国人の団体客の減少に加えて、国内の旅行者も減少傾向にある。
企業 動向 関連 (近畿)	良く なっている	-	-	-
	やや良く なっている	電気機械器具製 造業(宣伝担 当)	受注量や販売量 の動き	・猛暑の予想による影響か、月後半に向かうにつれてエアコンの荷動きが活発になっており、前年を上回って推移している。
変わらない		建設業(経営 者)	受注量や販売量 の動き	・6月に入って、電話での問い合わせが急に増えている。通常は1日に1~2件であるが、4~5件となるなど、土地が動いている感覚がある。
		広告代理店(営 業担当)	受注量や販売量 の動き	・広告の発注が期初に比べて増えてきている。
		広告代理店(営 業担当)	取引先の様子	・郊外のショッピングセンターの専門店では、改装効果もあって売上は前年を上回った。特に、飲食サービスは好調である。
		食料品製造業 (営業担当)	取引先の様子	・今月は前年と比べて天気の悪い日が続いていることもあり、飲料水の売上があまり良くない。
		繊維工業(団体 職員)	受注量や販売量 の動き	・生産量は前年比でプラスであるが、消費税増税の年とほぼ同じであり、増税前に比べると減少している。
		化学工業(経営 者)	受注量や販売量 の動き	・売上は前年比で107%と好調であるが、これは昨年が悪かった反動が出ているだけで、反動分を差し引くと、やや良い程度となっている。
		プラスチック製 品製造業(経営 者)	受注量や販売量 の動き	・関西圏内の景気は良くないが、関東方面からの受注が伸びており、差し引きで現状維持である。
		金属製品製造業 (経営者)	受注量や販売量 の動き	・中国の鉄鋼価格の是正や生産調整に期待していたが、国内ではあまり大きな変化はない。
		金属製品製造業 (管理担当)	受注量や販売量 の動き	・納期の短い受注が増えているが、単価の高い残業で対応しているため、利益が少ない。若干ながら受注量は増えているものの、大手電機メーカー関連の受注が不透明であり、スタッフの増員に踏み切れない。
		金属製品製造業 (営業担当)	受注量や販売量 の動き	・建築関係に少し動きが出てきている一方、自動車関係が少し弱くなってきている。
		一般機械器具製 造業(経営者)	受注量や販売量 の動き	・大型案件に伴う出荷が続いているので、短期的には需要が安定している。
		電気機械器具製 造業(経営者)	取引先の様子	・3~4か月前から不況感が漂っていると感じるが、今のところは惰性で動いている。
		輸送用機械器具 製造業(経理担 当)	受注量や販売量 の動き	・受注は自動車産業が中心であり、中小企業からの引き合いは相変わらず少なく、海外も以前ほど好調ではない。
		その他製造業 [事務用品] (営業担当)	受注量や販売量 の動き	・売上や受注量に変化のない状態が続いている。
		建設業(経営 者)	受注価格や販売 価格の動き	・依然として受注競争は厳しく、契約単価も低調である。
		建設業(経営 者)	取引先の様子	・年度末からの技能労働者不足も解消されつつあるが、東京への一極集中により、地方では慢性化するかもしれない。技能労働者の賃金の高騰も心配されるなかで、価格競争も厳しい。
		輸送業(営業所 長)	受注量や販売量 の動き	・輸入貨物の取扱いが年々減少している。
		通信業(管理担 当)	受注量や販売量 の動き	・あまり変化がみられない。
		金融業[投資運 用業](代表)	それ以外	・参議院選挙の結果を見極めたい。アベノミクスを国民がどのように評価しているかで、株価、為替への影響も変わる。
		金融業(営業担 当)	取引先の様子	・業種によってかなり差があり、精密機械など、差別化を図ることができる業種が優位に立っている。
不動産業(営業 担当)	取引先の様子	・神戸から企業が流出して、事務所や社宅のニーズが少なくなり、事務所や賃貸マンションの賃料も下がっている。		

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		経営コンサルタント	取引先の様子	・当社のクライアントをみていると、製造業は新規の製品開発や、それに伴う設備投資に意欲的である。しかし、エンドユーザーが消費者である小売業やサービス業はほとんど売上が伸びず、仕入原価などのコスト増をいかに吸収するかに注力する状況が続いている。
		コピーサービス業（店長）	受注量や販売量の動き	・数か月前と比べて、受注量にはあまり変化がない。前年と比べても大きな変化はみられない。
		その他サービス業〔店舗開発〕（従業員）	受注量や販売量の動き	・梅雨入りの影響もあるが、主要在来線の各駅における東南アジアからの旅行者が減少したように思える。土産物店でも、特にアジア人に好まれる化粧品の売上が芳しくない。中国に人気テーマパークが開業した影響も考えられる。
	やや悪くなっている	食料品製造業（従業員）	受注量や販売量の動き	・長雨のせいか、商品の荷動きが停滞しているように感じる。天気が良ければ買物に出かける機会も増えるが、週末ごとの雨で出かける機会が少なくなり、購買のチャンスも少なくなっている。
		食料品製造業（経理担当）	受注量や販売量の動き	・雨の日が多く、客が減少している。
		繊維工業（総務担当）	競争相手の様子	・売上の減少が生産調整につながり、事業が先細って自主廃業に追い込まれる同業者も出てきている。今だからこそ付加価値の高い商品や、販売力のある営業マンなどを育てていかなければ会社が維持できず、成長できない。
		化学工業（管理担当）	受注量や販売量の動き	・販売量が前年比で約13%落ちている。
		一般機械器具製造業（設計担当）	受注価格や販売価格の動き	・販売価格が若干上昇した影響で、販売量が減少傾向にある。
		電気機械器具製造業（経理担当）	受注量や販売量の動き	・伊勢志摩サミットの警備に伴う、業界の営業自粛があったため、商品の動きは非常に悪い。
		電気機械器具製造業（営業担当）	受注量や販売量の動き	・受注や引き合いが少ない。
広告代理店（営業担当）		受注量や販売量の動き	・東京、名古屋、福岡に比べて、大阪だけが前年の売上を下回っている。	
経営コンサルタント		それ以外	・景気の様子がよく分かるのは小売業であり、百貨店などの大型店、郊外の小さな小売店の両方に注目している。両者に共通しているのは、来客数も単価も悪化していることである。	
悪くなっている	その他非製造業〔機械器具卸〕（経営者）	取引先の様子	・円高、ドル安など、為替の動きが非常に思わしくなく、受注、見積、問い合わせ共に全体的に減少している。	
	パルプ・紙・紙加工品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・多くの顧客からの受注が減少している。	
	電気機械器具製造業（経営者）	それ以外	・最近の安倍政権のポピュリズム的で国粹的な暴走に加えて、直近では英国のEU離脱問題などが重なり、政治の混乱が進んでいる。英国のEU離脱問題の影響はそれほど危惧していないが、安倍政権は危険だと感じている。7月は身の回りの経済を落ち着いてみられることを願っている。	
	その他非製造業〔商社〕（営業担当）	受注量や販売量の動き	・製品がほとんど動かなくなっている。開発の遅れによる影響もあるものの、それだけではない。	
雇用関連 (近畿)	良くなっている	-	-	-
	やや良くなっている	人材派遣会社（支店長）	求人数の動き	・雇用の増加を控えていた企業からの問い合わせや、求人の依頼件数が前年よりも多くなっている。当社の規模では対応できていない状況である。
		職業安定所（職員）	求人数の動き	・インバウンド消費関連の新規求人数が増えている。
		民間職業紹介機関（マネージャー）	求人数の動き	・中小企業を中心に、求人の引き合いは引き続き強い。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
	変わらない	人材派遣会社（経営者）	求人数の動き	・労働者派遣法の改正後の対応を、労働局が厳しくチェックしており、今後は派遣業界、特に特定派遣の分野での淘汰が進む。一方、企業は昨今の景気動向のなかで、人材に関しては蛇口はいつでも開いたり閉じたりできるように、ある程度の需要がみられる。その結果、正社員での採用が前提の紹介予定派遣と、純粋な派遣依頼がますます増えてくる。
		新聞社〔求人広告〕（管理担当）	求人数の動き	・新聞広告自体が縮小均衡に陥っている状況は、今後も変わることはないが、今のところは求人広告にも、景気の方向を示す顕著な動きはみられない。
		職業安定所（職員）	求人数の動き	・新規求人数は前年比で15.4%増え、10か月連続の増加となった。業種別には、人材派遣業や小売業、宿泊・飲食サービス業、医療・福祉などで増加している。一方、不動産・物品賃貸業や製造業、生活関連サービス・娯楽業などは減少している。事業所への景況感のヒアリングでは、普通とする声が多く聞かれる。
		職業安定所（職員）	周辺企業の様子	・福祉関連は景況が良く、今後の見通しも明るいだが、景気を左右する要因になるとは考えにくい。そのほかの業界では、景況を良くも悪くもみている事業所が多い。
		民間職業紹介機関（営業担当）	求人数の動き	・新卒は採用活動の時期が変更し、採用目標が充足できていない企業が多いため、業界全体では良い状況が続いている。
		民間職業紹介機関（営業担当）	求人数の動き	・求人企業が増えている。
やや悪くなっている		人材派遣会社（営業担当）	それ以外	・英国のEU離脱問題が日本経済にも波及し、雇用問題に何らかの影響が出ると予想される。
		人材派遣会社（役員）	採用者数の動き	・企業の採用では、優秀な若年層は採用するが、そのほかの年齢層の採用は落ち込んでいるなど、一時のおう盛な採用意欲は後退している。
		人材派遣会社（支店長）	求人数の動き	・新年度における事業が軒並みストップしているようで、今一つ動きが良くない。
		アウトソーシング企業（管理担当）	それ以外	・今月もほとんど仕事がない状態である。
		新聞社〔求人広告〕（担当者）	それ以外	・新聞広告の推移をみても、前年を超える動きはない。
		職業安定所（職員）	周辺企業の様子	・全体の求人数は前月比、前年比共に増加傾向にあるが、前年は好調であった建設業や製造業の求人数が、大きく減少に転じている。一方、小売業、建設コンサルタント業では前月比、前年比の両方で大きく増加している。
		民間職業紹介機関（営業担当）	求人数の動き	・先月に比べて、長期派遣の求人数が明らかに減少している反面、産休の代替オーダーは増えている。その一方で、求職者の登録は増加している。
		学校〔大学〕（就職担当）	採用者数の動き	・採用者数を絞る企業が増え出している。
		学校〔大学〕（就職担当）	求人数の動き	・昨年と求人企業数は変わらないが、求人数が減ってきている。採用が抑制気味になっていると感じられる。
悪くなっている	-	-	-	

8. 中国（地域別調査機関：公益社団法人中国地方総合研究センター）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計動向関連 (中国)	良く なっている やや良く なっている	通信会社（工事担当）	お客様の様子	・客の様子から景気が良い。
		一般小売店〔紙類〕（経営者）	来客数の動き	・観光客数が増加し、売上も増加している。ただし地元客はほとんどいない。
		スーパー（店長）	販売量の動き	・梅雨時期に入り、野菜価格が不安定である。
		コンビニ（副地域ブロック長）	販売量の動き	・米国大統領訪問や地元プロ野球チームの活躍などで当県が注目され、県外からの客が増加している。
		コンビニ（支店長）	来客数の動き	・来客数は前年並みであるが、客単価は伸びている。
		家電量販店（販売担当）	販売量の動き	・夏商戦が始まりボーナス時期でもあるため好調である。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
	変わらない	競艇場（職員）	販売量の動き	・月末に開催した男女混合戦で売上が十分に確保できている。
		商店街（代表者）	来客数の動き	・商店街がリニューアルされたが、まだ認知されていないため、売上が伸びず、来客数も以前とあまり変わらない。
		商店街（代表者）	来客数の動き	・客単価が低下しており、高額商品の動きが悪い。
		一般小売店〔印章〕（経営者）	来客数の動き	・今月は雨の日が続き、来客数が減少したものの、株主総会に向けた役員異動に関する注文が多く、全体としての売上は横ばい状態である。
		一般小売店〔靴〕（経営者）	お客様の様子	・来街者数は少なく、今後も増える見込みはない。駅前の大型店エリアに人が流れてしまい、特に商店街を歩く学生がここ数年で大幅に減少している。
		一般小売店〔茶〕（経営者）	販売量の動き	・低調な状態が続いている。地元での売上は減るばかりであるが、県外と海外での売上で前年を維持している。
		一般小売店〔食品〕（経営者）	販売量の動き	・来客数と購入金額は低調なまま推移している。
		百貨店（経理担当）	販売量の動き	・6月の売上はほぼ前年並みの見込みである。化粧品は好調を維持しているが、ミセス婦人服は不調が続いている。催事が好調だった婦人服飾、貴金属は前年売上を上回っている。
		百貨店（営業担当）	販売量の動き	・クリアランスセールは昨年のみ9月8日スタートであったが、本年は例年通り7月1日スタートとなり、6月にプレクリアランスセールがスタートした。昨年の状況から判断して、今年は売上見込みをクリアできると考えていたが、前年クリアがやっという状況である。
		百貨店（購買担当）	お客様の様子	・熊本地震以降、客の購入姿勢は慎重になっている。物産展は集客できているが、購入単価はそれほど高くないし、ギフト関連でも単価と件数が減少している。今月は商品を絞り込んで購入する客の姿勢が特に目立つ。
		スーパー（業務開発担当）	販売量の動き	・販売量では精肉、鮮魚が前年を若干下回っているものの、金額ベースでは前年並みである。青果をはじめ加工食品やパン系の日配物は1～2%前年を上回っている。
		スーパー（管理担当）	来客数の動き	・客単価は微増しているが来客数は減少し、売上は前年並みである。
		コンビニ（エリア担当）	それ以外	・本部の政策や店舗で仕掛けた売込み商品により先月と今月は客単価が上昇している。売上は前年より1～2%伸びているが、来客数がマイナス1%の状況であり、これを増やさなければ今後は厳しい。
		コンビニ（エリア担当）	来客数の動き	・来客数がやや減少傾向であるが客単価がやや上向きなため、景気はあまり変わらない。
		家電量販店（店長）	お客様の様子	・賞与の時期であるが、客の消費に対する姿勢は厳しく、必要な商品以外は買わない。
		家電量販店（店長）	単価の動き	・客単価が低下している。
		乗用車販売店（総務担当）	来客数の動き	・販売部門、整備部門共に来客数が増えてこない。
		自動車備品販売店（経営者）	販売量の動き	・これという動きはなく、今まで以上の営業努力によって前年並みを維持できている。
		その他専門店〔和菓子〕（経営者）	単価の動き	・来客数は増加しているものの単価は下落している。
		その他専門店〔時計〕（経営者）	販売量の動き	・将来への不安から、必要な商品以外に消費者の購買意欲が伸びない。
		一般レストラン（経営者）	販売量の動き	・テレビ番組で店が取り上げられて以降増えていた来客数は、3か月経つと徐々に元に戻ってきているものの、以前より売上は良い。
		スナック（経営者）	来客数の動き	・当県で暴力団の抗争があり、関係事務所が近いため客があまり出てこなくなり、景気が良くならない。
		その他飲食〔サービスエリア内レストラン〕（店長）	来客数の動き	・サービスエリア沿線の高速道路の交通量が減少しているため来客数が少ない。
観光型ホテル（営業担当）	お客様の様子	・夏休み前とあって、今月の予約は動きが鈍い。		

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		都市型ホテル（スタッフ）	来客数の動き	・前年と比べて数字に変化はない。
		都市型ホテル（企画担当）	来客数の動き	・インバウンドの宿泊や4月からのDESTINATIONキャンペーンでの集客で、市内の消費需要は高まっており、景況感は好調であるが、大手自動車メーカーの燃費不正問題による地元自動車産業への影響や、海外の政情不安などの影響で、個人消費動向はやや停滞している。
		都市型ホテル（企画担当）	来客数の動き	・宿泊はインバウンド客数が減少しているが、販売室数に変化はなく室単価は上昇している。レストランは来客数が減少傾向にある。
		旅行代理店（経営者）	お客様の様子	・九州地区は熊本地震の影響で旅行需要が減少し、参議院議員選挙、円高なども影響し良い材料がない。
		旅行代理店（営業担当）	販売量の動き	・9月以降の受注が前年同期を下回っている。
		タクシー運転手	お客様の様子	・運転手が減少している。また売上は運賃値上げ分を入れても前年の97%である。
		通信会社（総務担当）	単価の動き	・市場の物品価格にほぼ変動はない。
		通信会社（企画担当）	お客様の様子	・仮想移動体通信事業者に対する卸しの販売動向は変わらず、市場からの堅調な反応が続いている。
		テーマパーク（業務担当）	来客数の動き	・梅雨に入りイベント等も少ない時期であることから、来客数が少ない。
		テーマパーク（管理担当）	来客数の動き	・入館者数、商品販売高共に微減で推移している。
		美容室（経営者）	販売量の動き	・ここ1年ずっと売上と来客数が伸びない。
		設計事務所（経営者）	お客様の様子	・展示会等への来場者数に変化はなく、消費税率引上げの延期を受けて変動が少ない。
		設計事務所（経営者）	お客様の様子	・好転の様子は全くなく、安値発注が続いている。
		設計事務所（経営者）	お客様の様子	・消費税率引上げが先送りとなり、駆け込み需要がなくなったことはあるが、地震の不安感から住宅の耐震に関心が高まっている。
		設計事務所（経営者）	来客数の動き	・戸建住宅の引き合いが低調な状況が続く。住宅以外の建物も建築費の高騰で先に進めない。
		住宅販売会社（従業員）	販売量の動き	・新築注文住宅のみならずリフォーム工事の受注も好調であり、依然として慢性的な人手不足である。
	やや悪くなっている	商店街（理事）	来客数の動き	・セール前で需要が低下している時期であり、消費を盛り上げる要素がない。
		商店街（代表者）	お客様の様子	・前月同様に客の消費意欲は低く、高額品の販売が特に厳しい。
		商店街（代表者）	販売量の動き	・ゴールデンウィーク明けから観光客数が減少し、地元客は収入が増えないのに物価の値上がりもあって財布のひもが固い。
		商店街（代表者）	単価の動き	・夏物のバーゲンに入っているが、売上が全く伸びない。客の購買行動は非常に慎重で、デフレ傾向が続いて今より安くなるのではないかという期待が影響している。まだまだデフレは続く。
		百貨店（営業担当）	お客様の様子	・6月中旬以降、客が後に始まるクリアランスセールを明らかに意識した買い方になっている。すぐに必要ないものは、よほど大きな動機がなければ7月のセールまで待つ傾向が顕著に表れている。
		百貨店（販売促進担当）	お客様の様子	・父の日ギフトの売上が悪く、また7月の参議院議員選挙を控え、お中元ギフトも一向に盛り上がらない。婦人服もブラウスやカットソーなどの単品購入が中心で、客単価、平均単価ともに落込んできている。依然として消費者の厳しい購買姿勢が継続している。
		百貨店（売場担当）	お客様の様子	・食料品は前年並みに推移しているが、衣料品やUV雑貨の動きが悪く、先行セールに入っても衣料品は盛り上がり欠けており、お中元の動きも選挙がスタートするとやや失速気味になっている。
		百貨店（売場担当）	お客様の様子	・今月は来客数が前年の103%で、買上率が前年の91%程度となっており、大きく乖離している。夏のセールが五月雨的にスタートしているが、アパレルを中心に状況は芳しくなく、お中元商戦がスタートしても厳しい状況となっている。
		百貨店（売場担当）	販売量の動き	・100万円以上のラグジュアリーブランド商品や美術品が売れず、かなり苦戦しており、来月も安心できない。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		百貨店（人事担当）	来客数の動き	・店全体の来客数が減少しており、お中元商戦が始まっても客足が伸びない。
		スーパー（店長）	来客数の動き	・客単価は徐々に低下している。
		スーパー（店長）	お客様の様子	・客の買上点数が増えない。必要な物だけを購入する客の動きに変化はなく、この先も期待できない。
		スーパー（店長）	販売量の動き	・3か月前は販売量が前年の101%、単価は103%で、売上が前年の104～105%であったが、今月は販売量が99%、単価は102%で、売上は前年の102%前後で推移している。
		スーパー（総務担当）	来客数の動き	・客単価は横ばいであるが、売上は低下し来客数も減少してきている。
		スーパー（財務担当）	単価の動き	・大手自動車メーカーの生産停止により、下請企業だけでなく広範囲に影響が出ており、節約によって客単価が下落し、来客数が減少している。
		スーパー（販売担当）	お客様の様子	・今月は父の日があったが、客単価が非常に低く、売上が前年の64%である。英国のEU離脱問題の話題が客から聞かれるようになっている。
		衣料品専門店（経営者）	販売量の動き	・京都の織元が後継者不足などの理由で諦めるところが増えており、良い商品ができなくなっている。
		衣料品専門店（店長）	お客様の様子	・客は単価の安いものを中心に購入している。
		家電量販店（企画担当）	販売量の動き	・前年と比べて来客数に変化はないが販売量が減少している。
		乗用車販売店（店長）	単価の動き	・熊本地震の影響はほぼ解消されて販売台数は前年並みであるが、販売単価が非常に低く、高額車両は売れず、収益計画目標の80%である。サービス在庫台数も前年並みであるが、単価は前年の90%である。
		その他専門店〔布地〕（経営者）	お客様の様子	・客に元気がなく、生活用品の値上げや所得の減少で購買意欲が低い。
		その他小売〔ショッピングセンター〕（運営担当）	販売量の動き	・施設全体での来客数に大きな変化はないが、購入につながる商品力の低下、接客スタッフの人員不足が販売量に響いている。目的買いの客が減り、購入意欲が以前より低下してきている。
		高級レストラン（宴会サービス担当）	来客数の動き	・平日の個室の予約が以前に比べて落ち込んでおり、法人関係の利用が低迷している。
		一般レストラン（経営者）	お客様の様子	・客の来店時間が偏っている。昼間の時間帯が多く、ディナーが減少傾向にある。利用金額も低下しており、実質給与の増加を実感していない様子である。
		一般レストラン（店長）	来客数の動き	・来客数が前年に比べ減少している。また、土日の中心部への人の流れがかなり少なく感じる。
		一般レストラン（外食事業担当）	来客数の動き	・来客数は金曜日と土曜日がやや多い状況であるが、平日が前年の81.5%、休日は81.3%である。平日の宴会売上は前年の80%台で推移しており、特にアルコール売上の前年割れが目立ち、21時以降の来客数の前年割れが続いている。
		観光型ホテル（宿泊担当）	単価の動き	・1人当たりの館内消費量が低下している。
		都市型ホテル（総支配人）	販売量の動き	・5月はゴールデンウィーク後も大会、学会が開催されてマーケット全体が潤った。しかし6月はわずかながら学会があるものの、平日に勢いがなく停滞している。
		タクシー運転手 通信会社（広報担当）	お客様の様子 お客様の様子	・夜の乗客数が減少している。 ・客は常に安いものを求めており、価格を下げられない今は全く動きがない状態である。
		通信会社（販売企画担当）	来客数の動き	・来客数が減っており、販売量の動きが鈍っている。
		通信会社（総務担当）	販売量の動き	・3か月前は年度替りによる異動があり、販売量が多かったため、今月は相対的に悪くなっている。
		テーマパーク（営業担当）	来客数の動き	・平日、週末共に入園者数が減少している。
		ゴルフ場（営業担当）	お客様の様子	・国内客数は減少し、海外客数も熊本地震以降不調が続いており、このところの円高の影響もあって減少傾向にある。
		美容室（経営者）	来客数の動き	・暑くなってきているが、客の来店頻度に変化はない。春の異動があっても新規の客は増えない。
		住宅販売会社（営業担当）	来客数の動き	・消費税率引上げ延期に伴い、問い合わせ等が減少している。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
	悪くなっている	一般小売店〔眼鏡〕（経営者）	来客数の動き	・若年層の客が減少している。
		スーパー（販売担当）	販売量の動き	・今月に入り販売点数の減少が著しく、それに比例して客単価も下落傾向にあり、特売でしか集客できなくなっている。
		乗用車販売店（統括）	販売量の動き	・大手自動車メーカーの燃費不正問題で軽自動車の販売ができず、販売量は前年の80%と大きく落ち込んでいる。
		その他専門店〔海産物〕（経営者）	来客数の動き	・来客数は団体、個人共に少ないままである。
企業 動向 関連 (中国)	良くなっている	輸送用機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・受注は好調に推移しており忙しい。
	やや良くなっている	木材木製品製造業（経理部次長）	受注量や販売量の動き	・今年に入ってから金利政策の影響で、受注量や販売量が少し伸びている。
		通信業（営業企画担当）	取引先の様子	・AI、ロボット、モノのインターネットといった新しい情報技術のキーワードに関する客からの引き合いや説明要望の声が上がっており、新たな投資の芽が出始めている。
	変わらない	食料品製造業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・生産量と販売量は3か月前と比べ変化がない。
		化学工業（経営者）	取引先の様子	・苛性ソーダ等化学工業薬品全般に需要の回復が見込めず、単価は低位安定しており、国内景気全体として停滞感が続いている。
		化学工業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・素材産業であるため、内需が拡大しないと増収は望めない。特にセメントは低調であるため、他が好転してもその影響は大きい。
		窯業・土石製品製造業（総務経理担当）	受注量や販売量の動き	・鉄鋼向け生産に変化はなく、建設案件を製造中で多忙な状況である。
		鉄鋼業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・年初以来受注額が低迷しており、前年同期比10～15%減である。
		非鉄金属製造業（業務担当）	取引先の様子	・3月のハイブリッド車販売台数は世界で前年同期比プラス15%である。国内大手も3月は大幅増加で、国内販売が好調である。また3月の電気自動車とプラグインハイブリッド車の販売台数は前年同期比プラス84%と大幅増加している。しかしそれ以外の分野は横ばいあるいは微減なので、総じて変わらない。
		輸送用機械器具製造業（経営企画担当）	受注量や販売量の動き	・受注計画に比べ若干の減少がある。
		建設業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・発注予定が遅れる物件はあるものの、引き続き予定物件の受注が順調に推移している。
		輸送業（支店長）	受注量や販売量の動き	・参議院議員選挙に関するパンフレットやカタログの動きが活発である。お中元や通信販売関係の荷主からの受注が順調で、発送増につながっている。今後も通信販売関係は期待できる。個人に関しては空港宛やゴルフバッグなどのレジャー関係の動きが目立っている。
		不動産業（総務担当）	それ以外	・来客数、成約件数は前月と同程度である。
	やや悪くなっている	広告代理店（営業担当）	受注量や販売量の動き	・梅雨の影響もあって客からの受注量が平行線で推移しており、極端に変化がみられない状況である。
		鉄鋼業（総務担当）	取引先の様子	・ベースの荷動きが低調で、大手自動車メーカーの生産ライン停止の影響もあり、稼働が低下しているところも散見される。他の需要分野に大きな変化はなく、各取引先の元気がない。
		金属製品製造業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・受注量は生産能力の60%しかない厳しい稼働状況が続いており、異動やO Bとの契約終了により工場の固定費削減を行っている。
電気機械器具製造業（総務担当）		それ以外	・中国経済の減速予想に振り回されている印象が強い。円高、株安、為替が不安定で設備投資へのタイミングを見計らっているが読み切れていない。	
		輸送用機械器具製造業（財務担当）	受注量や販売量の動き	・船舶の需給バランスはますます悪化し、運賃の低下や新造船発注の激減等により、足元の仕事量はあるものの、マインドは悪化している。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		その他製造業 [スポーツ用品] (総務担当)	それ以外	・英国のEU離脱問題があり、今後の世界経済の先行きは非常に不安定な要素を数多くはらんでいる。それに伴い景気の悪化は避けられないものとなってくる。
		建設業 (総務担当)	それ以外	・英国のEU離脱問題の影響はまだ分からないものの、マインドが低下していることは間違いない。
		輸送業 (経理担当)	受注量や販売量の動き	・倉庫貨物等荷受けはあるものの出荷が少なく、荷動きが鈍化している。
		金融業 (貸付担当)	取引先の様子	・取引先の社長は、個人消費が伸び悩んでいると感じている。またお中元商戦が既に始まっているが、参議院議員選挙や消費税率引上げ延期の影響からか、注文は減少している。加えて英国のEU離脱問題による円高株安の影響で、国内景気は落ち込んでいくとの意見がある。そうした取引先の様子から判断すると、景気はやや悪くなっている。
		金融業 (融資企画担当)	取引先の様子	・最近の円高による輸出環境悪化により、自動車部品メーカーは、完成車メーカーからの受注がやや伸び悩んでいる。操業は依然高水準であるが、土曜出勤も減少するなど低下している。
		会計事務所 (職員)	取引先の様子	・建設業関連ではゼネコンの下請はあまり変わらないが、一般住宅を扱う工務店はやや業績が低下し、土木事業関連は受注が減少傾向にある。また製造業も受注状況が今一つ良くなっていない。
	悪くなっている	農林水産業 (従業者)	それ以外	・5月と2月を比較すると、水揚げ数量は910tの減少、水揚げ金額は1億4,300万円の大規模減少である。減少理由は底引き網漁、大中型巻き網漁、イカ釣り船漁の減少である。
雇用 関連 (中国)	良くなっている	-	-	-
	やや良くなっている	職業安定所 (産業雇用情報担当)	求人数の動き	・一般求人では製造業を除く各主要産業で新規求人数が前年より増加しており、有効求人数は19.3%、1,010人の増加となっている。また高卒求人の受理が今月20日からスタートし、求人件数、求人数共に大幅に増加している。
	変わらない	求人情報誌制作会社 (広告担当)	採用者数の動き	・新卒採用は6月1日選考開始に伴い、内定獲得率が増加している。ただ約7割の学生は就職活動を継続する模様である。内定獲得率は52.3%と半数以上で、採用活動が最終段階に入っていることを示している。企業側が当初の予定から採用人数を増加させた動きはなく、内定辞退を見越して予定数より若干多めに採用を出している。
		新聞社 [求人広告] (担当者)	雇用形態の様子	・参議院議員選挙の影響なのか、小売店や飲食店などの人手不足は依然厳しく、時給を上げられないところは極めて深刻な事態になっている。
		職業安定所 (産業雇用情報担当)	周辺企業の様子	・管内には製造業の企業が少ないので景気の変動を感じにくく、現在は落ち着いている。
		職業安定所 (雇用開発担当)	求人数の動き	・四半期ベースで見ると新規求人数の動きに大きな変化はない。
		民間職業紹介機関 (職員)	求職者数の動き	・求職者数が前月に比べて増加しており、離職者の割合も増加している。
	やや悪くなっている	人材派遣会社 (支店長)	求職者数の動き	・人材派遣や有料職業紹介の依頼は前年同月に比べて増えているが、中小企業を中心になかなか人材が見つからず、マッチングに至っていない。
		人材派遣会社 (支社長)	求人数の動き	・堅調だった求人数が、大手企業を中心に落ち込み始めている。そうした企業でも売上が低下したという話は少ないが、先行きの不透明さから新規採用に慎重になっている。ただし中小企業では相変わらず採用難が続いており、求人数の落ち込みは見られない。
		人材派遣会社 (経営企画担当)	求人数の動き	・有効求人倍率が上昇している。求人全体で量は確保できているものの、質に変化が出てきており、求職者が求める条件と求人のミスマッチが生じている。条件緩和や待遇面の精査などを通じて営業活動を進める必要がある。
	職業安定所 (所長)	求人数の動き	・新規求人は夏場に向けてアイスクリーム製造の増員募集があった食品製造会社を含む製造業や、公共工事が順調な建設業が前年同月比で2割増となったほかは、多くの業種で低調に推移したため、求人全体では横ばいとなっている。	

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		学校〔大学〕 (就職担当)	それ以外	・求人数は上向いているが、実生活では購買力が上昇している実感がない。百貨店においても値引き販売の早さや値引き幅の拡大が目立っている。
		学校〔短期大学〕 (学生支援担当)	求人数の動き	・英国のEU離脱問題がどのように影響するのか心配である。
	悪く なっている	新聞社〔求人広告〕 (担当者)	周辺企業の様子	・有効求職者数は39か月連続で減少し改善傾向に見える。ただし大手自動車メーカーの工場生産停止に伴う官民一体となった雇用対策を進めているが、協力企業の雇用取り消し、倒産などが続き、これから拡大していく懸念がある。

9. 四国（地域別調査機関：四国経済連合会）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連 (四国)	良く なっている	-	-	-
	やや良く なっている	スーパー（店 長）	販売量の動き	・5月は販売促進活動などの効果が表れ、やや上向きになっている。
		コンビニ（店 長）	販売量の動き	・プラス1品買上になっており、少しずつではあるが良くなっている。
		一般レストラン (経営者)	来客数の動き	・依然として節約志向がある。世界的な不確定要素が前面に出てきて、逆戻りの感がある。
		通信会社〔営業 担当〕	来客数の動き	・昨年よりやや遅いが、夏商戦期らしくなってきた。
		競艇場（職員）	販売量の動き	・6月は周年記念競走を開催したことから前月比5%、3か月前比12%、前年比15%増となった。周年記念競走そのものは前年比118%と大幅増となったものの、本場での売上は横ばいであった。
	変わらない	商店街（事務局 長）	販売量の動き	・英国のEU離脱問題は世界経済に大きな影響を与えたが、経済悪化が長期化しないよう各国の知恵や工夫も感じられる。米国の大手金融機関の破たんのようなことにはならない見通しが救いであるが、アベノミクスも踊り場で、景気が良くなる要素が見当たらない。
		一般小売店 〔酒〕（販売担 当）	お客様の様子	・地元ではにぎわう材料が無く、どこも閑散としている。
		スーパー（企画 担当）	来客数の動き	・原材料値上げ等による売価の値上げラッシュが1年経ち落ち着いてきた気配はあるが、来店客数は前年を割る厳しい状態が続いている。
		コンビニ（総 務）	来客数の動き	・気温や天候に大きく左右されるが、来客数は横ばいとなっている。
		コンビニ（商品 担当）	来客数の動き	・様々な企画を打っているが、来客数の改善が見られない。
		衣料品専門店 (経営者)	販売量の動き	・例年通り、6月の最終前の土日からバーゲンを始め、昨年に比べて、その分がやや良かった。数字自体は大きい、「良い」とまでは言えない。
		衣料品専門店 (総務担当)	来客数の動き	・来客数の減少が顕著に出ており、それが売上減に直結している。セール開始時期が変わったこともあるが、前年比5%程度マイナスとなった。
		家電量販店（店 員）	単価の動き	・低価格品にしか興味を示さず、機能・性能面を犠牲にしてもとりあえず欲しいという方が多い。
		乗用車販売店 (従業員)	販売量の動き	・先月、小型の新型車が発表となり、販売量の増加が期待されたが、総台数は前年並みとなり、例月と変わらない。
		乗用車販売店 (営業担当)	販売量の動き	・特に軽自動車は期待している市場環境にない。大手自動車メーカーの燃費不正問題も影響しており、低迷している。
		その他小売 〔ショッピング センター〕（副 支配人）	お客様の様子	・来客数は衣料品を中心にやや低調であるが、客単価が若干上昇している。
		観光型旅館（経 営者）	来客数の動き	・道後温泉はこの1～2年良くなっているが、先月、今月、来月あたりの状況はあまり変わっていない。
		都市型ホテル (経営者)	来客数の動き	・単価もあまり動かない状況で、景気が良いか悪いか判断がつかない。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		旅行代理店（営業部長）	来客数の動き	・夏の家族旅行の申込が少し増えてきた。例年より少し動きが鈍いのは、オリンピックの影響があるのかもしれない。海外旅行は低迷を続けている。
		タクシー運転手	お客様の様子	・客単価に変わりはない。今年に限ったことではないが、家族に土産を買っていく客が以前より減少している。また、ピヤガーデン等の帰りに電車を利用する人が多くなっている。
		タクシー運転手	来客数の動き	・今は遍路客を対象にしており、街で仕事することがほとんど無い。そのお遍路も、今年には60年に一度の申年の逆打ちということで注目されているものの、私自身の仕事量は例年と変わらない。
		通信会社（社員）	販売量の動き	・前年と比べて業界全体の販売量は低調に推移しており、ここ数か月の傾向は変わらない。
		通信会社（企画）	お客様の様子	・お客さまの引き合い件数に大きな変化はない。
		通信会社（支店長）	お客様の様子	・想定を超える動きも無く、動向は変わらない。
		ゴルフ場（従業員）	来客数の動き	・天候に左右されるため、雨が多くて伸び悩んでいる。
		美容室（経営者）	お客様の様子	・梅雨の影響で多少来客数は多いが、売上は変わらない。
		設計事務所（所長）	単価の動き	・建築の単価は上昇しているものと下落しているものがあり、どちらとも言えない。
	やや悪くなっている	商店街（代表者）	お客様の様子	・若者たちも通行するようになって、週末を中心に来街者数はそこそこ良いと思う。6月初め頃からバーゲン待ちの様子がうかがえ、既にバーゲンを始めている店もあるが、財布のひもが固く、厳しい状況が続いている。
		商店街（代表者）	来客数の動き	・若年層の生活が携帯電話中心になっており、携帯電話以外での消費行動に活発さが見られない。それが来客数の減少に繋がっている。
		一般小売店〔生花〕（経営者）	お客様の様子	・予算よりなるべく低い価格で、見栄えする商品を希望する人が多くなった。大雨など天候不順もあって、来客数は少なかった。
		百貨店（営業担当）	販売量の動き	・販売量が大変少なくなってきた。
		百貨店（販売促進担当）	販売量の動き	・衣料品の継続不振に加え、比較的堅調であった食品もやや減速している。高額品の動きも鈍く、売上が悪化している。
		スーパー（財務担当）	単価の動き	・節約志向を強めており、低価格品志向が強くなっている。
		衣料品専門店（経営者）	来客数の動き	・街中のお客様の来客がかなり少なく、特に日曜日は減っている。来客数、販売量、客単価などを見る限り、景気は良くない。消費税増税の再延期は大正解だと思う。消費税増税が予定どおり実施されたら地方の中小企業の70%はやっていけないのではないかと。
		乗用車販売店（従業員）	販売量の動き	・大手自動車メーカーの燃費不正問題や税制の変更等で軽自動車のメリットが少なくなり、軽自動車の販売が減少に転じている。
		悪くなっている	商店街（代表者）	それ以外
	一般小売店〔書籍〕（営業担当）		販売量の動き	・店頭売上、外商売上ともに前年を大きく割り込んでいる。
	コンビニ（店長）		販売量の動き	・梅雨に入り、前年と比べて売上が悪化しており、特に客単価は著しく悪くなっている。
通信会社（営業部長）	販売量の動き		・販売数が通減傾向で、6月は前月より1割減少している。	
美容室（経営者）	お客様の様子		・来客数減少、来客頻度も低下しているなど悪い状態が続いている。	
企業動向関連 (四国)	良くなっている	-	-	-
	やや良くなっている	パルプ・紙・紙加工品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・新規のウェットの業務用商品やフェイスマスクの受注が好調で、売上は伸びている。
		電気機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・営業努力の結果、大きな物件、太陽光建設等は順調で、売上も増えていく。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
	変わらない	農林水産業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・市場出回り量が多くはないが、末端の売行きが芳しくない。悪天候で客足が鈍いことも一因か。
		繊維工業（経営者）	受注量や販売量の動き	・熊本地震の影響も薄れ、6月は持ち直している。ただ、英国のEU離脱問題から急速な円高に振られて国内景気が下降すれば、今後消費にも影響が出てくる心配がある。
		木材木製品製造業	取引先の様子	・5月の戸建て住宅の受注は比較的堅調な数字が出ているものの、株式市場や為替の変動などで購買意欲が減退するリスクも残る。
		電気機械器具製造業（経理）	受注量や販売量の動き	・出荷量が3か月前より数%微増しているが、これは流通在庫の変動によるものと見られる。エンドユーザーの消費や市場のデマンドに変動はうかがえない。
		建設会社（経理担当）	受注量や販売量の動き	・売上は増加したが、受注高と受注残はやや減少している。
		建設業（経営者）	受注量や販売量の動き	・受注が伸びず、頭が痛い。
		建設業（経営者）	競争相手の様子	・端境期であるため手持ち業務量は減少傾向にあるが、これは織り込み済みである。昨年度来、同業者の多くは売上増・利益増により福利厚生を充実し、研修旅行の復活や賞与の増額を実施しており、景況感は悪くない状態が続いている。
		輸送業（営業）	競争相手の様子	・同業者の中には、保有車輛の減車に留まらず、廃業を決めた事業所もある。元請け業者は、既存の外注先が減車や廃業をした場合、代替りの業者を速やかに選定しなければならないが、難航している。荷主との契約を維持する為に、自社の増車による機動力強化を余儀なくされている。10月から適用される排出ガス規制強化の影響もあって、新車より調達時間が短く安価な中古車の市場価格が高騰し、車輛の調達に苦慮している。
	金融業（副支店長）	取引先の様子	・取引先の資金需要は鈍く、設備投資に慎重な印象を受ける。しかし、取引先企業の試算表や資金繰表からは特に業況の悪化を示すような傾向は見られない。	
	やや悪くなっている	鉄鋼業（総務部長）	受注量や販売量の動き	・受注量が減少し、案件も少ない。
		一般機械器具製造業（経理担当）	受注量や販売量の動き	・国内需要は前年割れが続く、クレーンの稼働率も低下している。海外受注残も前年割れが続いている。
		輸送業（経営者）	受注量や販売量の動き	・報道が景気不安定をあおっていると思う。
		不動産業（経営者）	取引先の様子	・広告を打っても反応が非常に鈍い、という話を同業他社から聞いている。先行きに不安を抱いているために、不動産には非常に慎重になっている。
		公認会計士	取引先の様子	・顧客会社の6月の決算、試算表等を分析すると、売上・利益ともに前年より減少している企業が増えている。景気はやや悪くなっているのではないかと心配している。
悪くなっている	-	-	-	
雇用関連 (四国)	良く なっている	-	-	-
	やや良くなっている	人材派遣会社（営業）	雇用形態の様子	・有効求人倍率が過去最高となり、完全に人手不足となっている。人材を確保するための条件競争が起きており、非正規でも時給千円以上が当たり前になりつつある。
	変わらない	人材派遣会社（営業担当）	求職者数の動き	・長期勤務を希望する派遣スタッフの登録が減少傾向にあり、オーダーに応えられないケースが増えてきている。
		新聞社〔求人広告〕（担当者）	それ以外	・県内の広告需要は低く、横ばいとなっている。
		職業安定所（職員）	雇用形態の様子	・人手不足感がよく聞かれるが、求人条件の向上には至っていない。
		民間職業紹介機関（所長）	周辺企業の様子	・英国のEU離脱問題を受けて県内の輸出企業、とくに製造業に動揺が見られる。これから先のことを不安に思う経営者が多い。
		学校〔大学〕（就職担当）	それ以外	・求人数が順調なことから景気が良くなっているように見えるが、企業の就職担当者からは景気が上向いているという話は聞かれない。
	やや悪くなっている	人材派遣会社（営業担当）	求職者数の動き	・求人も以前よりは少なくなっており、製造業では徐々に落ち込んできている。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		求人情報誌（営業）	周辺企業の様子	・県内企業においては、短期的に見ても中期的に見ても人材不足の企業が多い。ただ、今年は新卒採用に成功した企業が前年より増え、採用できなかった企業との格差が広がっている感がある。
		職業安定所	それ以外	・5月の有効求人倍率は1.28倍で、3か月前の2月と比べて0.10ポイント低下した。
	悪くなっている	-	-	-

10.九州（地域別調査機関：公益財団法人九州経済調査協会）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明	
家計動向 関連	良くなっている	通信会社（企画担当）	お客様の様子	・公募や今年度事業での相談、引き合いが多くなってきた。	
		住宅販売会社（従業員）	販売量の動き	・4月以降受注が前月プラスで推移している。	
(九州)	やや良くなっている	百貨店（総務担当）	来客数の動き	・熊本地震の影響での買い控え感が強く残り、アパレルを中心に動きが鈍い状況が続いている。7月には参議院選挙も控え、景気回復のきっかけがなく、回復基調になれない。	
		百貨店（営業担当）	販売量の動き	・熊本地震復興の特需的景気による追い風がある。	
		百貨店（企画）	販売量の動き	・熊本地震の影響も落ち着き、慢性的に不振が続いている衣料品も底打ちしたのか、今月は前年並みの売上となっている。生活雑貨も気候変化に伴い上昇してきている。また、宝飾等の高額品は順調であるが、ラグジュアリーブランドは不振である。ギフト商戦がスタートしたが、出足が鈍い状況である。	
		スーパー（経営者）	お客様の様子	・熊本地震の影響で色々な物の買い直しや、ボーナスが出た公務員等の消費が進んでいる。	
		スーパー（店長）	競争相手の様子	・熊本地震の影響により競合店が営業できない状況で前年比130%で推移している。競合店の閉店等により営業している店が良い。	
		スーパー（店長）	販売量の動き	・生鮮食品を含め食料品は来客数、売上共に好調に推移している。雑貨、衣料品の売上も順調に推移している。	
		コンビニ（エリア担当・店長）	来客数の動き	・熊本地震の影響で近くの大規模店舗が閉店している間、客数は伸びている。それに伴い、客単価も前年比で少し伸びている。全体的に売上が若干伸びている。	
		家電量販店（総務担当）	販売量の動き	・猛暑の予報が好影響を与えているのか、前年より夏物商材の動きが早い。	
		その他小売の動向を把握できる者〔ショッピングセンター〕（支配人）	販売量の動き	・食料品、生活雑貨という生活のなかでなくてはならない品目の売上が上がってきた。来館客数自体、向上している。昨年はプレミアム付商品券の販売があったにもかかわらず、セール初週も前年実績を上まわる推移だった。	
		タクシー運転手	来客数の動き	・5日間に渡る世界的社会奉仕団体の国際大会等、大きな催し物もあり確実に国内外からの観光客が増加している。	
		タクシー運転手	来客数の動き	・今月は参議院選挙が始まったことと、雨が多いことから、傘代わりに車を使う客が多い。3か月前から熊本地震の影響の客の予約状況（稼働率）が高く、昼間の売上が大変良い。ただ夜の繁華街が暇である。	
		変わらない	商店街（代表者）	販売量の動き	・天候に恵まれた前半は先月に引き続き順調に推移していたが、中旬から梅雨入りと同時に来客数販売量ともに低下している。
			商店街（代表者）	お客様の様子	・客が来店しても商品を購入するという判断をなかなかしない。価格に対してもシビアで1枚買うにも安いものでないと購入しない。
商店街（代表者）	お客様の様子		・6月は梅雨時期で商売にならない。商店街では高齢者が多く午前中は来客が少しあるが午後からは全く無い。かなり売上も減少して利益が上がっていない。		
一般小売店〔青果〕（店長）	お客様の様子		・高齢の方が多いため、梅雨に入ってから来客数が減っている。県内物の野菜が中心なので売価も上がり客も買いづらく、食欲がわく時期でも無いため、厳しい状態が続いている。		
一般小売店〔鮮魚〕（店員）	お客様の様子		・動きが悪すぎる。魚が少ないこともあるが、売上が悪い上に魚価が高く、なかなか利益を確保できない。		

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		百貨店（店舗事業計画部）	お客様の様子	・熊本地震の影響は軽微な程度にまで回復したが、旅行や出張が減っているのか九州土産の売行きがまだ鈍い。一方で地元の客が中心の生鮮食品・惣菜は健闘しており、ここ数か月変動が大きかったが落ち着いた。
		スーパー（店長）	販売量の動き	・今年は梅雨の雨が非常に多く来客数も少なく、販売量にも影響が出ている。特に生鮮食料品が売れておらず、身近な固定客が来ていない。
		スーパー（総務担当）	それ以外	・売上は大幅に上回っているが伸び率は2～3か月前とさほど変わらない。
		コンビニ（経営者）	来客数の動き	・前年比で客数の減少が続いている。
		衣料品専門店（店長）	来客数の動き	・天候不順、熊本地震の影響からか、ほとんど来客はない。たまにあっても買う意欲がない。
		衣料品専門店（店長）	お客様の様子	・熊本地震の影響も段々と薄れて来た。それでも業界によってはしばらくかかる。
		衣料品専門店（チーフ）	単価の動き	・6月当初の売上水準は前年並みであったが、6月後半にかけてセールスの動きが入り、一時減少傾向にあった来客数がセール開始とともに盛り上がってきた。
		衣料品専門店（取締役）	お客様の様子	・6月は客足が雨に左右される。また、セール待ちということもあり思ったように数字が上がらない。一部セールの影響で物の動きが良くなり前年を超えているが、特に景気が良くなっているということではない。
		家電量販店（広報・IR担当）	販売量の動き	・エアコンを中心に季節商材の動きが良い。他の主力商品も前年並みで推移している。
		乗用車販売店（総務担当）	販売量の動き	・新車の販売台数が低調である。最近の3か月はいずれも目標に大きく未達となった。来店客数も少なく、厳しい状況が続いている。
		住関連専門店（経営者）	お客様の様子	・毎月のキャンペーンは順調だが店の売上が前年同月比で落ち込んでいる。客の商品選びが慎重でなかなか一度では決まらない。
		その他専門店【コーヒー豆】（経営者）	お客様の様子	・熊本地震以降、客の来店回数が減ると予想していたが以前と変わらず来店している。売上は横ばいである。
		その他専門店【ガソリンスタンド】（統括）	お客様の様子	・燃料油の小売価格はやや高くなる傾向にある。6月は雨が強く、燃料油の販売量はやや昨年を下回っていた。客のボーナスに関して様子を伺うと、6～7月のボーナスが昨年よりやや増加しているという。
		その他小売【ショッピングセンター】（広報担当）	販売量の動き	・気温は高めに推移しており、猛暑の予報で期待できる。熊本地震の影響も徐々に改善されつつあり7月以降九州観光の補助もあり国内外の観光客増も期待感の一つである。好材料が多い一方で、豪雨等の天候異常がどう左右するのか、農作物の不作も気になる。
		高級レストラン（支配人）	来客数の動き	・予約数、来客数が増えていない。
		居酒屋（経営者）	来客数の動き	・熊本地震の影響が残っており、観光客が戻っていない。
		観光型ホテル（スタッフ）	来客数の動き	・熊本地震が宿泊予約にまだまだ影響している。
		観光型ホテル（専務）	お客様の様子	・熊本地震の風評被害の影響が長引いている。7月から九州観光支援旅行券がスタートするので、客足が伸びるものと期待しているがあまり当てにはできない。
		都市型ホテル（販売担当）	来客数の動き	・4～5月は、熊本地震の影響があり宿泊関係でかなり厳しい状態が続いているが、宴会等はあまり変わらない。これからもあまり変わらない。
		都市型ホテル（副支配人）	販売量の動き	・1年のうち一番弱い6月ではあるが、単価はしっかりある。全体的な売上も前年より良い。
		通信会社（営業担当）	お客様の様子	・時期的なものもあるが、消費活動をしている様子が見えない。
		通信会社（営業）	販売量の動き	・販売量、在庫の数が前年比で減少している。マーケットの縮小を考えると極端に良くも悪くもない。
		競馬場（職員）	販売量の動き	・熊本地震の影響を感じることなく、依然として好調に推移している。
		美容室（経営者）	販売量の動き	・春の景気が落ち着いてくる時季だが変化は無い。参議院選挙の動向もあるが、少しずつ利益が上がっていくような対策を打って欲しい。
		美容室（店長）	来客数の動き	・雨が続き客も外出を控えている。景気には関係はないが、雨の日は高齢者の客足が鈍る。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		その他サービスの動向を把握できる者〔介護サービス〕（管理担当）	単価の動き	・4月の介護報酬マイナス改定影響により、同業他社の中には減益決算となる法人もあり、当社においても主事業の単価が前年比で大幅なマイナスとなっている。
		住宅販売会社（従業員）	お客様の様子	・戸建てとマンションの分譲は、仕込みの時期でいまだ売り出しにかかっていないので客の状況は分からない。他社の状況を見ると良い所は順調に売れている。リフォームの仲介が前月と変わらず受注契約が進んでいる。
	やや悪くなっている	商店街（代表者）	来客数の動き	・景気が悪い時は尚更天候に左右されやすいのが目立ってきている。今月は特に来客数が減少している。
		一般小売店〔生花〕（経営者）	来客数の動き	・熊本地震後の割に客が入るようになったが、人通りが少ないので、落ち込み具合を感じている。
		一般小売店〔茶〕（販売・事務）	販売量の動き	・数年の売上は少しずつ下降している。新茶の入荷は例年通りだが仕入値は毎年上がっている。売値を変えていないため利幅は減少している。
		百貨店（営業担当）	来客数の動き	・買上単価は維持しているが、熊本地震の交通と観光への影響に加え前年を上回る豪雨による客の来店への影響が大きく平日・土日ともに来店客数が減少し、また、前年のプレミアム付商品券の反動で、貴金属・美術工芸等高額商品の売上が減少した。お得意様催事の店外特招会は雨の悪影響を克服した。また、固定客を持つ紳士雑貨・特選バッグや婦人雑貨は堅調に推移しているものの、婦人衣料は伸び悩んでいる。
		百貨店（業務担当）	お客様の様子	・夏物需要も高まりを見せる時期だが、熊本地震後の状況は、必需品の買物が多く、ファッション商品の動きは悪い。これからお中元商戦が本格化するなか、熊本地震後の返礼需要の問い合わせは多いが、自分の買物には慎重である。
		百貨店（売場担当）	競争相手の様子	・全体として良くない。原因として悪天候が挙げられる。流れが変わってきているのは衣料品関係で、このところ改善してきている。催事と外商の動きが悪い。
		百貨店（営業統括）	お客様の様子	・4月の熊本地震、5月の豪雨と厳しい天候と、景気動向の不安定要素が多く、単価ダウン含め、客の買い控えが目立つ。
		百貨店（マネージャー）	来客数の動き	・株価の低下や、景気減速の影響と思われるが、来客数が前年に追い付かない状況が続いている。インバウンドの客も、中国の関税引上げに加え、円高基調が継続していることもあり、苦戦が続いている。
		スーパー（店長）	来客数の動き	・衣料、暮しの品の不振に加え、今月は食品の客数が減ってきた。
		スーパー（経理担当）	販売量の動き	・豪雨と寒暖差の激しい日が多く、夏型商品の飲料、アイスクリーム等の動きは良いが、パン、菓子などが悪い。また、青果、精肉の単価変動による売上減が大きい。
		コンビニ（エリア担当）	単価の動き	・来客数と売上点数は前年を上回っているが、客単価がわずかに前年を割っている。売上も思うようにいっておらず、厳しい状況である。
		衣料品専門店（店員）	単価の動き	・熊本地震直後よりも人出は戻ってきているが、客単価が上がらないので売上は前年を割っている。単価にシビアになっており、手軽な単品衣料しか買わなくなっている。
		衣料品専門店（総務担当）	来客数の動き	・商店街全体の集客力の低下を含め、来店客数が前年比で非常に減っている。
		ドラッグストア（部長）	販売量の動き	・熊本地震による影響や最近の円高による影響もあってか、インバウンドの客の購入単価が下がってきている。また、閉鎖中の店舗の売上減少もある。
		その他小売の動向を把握できる者〔土産卸売〕（従業員）	販売量の動き	・売上が前年比80%～90%と熊本地震の影響で大きく落ち込んでいる。
	高級レストラン（経営者）	来客数の動き	・7月10日に参議院選挙があり、その動きが会社関係にも影響があるようで来客数が少ない。	
	一般レストラン（経営者）	来客数の動き	・前年と比較して、格段に客数が減っている。予約が入ってくる気配もなく、特に会社単位でのグループ利用がほとんど無い。	
	都市型ホテル（スタッフ）	来客数の動き	・熊本地震の影響もあるが、外国人観光客の数が減っており稼働率にも勢いが無い。	

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		旅行代理店（従業員）	販売量の動き	・熊本地震の影響で、百粛ムードが広がっていたが、政府が補正予算で180億円を観光事業に充当することが決まった後、この支援策を待ち、買い控えが見られる。
		旅行代理店（企画）	お客様の様子	・熊本地震の影響もあるが、前年比で少し減少傾向にある。
		タクシー運転手	来客数の動き	・英国のEU離脱問題による心理的影響が大きい。
		タクシー運転手	お客様の様子	・ホテルの宿泊が熊本地震の影響で少なかったため、タクシーの利用も少なかった。
		観光名所	来客数の動き	・3か月前と比較して、熊本地震や梅雨の影響があり、客足が日本人、外国人ともに減少した。どのようにして集客数を伸ばすかが課題である。
		ゴルフ場（従業員）	来客数の動き	・熊本地震の影響がまだ残っており、日本人観光客が前年比で半分以下である。インパウンドが前年より増えているのが明るい材料だが、客数が前年比マイナス10%と前年割れしており、パート従業員、契約社員の出勤日数を調整している状態である。
		競輪場（職員）	競争相手の様子	・各場のグレードレースの売上が横ばい、又は減少傾向にある。
		その他サービスの動向を把握できる者〔フィットネスクラブ〕（営業）	来客数の動き	・熊本地震の影響により来客数はやや落ち込んでいる。
	設計事務所（代表）	お客様の様子	・株安、円高で様子を見ている。	
	悪くなっている	商店街（代表者）	来客数の動き	・熊本地震後の消費マインドの低下により売上が大変厳しい状況である。
		商店街（代表者）	来客数の動き	・製造物は動きが見られるものの、来店数が大幅に減少している。売上も前年比で13%減である。
		商店街（代表者）	来客数の動き	・大型店を含む競合店の早々の夏物バーゲンにより商店街への来客数が減っている。
		百貨店（営業担当）	それ以外	・4～5月の熊本地震以降については非常に消費が低迷していたが、6月は天候要因を外せばやや回復の兆しが見られた。今後英国のEU離脱問題が大きく消費を押し下げる要因になる。3か月先は非常に読みづらいが、非常に厳しい状況に戻る。
		その他小売の動向を把握できる者〔ショッピングセンター〕（統括者）	来客数の動き	・熊本地震以降、外国人の来場が大幅に減っている。
		高級レストラン（専務）	来客数の動き	・県外、海外からの客が、熊本地震の影響で交通が大幅に遮断されて、当県における人の流れが悪くなっており、売上が落ち込んでいる。
観光ホテル（総務）		販売量の動き	・熊本地震の影響がある。	
美容室（経営者）	来客数の動き	・熊本地震以降、とても悪い。大雨も降ってきて当県は悲惨な状況である。どうかして欲しい。		
企業動向関連 (九州)	良くなっている	-	-	-
	やや良くなっている	電気機械器具製造業（取締役）	取引先の様子	・取引先が熊本地震で被害を受けたが、それをきっかけに不採算部門を整理し、得意分野への資源投入を決断した。
		輸送用機械器具製造業（営業担当）	受注量や販売量の動き	・熊本地震の影響により社外での代替生産も多く、通常以上に物流費等が発生している。ただし、生産数量はばん回生産分が上乗せされているため、当初計画に対して単月で増産傾向である。
		建設業（社員）	受注量や販売量の動き	・第1四半期の最終月になりやっと官公庁からの発注があった。受注業者に偏りはあるが発注されたことはとても良い。第2四半期までに官公庁全体80%が目標のようである楽しみにしている。
	変わらない	農林水産業（経営者）	受注量や販売量の動き	・梅雨により消費が伸びていない。スーパー、居酒屋等で計画を若干下回る見通しである。冷凍食品加工メーカーも勢いが無い。熊本地震の影響がまだ残っている。
農林水産業（営業）		受注量や販売量の動き	・市況的に変化はなく流れている状況である。	

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		繊維工業（営業担当）	受注量や販売量の動き	・受注量は多くなってきてはいるが、国内外での生産力の低下が原因である。今は社会的な不安要素もあるため、消費者や生産者ともに慎重になっている。
		一般機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・当社の様な機械設備事業は年度初めは例年仕事量が乏しい。今年も例外なく仕事量は少なく、客からの受注は乏しい。
		輸送業（従業員）	受注量や販売量の動き	・だいたいこの時期は荷動きが悪いが、今年も今の所あまり良い状況ではない。貨物が入らないので、荷を置かせて欲しいといった問い合わせもないことから、他の倉庫も空きスペースがある状態である。
		輸送業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・英国のEU離脱問題による円高・株安動向や、集中豪雨による土砂崩れ等の影響により、直接的な被害はないものの、人心に与える景気停滞感が存在する。物流の観点から見て、円高は荷主の商品回転率・物量に影響し、長引く雨は、荷卸し・積み込みの効率を著しく下げるのでインパクトとしては若干ながらも、忌避すべき状況である。
		通信業（経理担当）	受注量や販売量の動き	・年度の初期ということもありIT関連の受注に向けた活発な動きと成果が見られない。
		金融業（従業員）	取引先の様子	・消費者のマインドは慎重で、百貨店・スーパーなどの売上は伸び悩んでいる。また、熊本地震の影響で観光客が減少している。一方、雇用環境は着実に改善しており、住宅投資にも持ち直しの兆しがみられる。
		金融業（営業担当）	取引先の様子	・熊本地震以後の復興需要により建設関連の動きは活発となったが、英国のEU離脱問題による株安、円高の影響が経営者の心理に影響を与えている。
		金融業（調査担当）	取引先の様子	・熊本地震の被災地以外では、影響は薄らいできた。当県の主要駅周辺の開発により消費の刺激効果がある一方で、消費心理を冷やすイベントもでてきている。
		新聞社（広告）（担当者）	受注価格や販売価格の動き	・前年比97%と通常に比べると健闘している数字だが、申込の月ずれや参議院選挙関連の広告出稿によるもので、主力の通販や旅行広告は90%を割り込んでいる状況である。
		経営コンサルタント	受注量や販売量の動き	・こちらからの働きかけも少ないが、受注に関する動きがほとんど見られない。
		経営コンサルタント（代表取締役）	取引先の様子	・積極的に人材採用を増やす取引先もいれば、受注状況の伸びが見られない、景気が良いという実感がないと発言する取引先もいる。
		その他サービス業〔物品リース〕（支社長）	取引先の様子	・好景気な話は聞かないが、各取引先とも順調な様子。老朽化した設備の更新需要に対し、補助金を活用したファイナンススキームは受けが良い。新規事業の立ち上げをしたい会社が多く、自社の強みを生かして、他社とアライアンスを組む話が多い。
	やや悪くなっている	食料品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・熊本地震の景気への影響も東日本大震災、阪神淡路大震災の経験からか、早い支援策が打ち出され少しの安心感が持たれた。
		食料品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・冷凍食品の原料となる農産物が不作で、質・量共に良くない状況で加工に悪い影響が出ている。
		窯業・土石製品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・5月までは陶器市等があり受注も順調に推移していたが、6月に入ると円高傾向になり受注量が減ってきている。
		金属製品製造業（事業統括）	取引先の様子	・取引先のこの四半期受注量が減少している。例年下期偏重の売上の為、この時期の受注が下期の売上に直結する。
		一般機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・さっぱり動きが止まった状態である。一番の要因は中国経済の悪化、英国のEU離脱問題、円高の問題、日本における参議院選挙の問題がある。各ユーザーはじっくり様子を眺めている。
		その他製造業（産業廃物処理業）	受注量や販売量の動き	・まだ熊本地震の影響も残っており、生産量が増えていない。また、円高・原油価格の下げ等により相場も低迷している。
		輸送業（総務）	受注量や販売量の動き	・熊本地震の影響を受け、地元の企業の復興遅れもあり物量が低下している。
		金融業（従業員）	取引先の様子	・個人の動きではボーナスの提示金額が思わしくなかった。企業活動では受注や工事等が思うように出ていない。
		金融業（営業）	取引先の様子	・中国の景気後退を主体とする世界的な需要減がこれまで見られてきたが、円高の進行により国内景気は先が見えない停滞に入っている。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		経営コンサルタント（社員） その他サービス業〔設計事務所〕（代表取締役）	受注量や販売量の動き 取引先の様子	・客単価が前年比10%ダウンした。買い控えが見られる。 ・熊本地震があり、熊本県の市町村からは、住宅支援等が優先され、当初予算化されていた調査や設計等の業務についてコンサルタントへの発注が保留状態になっている場合がある。当県内の市町村では、6月の補正予算について、総合戦略に関する事業を多く盛り込んでいるところもあるが、全体的には予算が絞られている。
	悪くなっている	経営コンサルタント（代表取締役）	取引先の様子	・熊本地震の影響が大きく通常とは全く違う状況である。6月に入って好転すると思っていたが非常に厳しい。梅雨入りし天気が悪いことと、水害も増えており人出が少なく動かなくなっている。車だけは非常に渋滞して人の動きが遮断されており、6月は非常に悪い状態である。
雇用 関連 (九州)	良くなっている	-	-	-
	やや良くなっている	職業安定所（職員）	求人数の動き	・新規求人数は、前年同月比+18.6%、8か月連続2けたの増加となった。昨年度後半以降、1事業所当たりの求人数も増加している。
	変わらない	人材派遣会社（社員）	周辺企業の様子	・業種によっては売上が前年を上回っている企業もあるが、それはごく少数企業である。求人との問い合わせも特に変わっていない。
		人材派遣会社（社員）	求人数の動き	・本来であれば求人数が伸びてくる時期だが求人市場の動きも派遣登録者の動きも鈍い。稼働出来そうな登録者もあまり動きがなく案件があっても苦戦が続いている。
	人材派遣会社（社員）	雇用形態の様子	・派遣社員のまま雇用するよりも社員登用し給与を低く提示する企業が増えてきている。本来、派遣は雇用維持費削減のための対応策であるが、正社員のコストを抑えており、安定志向の求職者心理を逆手にとる企業が増えている。	
	職業安定所（所長）	求人数の動き	・当県の平成28年4月の有効求人倍率は1.18倍と前月を0.05ポイント上回った。有効求人倍率は13か月連続で1倍台を維持している。	
	職業安定所（職員）	求人数の動き	・熊本地震の影響から製造業等の一部業種について減少はあるものの、建設業、貨物輸送業、医療福祉業等の増加により、前年同期比で4割増である。	
	職業安定所（職業紹介）	求人数の動き	・新規求人数では前年比マイナスの月も見られるが、有効求人数は増加傾向が続いており有効求人倍率も高い水準で推移している。	
	学校〔大学〕（就職支援業務）	求人数の動き	・求人数は、前年度と同推移である。	
	学校〔専門学校〕（就職担当）	雇用形態の様子	・事業サービス分野や運輸分野において、契約社員から正社員へ雇用形態を変更する企業が目立つ。	
	やや悪くなっている	人材派遣会社（社員）	求人数の動き	・派遣求人状況が前年比で減少傾向である。参議院選挙による報道機関からのスポット的依頼、大雨被害による2～3か月ほどの短期的な損害保険会社からの依頼は増えている。
		人材派遣会社（社員）	求職者数の動き	・数か月前までは派遣求職者の流動性が高まっていたが、直近では派遣契約の継続希望者が増加している。より処遇の良い仕事へ移る派遣社員が多かったが、処遇の高い条件の仕事件数が減少した為か、継続を希望する派遣社員が増加している。
		求人情報誌製作会社（編集者）	周辺企業の様子	・当社取扱の求人件数は今期に入り、前年を下回って推移している。取引先は地元企業が中心なので、求人意欲が低下していると考えられる。
新聞社〔求人広告〕（担当者）		それ以外	・会員制の講演会をしているが、会員の退会が増えてきた。アベノミクス以降しばらく入会はあっても退会は少なめだった。消費税増税の2年目の4月からの傾向のようである。	
新聞社〔求人広告〕（担当者）		それ以外	・英国のEU離脱問題による株安、円高の影響がある。	
悪くなっている	新聞社〔求人広告〕（担当者）	それ以外	・熊本地震後の動きについて、企業も徐々に回復してきてはいるものの、本格稼働までは行っていないところも多い。大型ショッピングセンター等もまだ営業再開できておらず、消費行動も鈍い。	

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		民間職業紹介機関（支店長）	求人数の動き	・第1四半期比較で、前年同期横ばいである。実質的にはマイナスである。

11. 沖縄（地域別調査機関：一般財団法人南西地域産業活性化センター）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連 (沖縄)	良く なっている	-	-	-
	やや良く なっている	コンビニ（経営者）	来客数の動き	・来客数が前年を上回っている。
		観光型ホテル（マーケティング担当）	販売量の動き	・稼働率において前年同月実績を上回っており、3か月前と比べ好調に推移している。
		ゴルフ場（経営者）	来客数の動き	・1月あたりから、毎月の来客数が前年同月を全部上回ってきている。なかなか堅調に推移している。
	変わらない	百貨店（店舗企画）	販売量の動き	・店舗全体の売上では前年を越えたが、カテゴリー別では衣料品が前年を割った。化粧品は免税売上が引き続き好調である。しかし、免税売上を除くと店舗では前年割れとなる。売上構成比の高い衣料品が浮上してこない限り、厳しさが増してくる。
		スーパー（販売企画担当）	単価の動き	・今月も1品単価のアップは続いている。また客1人当たりの点数も少しアップしている。
		コンビニ（エリア担当）	単価の動き	・ブランド転換による閉鎖や商品縮小等の要因で客数の減少はあるが、客単価はこの数か月、前年越えである。今後も続くと思われる。
		旅行代理店（マネージャー）	販売量の動き	・選挙続きで会社出張などが停滞気味である。夏休みの個人旅行も出足が鈍い。
		その他のサービス[レンタカー]（営業担当）	来客数の動き	・旅行代理店からの送客は前年同期と比較して大分悪かったが、インターネット経由での予約が好調で何とか前年水準まで行けた。利用者の予約経路が変わってきたように見受けられる。
		住宅販売会社（代表取締役）	販売量の動き	・当社は設計、施工を中心に工事を行っており受注状況も良好である。さらに最近は他社設計からの建築見積依頼なども多い。
		住宅販売会社（営業担当）	お客様の様子	・日本銀行のマイナス金利政策を受け、各銀行の住宅ローン金利が最低を更新中で、まだ金利が下がるとの考えから住宅建築決定の先延ばし感がある。
	やや悪く なっている	衣料品専門店（経営者）	お客様の様子	・当方の商売に限っては少し悪くなっている。地元客は安定しているが、最近目抜き通りなどから流れて来る観光客は中国人を主として外国人が多いからである。中国人はアロハシャツなどにあまり興味が無い様子である。ヨーロッパからの観光客や、アジアからでも台湾人、韓国人は購入してくれる。日本本土からの客は買い控えしている印象を受ける。
		その他専門店[楽器]（経営者）	来客数の動き	・客からの問い合わせが減少している。昔からのお得意様の顧客からの注文は増えてきたが、将来的に現状は厳しくなっている。販売商品の売り方を含めて商売の転機を模索検討している。
		その他飲食[居酒屋]（経営者）	競争相手の様子	・周りでは居酒屋が2店舗閉店して、3店舗閉店するという状況で、短期間で入れ替わりが激しくなっている。とくに、20坪未満の専門店が増えてきており、本土からの出店も増えてますます競争激化している上に、採用がとれなくなって人件費も上がり続けている。
通信会社（店長）		販売量の動き	・4～5月で落ち込んだ来客数は持ち直してきているが、購入目的の客が少なく、代わりに相談や故障の受付が多く販売数は落ち込んでいる。	
悪く なっている	商店街（代表者）	競争相手の様子	・大型店の一部では売上も良くなっているようであるが、商店街の小売零細企業においては、大型店とは単価の点でも太刀打ちできなくなっており、売上も下がっている。毎月売上等は落ちている感がする。	
企業 動向 関連 (沖縄)	良く なっている	-	-	-
	やや良く なっている	-	-	-
	変わらない	窯業・土石製品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・公共工事向けは、前年比でやや増。民間工事向けは前年比で減で、全体では前年比減となった。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		輸送業（営業）	受注量や販売量の動き	・量販店、外資店舗向け取扱物量が増えているが、店舗増や新規出店が要因であり、県内需要が大幅に増えているわけではないと考えられるため、一時的なものと思われる。
		会計事務所（所長）	取引先の様子	・英国のEU離脱問題が、為替市場の動向から観光産業に影響すると考えられるが、まだ不透明な状況である。
	やや悪くなっている	建設業（経営者）	受注量や販売量の動き	・先月、及び先々月よりはやや良いが、3か月前に比べては契約金額が低い。
	悪くなっている	-	-	-
雇用 関連 (沖縄)	良くなっている	-	-	-
	やや良くなっている			
	変わらない	人材派遣会社（経営者）	求人数の動き	・新年度に入り、派遣依頼が増加すると予測していたが、なかなか伸び悩み、最近ようやく動きが出てきた。だが、新規依頼というより、従来の派遣先の人数増加での依頼が多い。
		人材派遣会社（総務担当）	求職者数の動き	・6月の県議選に続き、7月の参議院議員選挙に関連する短期の仕事は受注するも、例年に無く求職者の動きが弱い為、人集めに苦戦している。依然として、新規の長期派遣登録者の減少は続いている。
	やや悪くなっている	求人情報誌製作会社（編集室）	求人数の動き	・求人件数は週平均で200件弱減っている。
		学校〔専門学校〕（就職担当）	採用者数の動き	・人材不足と言われている割に採用情報に活気が見えない。企業が周辺企業の様子を伺っている感がある。
悪くなっている	-	-	-	